

農業・農村開発とジェンダー
教材

本教材について

背景

JICA では、開発途上国の農業・農村開発における女性の重要な役割に着目し、近年、同分野の取り組みにおけるジェンダー主流化を推進してきています。JICA が平成 23 年 3 月に発表した「課題別指針：農業開発・農村開発」では、具体的な活動として、「ジェンダーの視点に立った、開発課題、開発ニーズの明確化、開発政策、施策、事業の計画、実施、モニタリング、評価等を行う」ことが謳われ、「すべての農業開発・農村開発活動はジェンダー視点に立って行う必要がある」ことを明確に打ち出しています。

これに鑑み、JICA では 2013 年から 2015 年の 3 年間に亘って、能力強化研修「農業／農村開発とジェンダー」を、同分野での業務に従事する開発コンサルタントを主な対象として開催しました。研修では、まず、農業・農村開発におけるジェンダー課題や、ジェンダー視点に立った事業を実施するために必要な取り組みや視点について概観し、その後、JICA の農業・農村開発事業にジェンダー視点を主流化していくために必要な分析や手法について、事例に基づいた講義及びグループ演習が行われました。研修には、開発コンサルタントを中心に、毎年約 30 名が参加し、農業・農村開発事業におけるジェンダー視点とは何か、またジェンダー視点を取り入れるためにはどうすれば良いのかについて学ぶと共に、参加者間で活発な議論が展開されました。本研修の参加者の中から、ジェンダー主流化の専門家として農業・農村開発事業に従事したり、あるいは、専門家として従事している農業／農村開発事業において、ジェンダーの視点に立った取り組みを推進する方々も出てきています。

本教材の目的

本教材は、上述の能力強化研修「農業／農村開発とジェンダー」の成果を踏まえ、研修で使用された教材を、当該分野でジェンダー主流化を推進する援助実務者向けの独学用教材として再構成したものです。JICA の農業・農村開発事業の中でも、小規模農家を対象とした農業普及事業を念頭に、当該事業の立ち上げ期から評価に至る一連のプロジェクトサイクルの中で、どのようにジェンダー視点を主流化させていくのかについて、取りまとめてあります。本教材によって、開発途上国の小規模農家が抱える様々な問題の全てを解決できるわけでは決してありませんが、農家の状況をジェンダー視点から見つめ、皆さんが従事されている JICA 事業の中で計画している活動にジェンダーの視点を取り入れていく事で、農家が直面する課題のいくつかを緩和することは可能なはずで、また、それによって、当該事業の有効性、効率性、そして持続性の向上へも寄与することとなるでしょう。

具体的には、本教材は、男女の間に存在する様々な格差を浮かび上がらせ、その格差の原因を把握することで、男女間の格差解消及びその関係性改善をはかり、その結果としてもたらされる農家の生活の改善、農作業の効率化等が、農業生産性や農業収入の改善へとつながるという考えに基づいて作成されています。本教材に書かれている手法を活用することで、プロジェクトへの男女双方の参加及び男女双方による推奨

技術の受容・活用を促進し、それにより、各世帯の農業生産性及び農業収益の向上、さらには生計の向上へとつなげていく事を目指すことになります。



ジェンダーについての基礎知識は持ちながらも、その知識を現場で活かすにはどうしたらよいか良く分からない、農業分野の取り組みにおいてジェンダー視点を導入させていくための実践的な手法が分からない、そんな援助実務者の方々にとって、本教材が役に立つことを願っています。

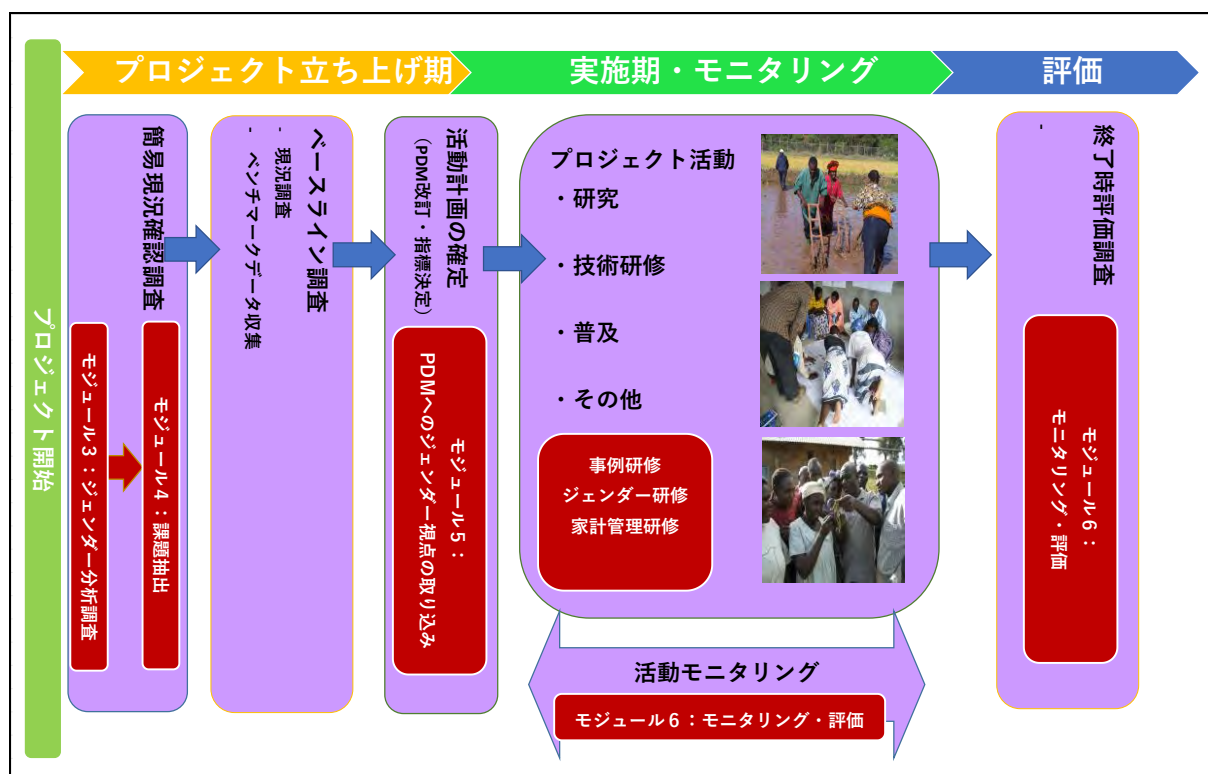
本教材の構成

本教材は、6つのモジュールと2つのジェンダー研修教材により構成されています。文章で構成されるモジュール1を除く全てのモジュールは、上述の「2015年度能力強化研修：農業／農村開発とジェンダー」で活用されたパワーポイントプレゼンテーションに、スライド毎にポイントをまとめた解説を付けたもので、独習者にも理解いただけるように工夫してあります。また、必要に応じて、各モジュールには、参照資料や参考資料が添付されていますので、指示に従い、学習を進めてください。

最初の2つのモジュールでは、基本的なジェンダーの考え方や概念、また JICA 事業が対象とする小規模農家や対象地域の状況をジェンダー視点から把握するための手法や分析の仕方について紹介しています。一方、モジュール3からは、アフリカのA国で実施されている JICA 小規模農家対象事業「A国園芸作物生産振興プロジェクト (HPIP)」を事例として取り上げ、小規模農家を対象とした農業・農村開発事業にどのようにジェンダー視点を取り込んでいくのかについて、具体的に見ていきます。なお、モジュール3からモジュール6は、1) ジェンダー主流化手法の説明、2) 説明に基づいた課題の実施、3) 課題を参照しながらの手法の留意点についてのおさらいという流れで構成されています。

図1は、農業・農村開発事業で実施される活動に対して、それぞれのモジュールがどのように対応するの
かを示しています。

図1： JICA 農業・農村開発事業と本学習教材



このように、本教材は、JICA の技術協力プロジェクトで採用されているプロジェクト・サイクル・マネジメント (PCM) の「計画 - 実施 - 評価」の流れに則って構成されていますので、PCM についての理解が十分ではないと思われる方は、まず、本教材に取り組む前に、PCM についての概要を確認することをお勧めします¹。

本教材の内容

以下に本教材の内容について、具体的に見ていきます。

モジュール1 「農業・農村開発とジェンダー」

モジュール1 では、なぜジェンダーの視点が、農業・農村開発分野において重要なのかについて、統計データと共に見ていきます。このモジュールではさらに、基本的なジェンダー概念についても取り上げています。「セックスとジェンダーの違い」、「ジェンダー主流化の定義」等、本教材を使用するにあたり、理解

¹ 参考資料: The ABCs of PCM (トレーニングビデオ)

https://jica-net-library.jica.go.jp/jica-net/user/lib/contentDetail.php?item_id=885

事業マネジメントハンドブック 第II部プロジェクトマネジメント

http://jica-ri.jica.go.jp/IFIC_and_JBICI-Studies/jica-ri/publication/archives/jica/field/200712_aid.html

しておいていただきたい基本的なジェンダーの概念について、説明してあります。

モジュール2 「基本的なジェンダー分析ツールとその分析手法」

このモジュールでは、基本的なジェンダー分析ツールの使い方、またジェンダー視点を取り入れる時の考え方や視点について概観します。具体的には、以下の点を中心に構成されています。

- ◎ 基本的なジェンダー分析ツール (Activity Profile、Daily Activity Calendar、Access & Control Profile) の紹介
- ◎ ジェンダー分析ツールを活用してのコミュニティ調査の実施方法
- ◎ コミュニティ調査結果分析の仕方

また、それぞれについて演習問題もありますので、指示に従って、取り組んでみてください。

モジュール3 「ジェンダー分析手法」

「A 国園芸作物生産振興プロジェクト (HPIP)」を事例として、事業対象地域のジェンダー課題を把握することを目的とした「ジェンダー分析調査」の実施方法について学びます。調査目的の確認、調査項目の設定、調査手法の検討を通じて、ジェンダー分析調査をどのように準備し、実施していくのかを説明してあります。

モジュール4 「分析結果の読み解き方：課題抽出」

モジュール3で取り上げた「ジェンダー分析調査」の調査結果の整理・分析手法を学びます。特に、調査結果からどのようにジェンダー課題を抽出していくのかについて、その方法・視点を取りまとめてあります。

モジュール5 「ジェンダー視点に立ったプロジェクトの計画・立案」

このモジュールでは、モジュール4で特定されたジェンダー課題を踏まえ、その緩和・解消を念頭に、JICA事業の柱であるプロジェクト・デザイン・マトリックスにジェンダー視点を反映させるための方法・視点について見ていきます。

モジュール6 「ジェンダー視点に立ったプロジェクトのモニタリング・評価」

モジュール6では、HPIPがジェンダー視点に立ったモニタリング・評価を実施する際、どのような点に気を付ければ良いのかについて検討します。日々の活動の中にジェンダーを主流化させていく事で、より効率的・効果的にジェンダー視点に立ったモニタリング・評価が行えることを確認します。

事例研修「ジェンダー啓発研修」「家計管理研修」

ここでは、ジェンダー分析調査で明らかになったジェンダー課題に対処するために、HPIP が農業行政官や農業普及員を対象として開発したトレーナー向け研修教材を紹介します。HPIP 対象農家のジェンダー課題を緩和・解決するための研修となっていますので、プロジェクトの現場でそのままこの研修教材を活用できるわけではありませんが、研修の構成、課題緩和のためのアプローチ等を確認することが出来ます。なお、ここには、アフリカ諸国で実施されている JICA の小規模農家対象プロジェクトで開発・活用されている行政官・普及員を対象とした農家研修用ガイドラインも参考資料として添付されています。これは、トレーナー向け研修を受講した行政官・普及員が、農家研修を準備・実施する際に参照することを目的としたもので、どのように農家研修を進めていくのかが詳述されています。

添付資料「2015 年度能力強化研修「農業／農村開発とジェンダー」：グループワーク結果」

2015 年度の能力強化研修参加者による各モジュールの課題に係るグループワークの結果を取りまとめたものです。研修参加者の方々の課題に係る視点を確認することが出来ます。

学習教材目次

	内容	ページ
モジュール1：農業・農村開発とジェンダー		8
1	農業における女性の貢献と課題	9
2	課題の克服に向けて	12
3	基本的なジェンダー概念	13
モジュール2：基本的なジェンダー分析ツールとその分析手法		17
1	ジェンダー分析ツールとは	19
2	基本的なジェンダー分析ツール	20
3	分析ツールの活用方法	30
4	演習問題	47
5	分析ツールから得た情報の読み解き方 - 演習事例を使って	51
6	ジェンダー主流化活動の例	57
7	まとめ	60
モジュール3：ジェンダー分析手法		64
	学習資料	65
1	調査目的の確認	80
2	調査項目の設定	81
3	情報の整理	82
4	データ収集手法の検討	83
5	演習問題	86
6	まとめ	88
	参考資料：Gender Analysis Study Outline	102
モジュール4：分析結果の読み解き方：課題抽出		108
	学習資料	110
1	収集情報の整理	119
2	プロジェクト活動の確認	120
3	収集情報とプロジェクト活動	123
4	ジェンダー課題の特定	124
5	演習問題	126
6	まとめ	128
モジュール5：ジェンダー視点に立ったプロジェクトの計画・立案		137
1	JICA 事業の運営管理	138

2	ジェンダー視点に立った PDM : その手順	140
3	ジェンダー視点に立った PDM : 活動	141
4	ジェンダー視点を入れ込んだ PDM : アウトプット	145
5	ジェンダー視点に立った PDM : 指標	147
6	演習問題	149
7	まとめ	151
モジュール6 : ジェンダー視点に立ったプロジェクトのモニタリング・評価		163
1	モニタリングとは・評価とは	164
2	ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価 1	168
3	ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価 2	171
4	演習問題	172
5	まとめ	174
事例研修		180
1	Gender Awareness Training	181
	参考資料 : Implementation Guideline: Gender Subject Matter Training	218
	参考資料 : Farmer Training Manual (Gender Sensitization Training)	230
2	Family Budgeting Training	254
	参考資料 : Implementation Guideline: Family Budgeting Subject Matter Training	267
	参考資料 : Family Budgeting (Training Module)	273
添付資料		280
	2015 年度能力強化研修グループワーク結果	280

モジュール1

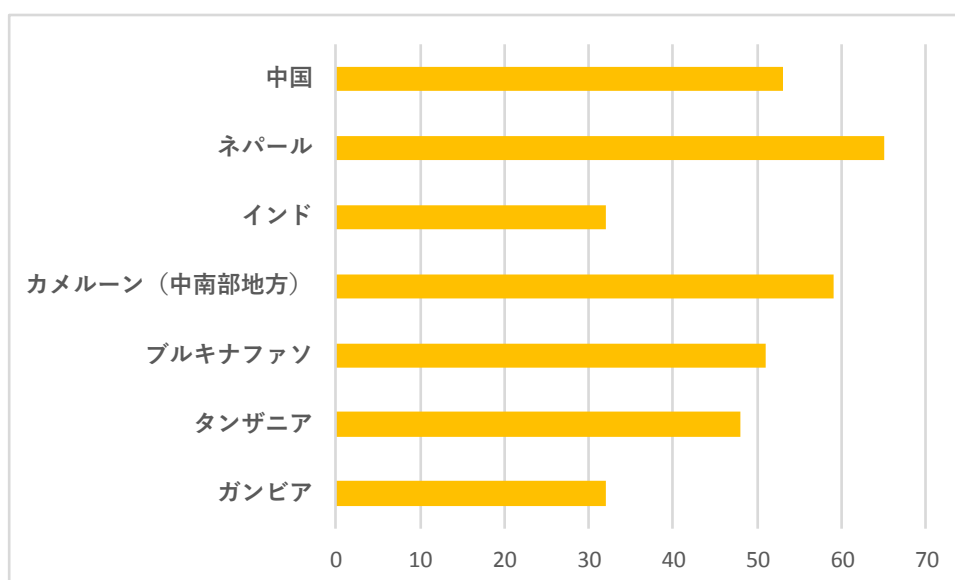
農業・農村開発とジェンダー

1. 農業における女性の貢献と課題

開発途上国においては、貧困層の4人に3人が農村地域に居住し、その多くが、直接的あるいは間接的に農業から日々の糧を得ていると言われています。従って、各国において、農業分野の発展は、直接的に貧困削減に寄与するものといえます。

このように開発途上国の貧困削減のため重要な役割を果たすとされる農業ですが、その労働力の多くが女性によって担われていることが、これまでに行われた多くの調査で明らかにされています。世界全体を見ると、農業労働の43%は女性が担っており、サハラ以南アフリカ、及び東・東南アジアの諸国においてはこの数値は50%に達するものと見積もられており¹、図1-1に示すように、国によっては、その割合は60%前後にも及んでいます。

図1-1：女性の農作業に占める割合（%）

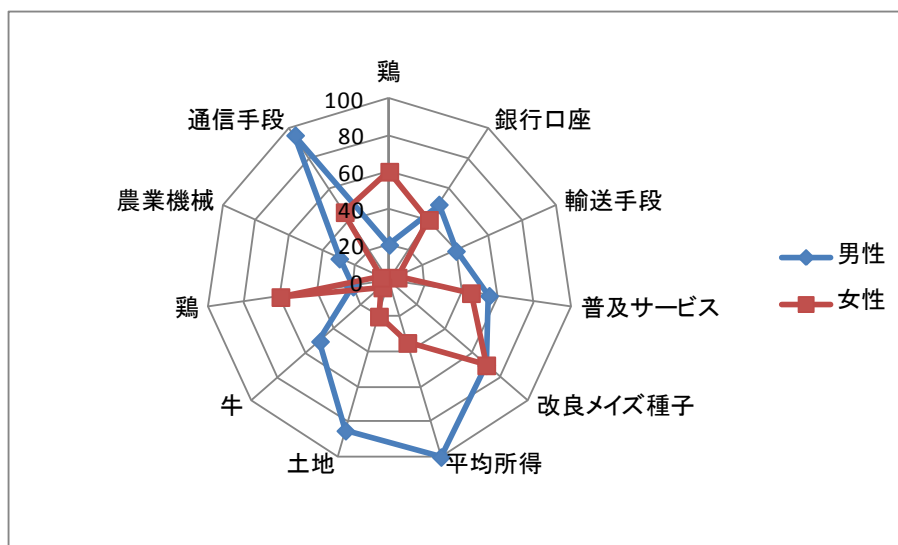


出典：The Role of Women in Agriculture prepared by the SOFA Team and Cheryl Doss, ESA Working Paper No. 11-02, FAO

しかし、女性は農業生産に大きく貢献する一方で、農業生産に不可欠とされる各種投入財、普及サービス等へのアクセスが、男性と比較すると極めて限定的となっている場合が多いとされています。図1-2は、ケニアの男女農家による主要な農業リソースに対するアクセス状況を示したのですが、土地や農業機械等の生産手段から、生産物を輸送するための輸送手段、多様な情報を入手するための通信手段にいたるまで、男性農家に比べ女性農家が不利な立場に置かれている事が分かります。

¹ The Role of Women in Agriculture prepared by the SOFA Team and Cheryl Doss, ESA Working Paper No. 11-02, FAO

図 1-2：ケニア農村男女の主要リソースに対するアクセス状況



出典：Republic of Kenya Gender Policy Note: Tapping the potential of Farming in Kenya, World Bank Report No. ACS5140.

このような男女間の差異は、女性戸主農家のみに影響を与えているわけではありません。同じ調査では、さらに「男性を主たる農業従事者とする男性戸主世帯」、「女性を主たる農業従事者とする男性戸主世帯」及び「女性戸主世帯」におけるそれぞれの農業リソースへのアクセス状況、そして農業収入も確認していますが、戸主の性別にかかわらず、男性に比べ女性がいずれにおいても低いことが明らかにされています（表 1-1 及び表 1-2）。

表 1-1：普及サービス・農業資材等へのアクセス

(単位：%)

	普及サービス	肥料 (年間使用量)	改良種子	殺虫剤
男性を主たる農業従事者とする男性戸主世帯	54	78 (148kg)	89	57
女性を主たる農業従事者とする男性戸主世帯	41	78 (92kg)	85	56
女性戸主世帯	36	75 (82kg)	75	41

出典：Republic of Kenya Gender Policy Note: Tapping the potential of Farming in Kenya, World Bank Report No. ACS5140.

表 1-2：主要作物ごとの農業収入

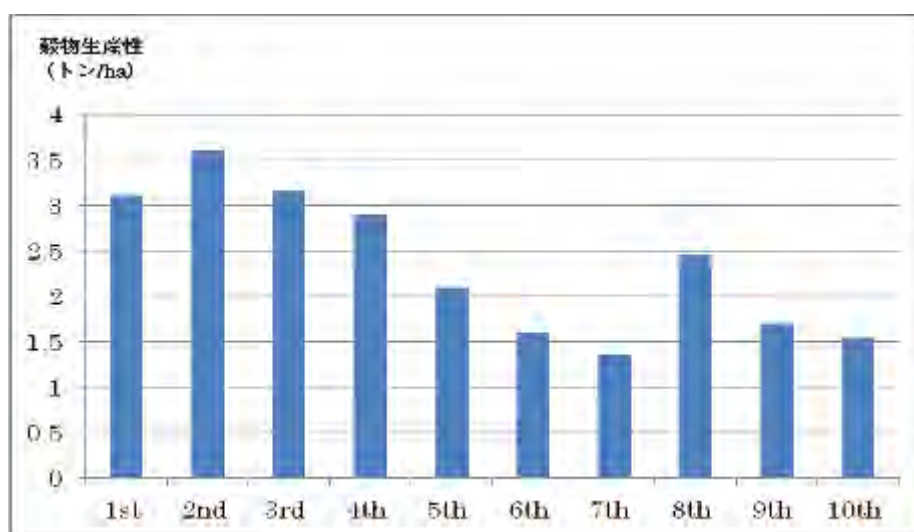
(単位：ケニア・シリング)

	メイズ	豆類	ジャガイモ	トマト	バナナ
男性を主たる農業従事者とする男性戸主世帯	70,392	92,944	101,703	105,642	93,358
女性を主たる農業従事者とする男性戸主世帯	53,739	69,880	72,809	120,768	59,186
女性戸主世帯	42,202	58,168	52,561	60,809	69,432

出典：Republic of Kenya Gender Policy Note: Tapping the potential of Farming in Kenya, World Bank Report No. ACS5140.

また、世界各国のジェンダー平等の度合いを数値化した OECD の SIGI (Social Institutions and Gender Inequality) 指標を活用した調査においても、ジェンダー平等が進んでいる国の穀物生産性が、そうでない国に比べて、高くなる傾向がある事が報告されています (図 1-3)。

図 1-3：ジェンダー平等と穀物生産性



出典：The State of Food and Agriculture 2010-2011: Women and Agriculture Closing the gender gap for development FAO

(1st が、ジェンダー平等度が最も高いとされる国郡であり、10th が最も低い国郡である。)

このようにジェンダー間の不平等は、農業生産性に否定的な影響を与えることで、各世帯における食糧安全保障を危うくするばかりではなく、農業が経済活動の核である多くの発展途上国に、大きな経済的損失をもたらしていると言えます。女性が適切な投入財と技術を活用することができるようになれば、途上国全体の農業生産を 2.5 から 4% 押し上げ、世界の飢餓人口を 12 から 17% 減らすとの報告もあります²。

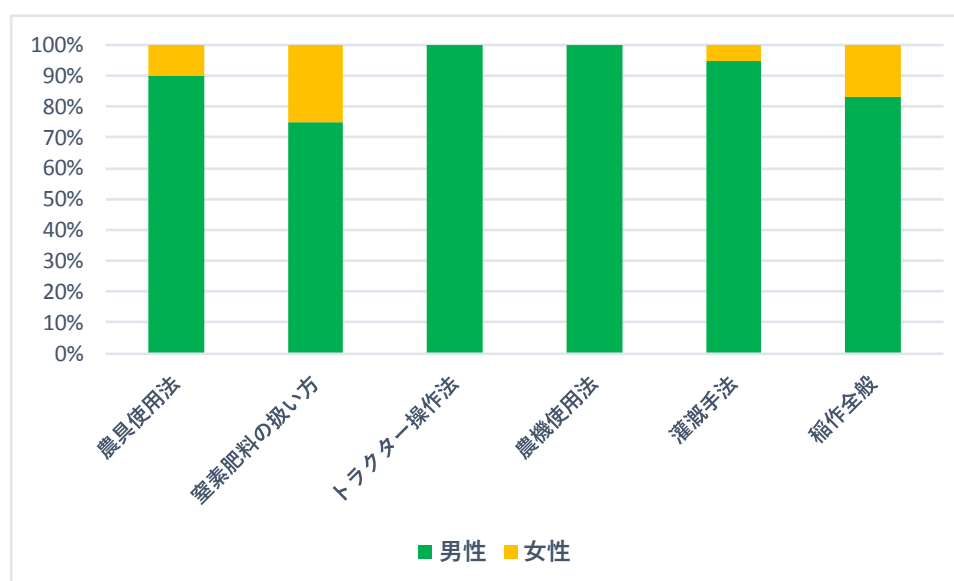
² The State of Food and Agriculture 2010-2011: Women and Agriculture, Closing the gender gap for development FAO

2. 課題の克服に向けて

一体なぜ、女性はこのような状況に置かれているのでしょうか。一つの事例をここで見ていきます。

図1-4は、1995年から2000年にかけて、アフリカのある国で実施された稲作生産向上プロジェクトが行った農家研修参加者の男女比を表したものです。女性農家の参加が著しく低いことが分かります。

図1-4：農家研修参加者男女比



プロジェクト側には、研修から女性を排除する意向は全くなく、カウンターパート機関である農業省行政官及び普及員を通じて、学ぶ意思があり、研修後は他の農家にプロジェクト推奨技術の普及に携わってくれることを条件に参加農家を募りました。そして、その結果、研修参加者の大部分は男性によって占められることとなりました。

プロジェクトでは、女性の参加が極めて限定的なこの状況について、その原因を探ってみました。その結果、農作業と共に、日々の家事労働を全面的に担う女性が非常に多忙であり、特に宿泊を伴う研修に参加する時間が取れないこと、研修は世帯主である男性が参加することが対象地域の慣例であること、女性は教育レベルが低いいため、プロジェクトが選考基準とした読み書きの能力を満たさないこと等が分かりました。

この調査結果が示すように、多くの女性は慣習的・文化的制約から自らの能力を高め、社会に参加していく機会が男性に比べて著しく少ないのが現状です。そしてそういった機会が少ないことが、さらに彼女ら

ちの可能性を狭めることにもつながり、ひいては、コミュニティの発展も阻害されるという悪循環につながっています。

JICA の農業・農村開発プロジェクトが対象とする地域には、多様な慣習や文化があります。社会の中で、重要な役割を果たしている男女双方が、プロジェクトからの便益を十分に享受し、その結果として、対象地域、そして対象国の持続的な農業生産性や農業収入の向上を達成するためには、女性の参加を阻む多様な慣習や文化を把握した上で、プロジェクトの戦略を練っていく事が不可欠です。そして、その際には、上述のような格差をもたらしている様々な要因を適切に把握し、ジェンダー格差の緩和、男女の関係性改善を図っていく事が重要となります。「男性だから」、「女性だから」という既成概念にとらわれず、男女双方の可能性を高め、彼・彼女らの生活を向上していくために何ができるのかという視点からのアプローチがあって初めて、より豊かな社会の実現が可能となると言えます。

ちなみに、上述の調査結果を踏まえ、後継プロジェクトでは様々な方策を採用しました。例えば、地域の有力者に働きかけて、女性の研修参加を呼びかけてもらいました。また、農家を対象としたジェンダー啓発研修を実施すると共に、女性の薪集めにかかる時間を削減するための改良かまどの導入支援、絵を多用した教材作成等が実施されています。これらの活動を通じて、プロジェクトが実施した研修の男女農家の参加比はほぼ半数ずつとなり、男女双方がプロジェクトの推奨技術を活用することで、各世帯における稲作収量の向上と言うプロジェクト目標を達成することに成功しています。

農業技術だけでは解決しえない農家が抱える課題を明らかにし、その解消を図ることが、農業生産性の向上、そして世帯や社会における食糧安全保障の確立へとつながっていく、これまでとは少し異なる視点で、プロジェクトを見つめなおすことが大切と言えます。

3. 基本的なジェンダー概念

ここでは、本教材を使用するにあたり、理解しておいていただきたい基本的なジェンダーの概念について、説明していきます。ジェンダーの基本的な知識があまりないと思われる方は、是非、一読してから、本教材を読み進めるようにして下さい。なお、ここで紹介している概念は、あくまでも本教材を使用するにあたり必要と思われる用語や概念に限定されています。ジェンダーについてより広範に学びたい方は、JICA のホームページ等を参照ください。

◎ セックスとジェンダー

セックスは男性や女性の生物学的な性別を指し、ジェンダーは社会的・文化的な背景を起因とする性別を指すものと言われています。例えば、生まれた時の性別は外性器の形から判断されるように、生物学的な観点から見た性別がセックスです。住む場所が変わっても、あるいは年齢を重ねても、一般的にセックス

としての男性は男性のままであり、女性は女性のままです。一方、ジェンダーは所属する社会が、「男性だから」あるいは「女性だから」として課す役割です。例えば、「男性だから泣いてはいけない」、「男性だから家族を養うべきだ」、また「女性は家庭を守るべきだ」、「女性は人前で発言してはいけない」等は、男女の生物学的な差異に起因するものではありません。これらは、個々人が所属する社会の文化・慣習の中で形成されてきた、男性、女性に対する行動様式、社会規範、役割です。セックスと異なりジェンダーは、国や地域、あるいは時代によって、多様です。例えば、皆さんの曾祖父や曾祖母の時代に当然と考えられていた男女の役割は、現代の日本で、当然と考えられている男女の役割とは異なっています。また、同じアフリカ諸国の中にも、水くみを男性の役割と考える地域と、女性の役割と考える地域があるように、誰がどのような役割を担うべきかの捉え方も、国、地域、文化等によって様々です。言い換えれば、セックスと異なりジェンダーは、可変であるという事です。

◎ 性別データ (Sex-disaggregated data)

これは、男女別に収集された数量データのことを指します。例えば、研修への出席者数を男女別で把握することで、男女の出席状況を確認することが出来ます。また、ある作物の収穫量を調査する際、データを男女別に収集することで、男女間に差異があるかどうか分かります。プロジェクトとして性別データを収集することの意義について、Box 1 をご参照ください。

Box 1

ある稲作生産向上プロジェクトで、プロジェクト対象農家グループに所属する農家 10 名にプロジェクトの推奨技術導入前後のヘクタール当たりの収量を訊ね、その平均値を比較しました。その結果、導入前はヘクタール当たり 1.8 トンだったのが 2.5 トンに増加していました。

→ さて、この技術の効果をどのように判断しますか？

その後、プロジェクトでは、10 名の平均収量ではなく、個人の収量についても確認したところ、その結果は、次の表の通りでした。

農家	性別	導入前収量 (トン)	導入後収量 (トン)	前後差
A	男	1.7	3.2	△1.5
B	男	2.0	3.8	△1.8
C	男	2.3	3.0	△1.7
D	男	1.3	2.9	△1.6
E	男	1.5	2.7	△1.2
F	男	2.5	2,7	△1.2

G	女	1.6	1.5	▼0.1
H	女	1.8	1.8	0
I	女	1.9	2.1	△0.2
J	女	1.4	1.3	▼0.1
平均		1.8	2.5	△0.7

→ さて、この技術の効果をどのように判断しますか？

◎ 性別役割分担

特定の社会や文化の中で、社会的な性別（ジェンダー）に基づいて固定化されている役割を指します。しかし、社会の中で、男性にふさわしいと考えられている役割が、必ずしも男性のみによって実践されているわけではないことに注意する必要があります。その逆も同様です。例えば、「家族を養うのは男性の役割である」と考えられている社会であっても、世帯収入の多くを女性が稼いでいる例はいくらでもあります。また、男性にふさわしいと思われている役割が、女性にふさわしいと思われている役割に比べ、社会的に高く評価されることも往々にしてあります。女性が担うことが多い家事や育児といった役割よりも、「外」に出て働くことに、社会は高い評価を与えがちです。さらに、同じ仕事であっても、男性が従事している場合と女性が従事している場合でその仕事の社会的評価が異なっていることもあります。これは、性別役割分担が、社会における男女の不平等な力関係に起因していることを表していると言えます。

◎ ジェンダー平等

ジェンダー平等とは、男性と女性が同じになることを目指すものではなく、人生や生活において、さまざまな機会が性別にかかわらず平等に与えられ、女性と男性が同様に自己実現の機会を得られるような社会の実現を目指すものです。しかしながら、現状では女性を不利な状況に置く差別的な慣習や政策・制度が世界的に存在しているため、同様の機会を与えるだけでは、ジェンダー平等を達成することはできないと考えられます。男女が同様に自己実現を達成するためには、政策や制度に基づく差別的な待遇のみならず、人々の意識そのものを変革していくとともに、女性の能力強化やエンパワメントに注視した取り組みを推進していく必要もあります。

◎ プロジェクトのジェンダー主流化

ジェンダー主流化は、開発プロジェクトの計画、実施、モニタリング・評価の各ステージで、男性と女性の関心、ニーズ、経験等を織り込みながら、プロジェクトを進めていくというアプローチです。このアプローチの目標は、男女双方がプロジェクトの便益を享受できるようにすること共に、既存のジェンダー間の不平等な力関係を出来るだけ解消していこうとすることです。ジェンダー主流化を行うことで、男女双

方がプロジェクトに積極的に関与することが可能となり、その結果としてプロジェクト目標の円滑な達成に貢献することにもなります。

◎ ジェンダー課題

ジェンダー課題は、男女の不平等な力関係に起因して生じる課題を指します。例えば、性別に基づく固定的な役割分担の考えに基づき、ある地域では男性のみが商人とされ、そのため、女性が商人になることが出来なかったり、あるいは商人としての活動が阻害されたりするような状況がある場合、それは「ジェンダー課題」であり、解決していくべき事項になります。

モジュール2

基本的なジェンダー分析ツールと その分析手法

17

目的

農業/農村開発事業で適用できるジェンダー分析ツールへの理解を高める

1. ジェンダー分析ツールとは
2. 基本的な分析ツール
3. 分析ツールの活用方法（いつ、どこで、どのように）
4. ツール結果の分析方法
5. 具体的な介入事例
6. まとめ

18

モジュール2では、対象地域の農家の生活の様子を確認し、ジェンダー課題を探るための有効なツールであるジェンダー分析ツールについて、詳しく見ていきます。

1. ジェンダー分析ツールとは

- 開発事業の受益者となる男女が、どのように生活し、どのように互いに関係し、どのような課題に直面しているのかを分析するためのツール



これらを理解することで、事業の円滑な実施と目標達成の促進をはかる

19

ジェンダー分析ツールは、ここで述べられているように、プロジェクトの対象農家男女がどのように生活し、どのように互いに関係しているのかを確認し、その結果として、どのようなジェンダー課題があるのかを明らかにしていくためのツールです。

対象農家が抱えるジェンダー課題を理解・把握することが出来れば、その課題を踏まえて、活動計画の調整、ジェンダー課題緩和のための活動の検討・実施へとつながります。そして、その結果として、プロジェクト事業の円滑な実施と、プロジェクト目標の達成が期待できるようになります。

このプロセスは、農業技術について現況把握のための調査を行う場合と全く一緒です。農家が抱えている問題点を洗い出し、その問題点を緩和するために技術を開発・普及することは、どの農業プロジェクトでも行われています。ジェンダー分析は、農業技術ではなく、技術を適用する農家について調査を行うわけですが、農業技術に係る調査と同様に、ジェンダー分析もプロジェクト目標の達成を目指して行うものです。

それでは、ジェンダー分析ツールとは何なのか、どのように使うのかについて、今から見ていきます。

2. 基本的なジェンダー分析ツール

20

ジェンダー分析ツールの中で、最も基本的で、かつ簡単に現場で活用できる3つのツールについてこれから見ていきます。

これらのツールは、対象農家男女の参加を得て、活用していくものです。まずは農家男女各7～8名が集まってくれている様子を思い浮かべながら、読み進めていただきます。

それでは、各ツールの説明を始めたいと思います。

Tool 1. Activity profile

・世帯内で誰が何をしているのか
 ・誰がどのような役割を担っているのか

	Men	Women
Productive Activities		
Agricultural/Livestock/etc		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Trade/business/crafts		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Employment		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Other		
Reproductive Activities		
Cooking		
Cleaning		
Childcare		
Firewood/Water Fetching		
Other		
Community Activities		
Ceremonies		
Community meetings		
Others		

21

最初のツールは、「Activity Profile」と呼ばれるものです。生産活動、再生産活動（家事労働）、コミュニティ活動と言った活動に世帯の男女がどのように参加し、従事しているのかを確認することを目的としたツールです。

まず、生産活動、再生産活動（家事労働）、コミュニティ活動の中で行われる様々な作業を明らかにし、上述の表で「Activity 1」、「Activity 2」と書かれているところを埋めていきます。

例として、生産活動について取り上げます。仮に、園芸作物生産向上プロジェクトの参加農家を対象にこのツールを使うとします。その場合、ここで取り上げるのは「園芸作物生産にかかわる作業」となります。一言で園芸作物と言っても多様な作物があるので、対象地域で最も一般的に生産されている作物を参加農家に特定してもらいます。例えばトマトであれば、トマト生産の作業工程を参加農家に思い浮かべてもらい、最も重要な作業を7つ程度特定してもらうこととなります。作業が特定されたら、参加者に男女別に分かれてもらいます。

男女別のグループでは、それぞれの作業に農家世帯の男女がどのように従事しているのかについて✓を使いながら、示してもらいます。例えば、「苗床づくり」、「移植」、「除草」等々の作業が挙げられているとします。もし、「苗床づくり」は、女性が単独で実施しているようであれば、女性の欄に✓を入れ、男性の欄を空欄とします。一方、「移植」は男女双方が同じように行っているとすれば、男性、女性の欄それぞれに✓を入れます。また、「除草」は、女性もするが、どちらかと言うと男性が主たる従事者であると言った場合は、男性の欄に二つの✓✓を入れ、女性の欄には一つの✓を入れます。

このようにして、生産活動、再生産活動、コミュニティ活動における男女双方の作業量の軽重を確認していきます。

Activity Profile (Productive / Reproductive)

この表から何が読み取れますか？

(Rice Farming Tasks)

Activity	Men	Women
Land clearing	√√	√
Ploughing	√√	√
Nursery preparation	√	√
Sowing	√	√
Puddling	√	
Transplanting		√
Fertilizer application	√	
Chemical spraying	√	
Bird scaring	√	√
Transporting	√	
Selling	√	√
Keeping money	√	

(Household Tasks)

Activity	Men	Women
Cooking		√
Washing dishes		√
Mopping		√
Washing clothes		√
Ironing	√	√√
Nursing children		√
Nursing sick person	√	√√
Fetching water		√
Collecting firewood		√
Feeding livestock		√
Constructing house	√	

22

それでは、ここでスライドの表を見てください。

これは、稲作プロジェクトに参加することになった農家男女に「Activity Profile」ツールを用いて、男女がどのように生産活動と再生産活動(家事労働)に参加しているのかについて答えてもらったものです。

どういったことがツール結果から読み取れますか？

Activity Profile (Productive / Reproductive)

この表から何が読み取れますか？

(Rice Farming Tasks)

Activity	Men	Women
Land clearing	√√	√
Ploughing	√√	√
Nursery preparation	√	√
Sowing	√	√
Puddling	√	
Transplanting		√
Fertilizer application	√	
Chemical spraying	√	
Bird scaring	√	√
Transporting	√	
Selling	√	√
Keeping money	√	

(Household Tasks)

Activity	Men	Women
Cooking		√
Washing dishes		√
Mopping		√
Washing clothes		√
Ironing	√	√√
Nursing children		√
Nursing sick person	√	√√
Fetching water		√
Collecting firewood		√
Feeding livestock		√
Constructing house	√	

23

いかがでしょうか？

稲作生産では、男女双方が作業にかかわっていることが分かるかと思います。但し、いくつかの作業については、男性のみが、また田植えについては女性のみがかかわっていることも分かります。また、稲作からの収入については、男性に決定権があることが示されています。

一方、再生産活動についてはどのようなことがわかるでしょうか。ほとんどが女性の仕事です。家屋の建設は男性が担っているようですが、この作業は、毎日することではありません。補修作業であったとしても、年に数回程度のことでしょう。従って、再生産活動を担っているのは女性であり、男性について言えば、ほぼなんの役割も果たしていないと言っても過言ではないと考えられます。

どうでしょうか。このあたりのことが読み取れましたでしょうか。

Time	Husband / Father	Wife / Mother
3:00 am	Sleep	Sleep
3:30 am		
4:00 am		Wake up
4:30 am		Breakfast preparation
5:00 am	Wake up Breakfast	breakfast
5:30 am	Work in the farm	Work in the farm
7:00 am	↓	↓
12:00 am		Lunch preparation

Tool 2. Daily Activity Profile

- 世帯内で誰が何をしているのか
- 誰がどのような役割を担っているのか
- それぞれの役割にどの程度の時間をかけているのか。

24

次のツールは「Daily Activity Profile」です。これは朝起きてから、夜寝るまで、男女がどのようにそれぞれの一日を過ごしているのかを確認するものです。

これも男女別のグループで行い、男性グループは男性の一日を、女性グループは女性の一日を作成するようにして下さい。また、必要に応じて、農繁期とそうでない時期の2種類を男女双方に作成してもらっても良いかと思ひます。

Daily Activity Calendar

この表から何が読み取れますか？

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
		5.00	Wake up, light fire to boil water for milking, clean kitchen
6.00	Wake up Inspect security of homestead	6.00 -7.00	Milking, Cooking breakfast, bath children, take breakfast, prepare and take children to school
7.00	breakfast		
8.00 -10.00	Feed livestock Work in the farm	8.00 -10.00	Work in the farm
11.00 – 14.00	Tea/resting Take lunch Take a walk	10.00 - 11.00	Cooking vegetables for lunch
		11.00 -13.00	Feeding livestock, fetch firewood, eat lunch
14.00 -16.00	Work in the farm	14.00- 15.00	At the market
		15.00-16.30	Work in the farm
17.00 -18.00	Inspect animals	16.30- 17.00	Fetch water
19.00 -20.00	Resting/tea	18.00	Milking, wash utensils, cooking
21.00	Take dinner	18.00-19.00	Take care of children,
22.00 -1.00	Sleeping	19.00-20.00	feeding family
1.00 -2.00	Wake up inspect animals	21.00	Eating and washing utensils, Go to sleep
2.00-6.00	Sleeping	22.00-5.00	sleep

25

それでは、ここでスライドの表を見てみましょう。

これも、稲作プロジェクトに参加することになった農家男女に、農繁期の自分たちの一日の過ごし方を、男性には男性の一日を、女性には女性の一日を描いてもらったものです。

どういったことがツール結果から読み取れますか？

Daily Activity Calendar

この表から何が読み取れますか？

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
		5.00	Wake up, light fire to boil water for milking, clean kitchen
6.00	Wake up Inspect security of homestead	6.00 -7.00	Milking, Cooking breakfast, bath children, take breakfast, prepare and take children to school
7.00	breakfast		
8.00 -10.00	Feed livestock Work in the farm	8.00 -10.00	Work in the farm
11.00 - 14.00	Tea/resting	10.00 - 11.00	Cooking vegetables for lunch
	Take lunch	11.00 -13.00	Feeding livestock, fetch firewood, eat lunch
	Take a walk		
14.00 -16.00	Work in the farm	14.00- 15.00	At the market
		15.00-16.30	Work in the farm
17.00 -18.00	Inspect animals	16.30- 17.00	Fetch water
19.00 -20.00	Resting/tea	18.00	Milking, wash utensils, cooking
21.00	Take dinner	18.00-19.00	Take care of children,
22.00 -1.00	Sleeping	19.00-20.00	feeding family
1.00 -2.00	Wake up inspect animals	21.00	Eating and washing utensils, Go to sleep
2.00-6.00	Sleeping	22.00-5.00	sleep

26

いかがでしょうか？

女性に比べ、男性は比較的、休息をとる時間があることが分かります。また、女性が一度に様々な作業をこなしているのに対し、男性は一つの作業に集中できていることも分かります。

どうでしょうか？ 他には、どのようなことがこの表から読み取れたでしょうか。

Tool 3. Access & Control Profile

Resources	Who has access or uses?		Who owns and controls?	
	Men	Women	Men	Women
Land				
Credit				
Income				
Labour				
House				
Tools/machines				
Others				

世帯内のリソースに誰がアクセスし、またコントロールしているのか

27

最後の3番目のツールは、「Access & Control Profile」です。ここでは、生産活動を行う際に必要不可欠とされるリソース／資源、あるいは世帯にとって非常に重要な資源／リソースを誰が使えるのか、また、リソース／資源の活用について誰が決定権を有しているのかを確認します。スライドのリソース／資源はあくまでも例です。プロジェクトの内容、対象地域の状況に応じて、特定していく事になります。

例えば、園芸作物のプロジェクトであるならば、園芸作物生産を行う際に必要不可欠であるリソース／資源をまず、特定します。恐らく、「土地(農地)」、「資本」、「農具」等が、この場合の重要なリソース／資源でしょう。その他に、農家が重要であると思うリソース／資源もいくつか特定します。事前に、プロジェクト側でこれらのリソース／資源をリストアップすることもできますし、また参加農家男女と一緒に特定することも可能です。リソース／資源がリストアップされたら、参加農家男女を男女別のグループに分け、「Activity Profile」と同様に男女のいずれが、それぞれのリソース／資源に対してアクセス及びコントロールを有しているのかを✓を使って、確認していきます。

なお、アクセスはリソース／資源が使用できるかどうか、コントロールはそのリソース／資源の用途を決定できるかどうかを指します。例えば、プロジェクトで雇用している運転手は、プロジェクト車輛に対するアクセス(使用权)はありますが、その車輛をどのように活用するか、誰が活用するかと言ったことについてのコントロール(決定権)はありません。

Access to & Control of Resources この表から何が読み取れますか？

Resources	Who has access to it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√	√√	√	
Farm tools(Jembe)	√√	√√	√√	√
Dairy cow	√√	√√	√	
Poultry(Local)	√	√√√	√	√√
Training	√√√	√		
Rice	√√	√√	√√	√

28

それでは、ここでスライドの表を見てください。

これも、稲作プロジェクトに参加することになった農家男女に「Access and Control Profile」を使って、稲作生産に必要不可欠なリソース／資源を中心に、世帯内の男女のいずれが、それらを使用することが出来るのか、またそれらをどのように使うのかの決定権を有しているのかを、示してもらったものです。ここでは、リソース／資源として、土地や農具と共に、酪農牛、鶏、研修機会、そしてコメがあげられています。酪農牛や鶏はこの地域にとって重要な収入源と考えられます。また、プロジェクトが対象としているコメがここに挙がっていることにも注目してください。対象作物をどのように活用するかの決定権を誰が有しているのか、ジェンダー課題を把握するために非常に重要なポイントとなりますので、このツールを使った調査をする際は、プロジェクトの対象作物を含めるようにして下さい。また、プロジェクトが農家研修を重要な活動として位置付けている場合は、この事例のように「研修機会」を含めると、その地域で研修を行う際、誰が参加してくれそうなのかを推測することができます。

それでは、こういったことがツール結果から読み取れるのか検討してみてください。

Access to & Control of Resources この表から何が読み取れますか？

Resources	Who has access to it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√	√√	√	
Farm tools(Jembe)	√√	√√	√√	√
Dairy cow	√√	√√	√	
Poultry(Local)	√	√√√	√	√√
Training	√√√	√		
Rice	√√	√√	√√	√

29

いかがでしたか？

アクセスについては、男性も女性もほぼ平等のようですが、鶏は女性が中心となって世話をしていることがうかがえます。また、研修については、男性の方が、参加することが多いようです。この点は、プロジェクトが農家研修を企画している場合には留意する必要があります。

一方、コントロールは、ほぼ男性の領分であることがわかります。土地も乳牛も男性の財産であり、女性がこれらについて、何かを意見することが難しい状況と言えるのかと思います。唯一、鶏については、女性により決定権があるようですので、鶏をどのように処分するのか、女性の意見が通りやすい状況にあると思われます。

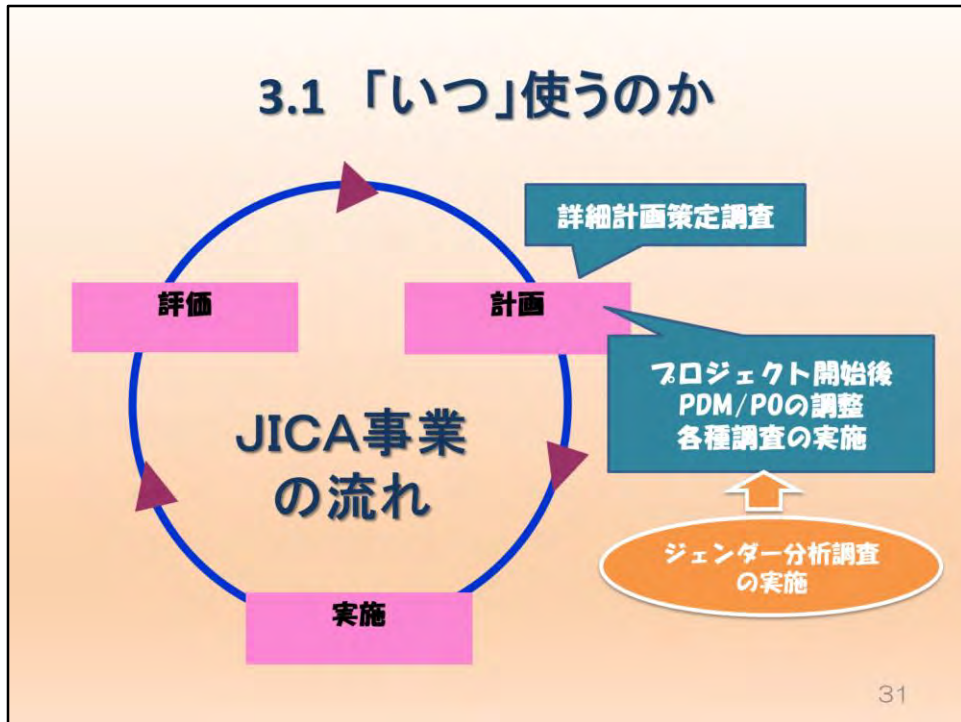
どうでしょう？その他にも何かこの表から読み取れることがあったでしょうか。

3. 分析ツールの活用方法

30

ここでは、これまで概観した分析ツールを、実際にどのように現場で活用するのかを見ていきます。

3.1 「いつ」使うのか



こちらに示したのは、JICAの一般的な技術協力プロジェクトの流れです。

分析ツールを用いての調査は、対象コミュニティの男女がどのように暮らしているかを確認し、その結果に基づいて、プロジェクト活動にジェンダーを主流化していく事を目的としていますので、「計画」の段階で実施される必要があります。

3.2 「どこで」使うのか



コミュニティで



それでは、次に、「ジェンダー分析ツール」を活用する場所です。

これまで説明してきましたように、いずれのツールも農家男女の参加があって初めて、活用可能なものですので、当然、コミュニティでの使用が条件です。

これらの写真のように、屋外でも建物の中でも、適当なスペースがあれば、どこでも実施可能です。なお、右下の写真は、男女が一緒に参加していることが分かるかと思いますが、この写真は、ジェンダー分析ツールについて、全般的な説明を男女一緒の場で行っているときの様子です。他の写真はいずれも、全体説明が終わり、男女別のグループに分かれて、それぞれのツールについて話し合っているときの様子です。なお、左上の写真にあるように、それぞれのツールに係る表を模造紙等へ書き出し、それを参加している農家皆が見える場所に貼り出して、行くと良いかと思えます。

3.3「どのように」使うのか

① 準備

- a. ツール設計
- b. 補足質問票(インタビュー/ディスカッション用)作成
- c. 調査参加者特定
- d. スケジュール確定

② 実施

- a. 分析ツール活用の際の留意点
- b. 結果共有

③ 結果取り纏め・分析

33

それでは、次に、ジェンダー分析ツールやそれを補足する他の手法での調査をどのように行うのかについて、順番に見ていきます。

① 準備: ツール設計: Activity Profile

稲作栽培の場合
(例)

Activity
Levelling
Transplanting
Weeding
Chemical Application
Harvesting
Marketing
Income Control

- プロジェクト活動に合わせて各活動を選定
- 現地で参加者に選定してもらう事も可能

	Men	Women
Productive Activities		
Agricultural/livestock/etc		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Trade/business/crafts		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Employment		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Other		
Reproductive Activities		
Cooking		
Cleaning		
Childcare		
Firewood/Water Fetching		
Other		
Community Activities		
Ceremonies		
Community meetings		
Others		

34

まず最初は、調査を準備する際の留意点をお話します。

こちらは、「Activity Profile」です。前述のように、生産活動については、プロジェクトが対象とする作物に併せて、作業を特定します。稲作プロジェクトであれば、稲作生産に係る作業を、酪農プロジェクトであれば、酪農に係る作業を、7つ程度、特定しましょう。

スライド21では、参加農家に作業を特定してもらうよう、説明しました。但し、調査の時間があまり取れない、あるいはわざわざ作業を農家に特定してもらうまでもないと思われる場合は、調査前に、事前に、プロジェクト側で、主な作業を特定することも可能です。

① 準備: ツール設計: Daily Activity

Time	Husband / Father
5:00 am	
6:00am	
7:00 am	
8:00 am	

Time	Wife / Mother
5:00 am	
6:00am	
7:00 am	
8:00 am	

男女それぞれに自分自身が
一日をどのように過ごしてい
るかを記入してもらう

35

次は、「Daily Activity Calendar」です。

こちらは、スライド24で説明したように、参加者を男女別のグループに分け、男性グループには男性の一日を、女性グループには女性の一日を記入してもらいます。こちら模造紙をグループに配布し、描いてもらいます。

① 準備: ツール設計: Access & Control

Resources	Who has access or uses?		Who owns and controls?	
	Men	Women	Men	Women
Land				
Credit				
Income				
Labour				
House				
Tools/machinery				
Others				

- プロジェクト活動に合わせてリソースを選定
- 現地で参加者に選定してもらう事も可能

36

次は、「Access & Control Profile」です。

こちらについても、「Activity Profile」と同様に、リソース／資源については、プロジェクト側で事前に特定しておくことも、また現場で参加農家に特定してもらうことも、いずれも可能です。

① 準備： 補足質問票作成

質問票の目的

- 分析ツールで得た情報のトライアングレーション
- 分析ツールでは得られない、しかし重要な情報の入手

37

対象地域で、ジェンダー状況についての調査を行う際は、ジェンダー分析ツールのみならず、グループ・ディスカッションやインタビューと言った調査手法を併せて用いることが重要です。分析ツールだけでは、集めきれない情報も多くありますし、また、分析ツールを通じて収集された情報のトライアングレーションの意味でも、調査では、ディスカッションやインタビュー等を併せて実施することが必要不可欠です。複数の調査手法を用いることで、異なる視点からの情報を多角的に集めることができます。

① 準備： 補足質問票作成

対象者

男女農家



行政官/普及員



キーインフォーマント



38

グループ・ディスカッションやインタビューの対象者は、主に、男女農家、行政官／普及員、あるいは地域の実情をよく知るキーインフォーマントなどが挙げられます。

① 準備： 調査参加者の特定

男女農家



行政官/普及員



キーインフォーマント



誰を何人ずつ？
どのくらいの時間をかけられる？
男女のバランスは？

39

調査対象者が決まったら、次にそれぞれ何人くらいに話を聞くのかを検討します。

調査日程によって、話を聞くことが出来る人数はある程度限定されてくるかと思えます。ディスカッションもインタビューもいずれも、1回1時間程度が目安となります。これ以上の時間だと、話を聞かれる方は疲れてしまいますし、注意力が散漫になります。また、参加者に時間を割いてもらって、実施しているのですから、出来るだけ短く、簡潔に、聞きたいポイントを絞って実施することが大切です。

また、いずれについても、出来るだけ男女のバランスよく、対象者を選ぶようにして下さい。男女がどのように生活しているのかを確認する調査ですので、どちらか一方に話を聞くだけでは、全体像をつかむことは出来ません。

① 準備：スケジュール確定

	参加者	時間	留意点
ジェンダー分析ツールを用いた演習	・ 男女農家グループ	半日程度	男女別を実施
グループ・インタビュー	・ 男女農家 ・ 普及員 ・ 行政官 ・ その他関係者	1時間程度	必要に応じて男女別、職種別、職位別 男女のバランスに注意
キーインフォマント・インタビュー	・ キーインフォマント	1時間程度	男女のバランスに注意

40

こちらの表は、それぞれの手法について、対象者、必要な時間の目安、そして留意点を示したものです。皆さんが、現場で同様の調査を計画する際の参考にしてください。

② 実施： 分析ツール活用の際の留意点



男女別のグループに分ける

41

次に、実際に調査を行うときの留意点について、見ていきます。

まず、分析ツールを使うときは、参加者を必ず男女別のグループに分けます。プロジェクト関係者を一人、ファシリテータとしてそれぞれのグループに配置することになりますが、そのファシリテータも可能であれば、男性グループには男性を、女性グループには女性を配置するようにして下さい。この写真では、正面を向いている白いシャツの男性がプロジェクトのカウンターパートで、彼が男性グループのファシリテータを務めています。また、写真奥の女性グループについては、模造紙に何かを書き込んでいる女性がやはりプロジェクトのカウンターパートで、女性グループのファシリテータを務めています。なお、男性カウンターパートの隣に座っている女性は、この地域の普及員で、どのように調査を行うのかについて学んでもらうために参加してもらいました。

② 実施： 分析ツール活用の際の留意点



皆が参加できるように

ファシリテータを
農家の方に任せ
ることも



42

参加している農家全員が、話し合いに参加できるように、ファシリテータが留意するよう指導してください。例えば、「Activity Profile」ならば、誰がどのような作業をしているのか、一つの作業ごとに、参加者皆の反応を確かめながら、話し合いを進めることが肝要です。特定の参加者のみが答えて、あとの人たちが押し黙っているようなことがないよう、注意してください。

また、カウンターパートがファシリテータを務めるのではなく、参加農家を一人指名して、その人にファシリテーションを任すことも出来ます。その場合は、カウンターパートは、話し合いの様子を見ながら、必要に応じて適宜、話し合いに参加し、誤った方向に話し合いが進むことのないように注意するよう指導してください。右下の写真では、参加農家の女性がファシリテーションをしています。

② 実施： 分析ツール結果の共有

皆で結果を
共有

参加者が男
女の違いや
共通点に気
づき、この
後の介入が
し易くなる



43

時間が許せば、男女別のグループワークが終わったら、男女全員でその結果を共有するようにします。

グループワークの結果は、プロジェクトにとって、活動の円滑な実施に役立てるための貴重な情報となりますが、参加農家にとっても、自分たちの妻や夫の意識や行動を知る機会を提供するものとなります。せっかく、農家に時間を割いて、調査に参加してもらったのですから、是非、結果を共有するための時間を確保するよう努めてください。

これらの結果を共有することで、農家自身が自分たちの生活を振り返るきっかけとなり、プロジェクトの今後の活動に肯定的な影響を与えることにもなります。

② 実施： インタビュー実施の際の留意点



□ 話しやすい雰囲気づくりを

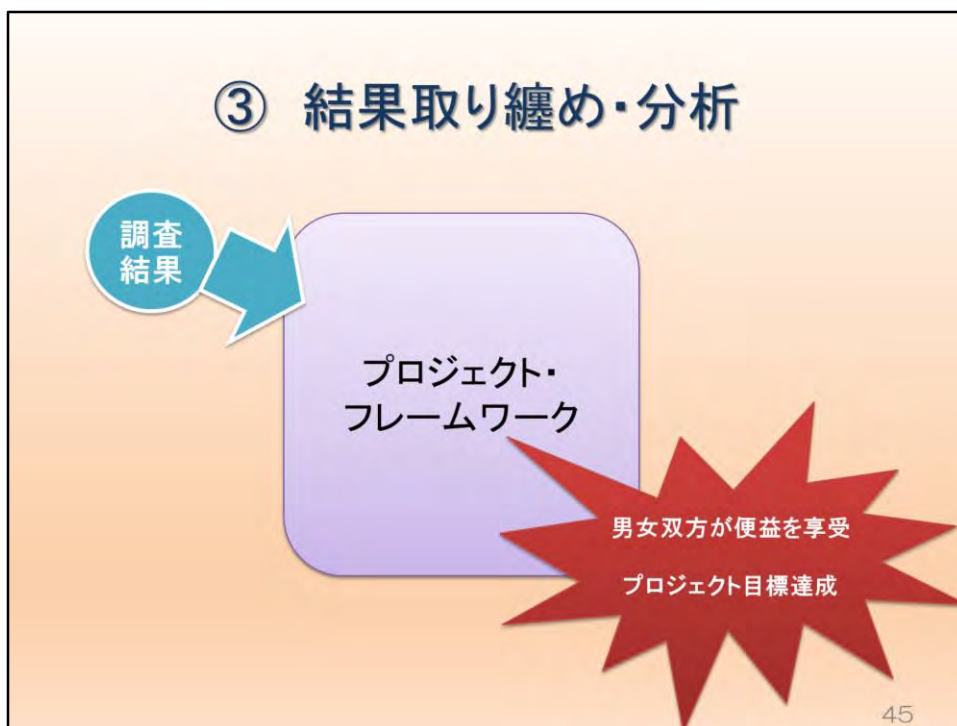
□ 質問は柔軟に、参加者の反応を見て。

44

インタビューやディスカッションを実施する時も、話しやすい雰囲気づくりに心掛けることが重要です。また、事前に作成したチェックリストや質問票に記載された項目すべてを聞かなければならないと考える必要はありません。対象者によって、持っている情報や知識が異なるので、その対象者が良く知っていると思う事項について、深掘りし、あまり知らないのではないかと思われる話題については省くなど、柔軟な対応が必要となります。

特にディスカッションの際は、ファシリテーターの他に記録係を配置するようにして下さい。ちなみに、上記写真にある女性グループのディスカッションでは、白い服の女性がファシリテーターを務める傍ら、男性が記録係として、参加者の発言内容を書き取っています。

③ 結果取り纏め・分析



このようにして集められた情報は、プロジェクトの枠組みの中で分析するようにして下さい。

収集した情報に基づいて、どうしたら対象農家の男女双方がともにプロジェクトに参加し、その便益を共有できるのかを探っていきます。JICAの技術協力プロジェクトの多くが対象とする小規模農家は、男女双方が農作業に参加している場合がほとんどです。男女双方が参加し、プロジェクトからの便益を共有することが出来るようにプロジェクト活動が設計されていれば、プロジェクト目標の円滑な達成が可能となるはずです。

4. 演習問題

演習問題について、以下を検討して下さい

1. ジェンダー分析調査結果から何が読み取れますか？
2. プロジェクトの円滑な実施にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？
3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

46

それでは、ここで、今まで説明した内容を確認するために、演習問題に取り組んでみてください。

モジュール2

演習問題

X国における JICA 技術協力プロジェクトで実施されたジェンダー分析ツールによる調査結果を踏まえ、以下について検討してください。

1. 次ページ以降の表から何が読み取れますか？
2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？
3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

プロジェクト概要

JICA では、アフリカ大陸中央部に位置する X 国において、農業協同組合を対象に園芸作物の生産性向上のための技術協力プロジェクトを 2014 年 6 月に開始しました。プロジェクトでは、協同組合の組織強化及びその技術普及能力の向上、そして組合員農家の園芸作物栽培技術向上を通じての生産性向上を目指しています。そのための活動として、協同組合に対しては運営体制の整備を図ると共に、各種研修を通じての組合幹部及びスタッフのキャパシティ構築が計画されています。一方、組合員農家の技術力向上のためには、組合と共同での研修教材開発・研修講師向け研修実施・農家向け研修実施等が予定されています。

ジェンダー分析調査の実施

プロジェクト目標及びその活動を踏まえ、同プロジェクトではジェンダー分析ツールを用いての調査をその対象地域で実施しました。調査参加者は、協同組合員とその配偶者で、男女別のグループで演習をしてもらった結果が、次ページ以降のものです。

Activity Profile

Productive Activities (French Beans)

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Seedbed preparation	√√√	√	√√	√√
Planting	√	√√√	√√	√√
Watering	√√	√√	√	√√√
Spraying	√√√	√	√√√	√
Weeding	√√	√√	√	√√√
Harvesting	√	√√√	√	√√√
Marketing	√√	√√	√√	√√
Income Control	√√√	√	√√√√	

Reproductive Activities

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Cooking	√	√√√		√√√√
Washing	√	√√√		√√√√
Fetching firewood	√√	√√	√	√√√
Fetching water	√	√√√		√√√√
Caring for the sick	√√	√√	√	√√√
Caring for children	√	√√√		√√√
Grinding	√	√√√	√	√√√
House repair	√√√	√	√√	√√
Security	√√√	√	√√	√√

Daily Activity Calendar

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
		4.00 am	Wake up, lighting fire to cook
5.00 am	Wake up	5.00am	fetching water, wash utensils
6.00am	Milking, feed livestock	6.00am	Prepare breakfast, prepare children for school
7.00am	Take breakfast	7.00 am	Take breakfast, feed livestock
8.00 -12.00 pm	Work in the farm	8.00 -10.00am	At the market, work in the farm
		11.00 -12.00pm	Work in the farm
1.00pm	Take lunch, rest	1.00pm	Cooking lunch, take lunch, clean compound, feed livestock
3.00-4.00pm	Work in the farm	3.00 - 5.00pm	Work in the farm,
4.00pm	Take a walk	5.00pm	Fetch firewood
7.00pm	Take dinner	5-6.00pm	At market, milking
7-8.00pm	resting	7.00pm	Take care of children, cooking,
9pm -5.00am	Sleeping	8.00pm	assist children do home work
		9.00 pm	Take dinner, wash utensils
		10.00pm-4.00pm	Sleeping

Access to and Control of Resources

(Access)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who has access to it?		Who has access to it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√	√√	√√	√√
Farm tools	√√	√√	√√	√√
Dairy cow	√√	√√	√√	√√
Poultry(Local)	√	√√√	√	√√√
Training	√√√	√	√√√	√
Bicycle	√√√√		√√√√	
French beans	√√	√√	√√	√√
Farm Income	√√√	√	√√√	√

(Control)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who controls it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	√√√	√	√√√	√
Farm tools	√√	√√	√√√	√
Dairy cow	√√√	√	√√√√	
Poultry(Local)	√√	√√	√√	√√
Training	√√√	√	√√√√	
Bicycle	√√√√		√√√√	
French beans	√√√	√	√√√√	
Farm Income	√√√√		√√√√	

5. 分析ツールから得た情報の読み解き方ー演習事例を使って

51

演習問題は如何だったでしょうか。

それでは、これから、演習事例に基づいて、どのようにツール結果を読み取っていくのかについて考えてみます。

5.1 ツールから読み取れる課題

Activity Profile



52

まず、「Activity Profile」から見ていきます。

「Activity Profile」は、生産活動や再生産活動／家事労働に世帯内の誰がどの程度従事しているのかを確認するためのツールでした。演習問題では、農家が主に生産している作物はサヤインゲンです。そのため、サヤインゲンについての作業工程が、リストアップされています。男性グループと女性グループがグループに分かれて、グループワークをした結果、各作業への男女の参加度合いについて、それぞれのグループで若干認識の相違があることが分かります。女性は、男性よりも女性の方が全般的に生産活動に従事していると思っているようですが、男性は、女性と同じ度合いで従事していると思っているようです。また、農薬散布は、男性が主に担う仕事として、男女双方に理解されていることが分かります。

その一方で、生産物から得られた収益は男性が握っていること、再生産活動は女性が主として行っていることも読み取れるかと思えます。

5.1 ツールから読み取れる課題 Daily Activity Calendar

男性の行動

女性の行動

- ・ 世帯内で誰が何を
- ・ 誰がどのような役割を
- ・ それぞれの役割にどの程度の時間を

演習事例の場合

- 女性は一日を通じて多忙であり、家事労働に多くの時間を割いている
- 男性は比較的時間に余裕がある

53

それでは、次に「Daily Activity Calendar」に移ります。

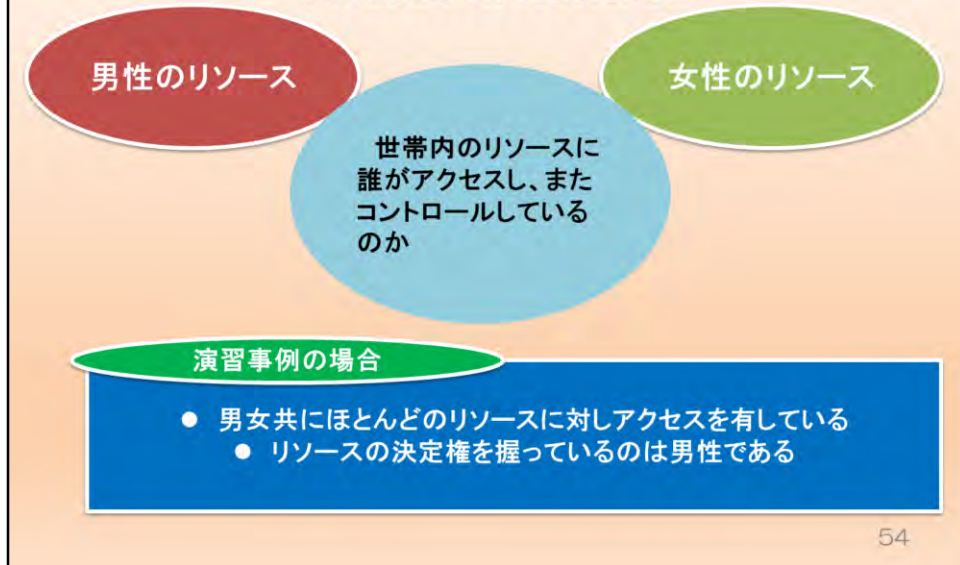
男性グループが作成した男性の一日と、女性グループが作成した女性の一日となりますが、どんなことがわかるのでしょうか？

女性は朝起きてから、夜寝るまで、ほぼ休息なしに労働に追われていることが分かります。一方、男性は、午前中に農作業を終えると、午後は比較的時間に余裕があるようです。

「Activity Profile」で男性グループが自分たちも従事しているとした「薪集め」が、「Daily Activity Calendar」では出てきていません。男性は従事するとしたものの、女性が留守の時などに必要に応じて、やることもあると言った程度で、毎日従事しているわけではない様子が見えます。

このように、一つ一つのツールの結果を見ていくと共に、各ツール結果を比較しながら情報を得ることもできます。

5.1 ツールから読み取れる課題 Access & Control



それでは、3つ目のツールの「Access and Control Profile」はどうでしょうか？

参加農家は、園芸作物生産に必要な不可欠なリソース／資源として、土地、農具を挙げ、世帯内の重要なリソース／資源として、乳牛、鶏、自転車、そして、収穫物とそこからの収益を挙げています。また、研修が、リソース／資源として挙げられていますが、これは先に説明したように、プロジェクト側が通常研修に参加するのが男女いずれかなのかが知りたくて、プロジェクト側が提案して、リストに入れたものと思います。

このように、プロジェクト側が事前にリソース／資源を特定する場合はもちろん、農家に特定してもら場合も、プロジェクト側が知りたい項目が入るように、話し合いをファシリテーションするようにして下さい。

ツール結果からは何が読み取れるでしょうか？

ほとんどのリソース／資源は男女ともにアクセスがあるようですが、自転車は男性だけが使っているようです。一方、リソース／資源をどのように使うかを決定するのはほぼ男性であることがわかります。なお、研修についても、男性が主に参加していることに留意してください。プロジェクト側が何らかの手立てを取らないと、サヤインゲンの生産に従事している女性は、研修に来ない可能性が高くなると思われます。

5.2 課題をプロジェクトの枠組みの中で考える




55

分析ツールの結果について確認出来たら、そこからの情報をどのように活用すればよいのかについて考えます。演習問題には、「プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？」との質問があります。

プロジェクトが分析ツールを使って調査を行う理由は、対象地域の男女がどのように生活を営み、それがプロジェクトの円滑な実施やプロジェクト目標の達成にどのような影響を与えるかを確認するためです。

従って、この演習事例では、分析ツールから得られた「生産活動への男女双方の関与」、「女性の過重労働」、「男性による意思決定の独占」が、プロジェクト目標の達成やプロジェクト活動の円滑な実施にどのような影響を与えそうかを見極めていく事になります。

5.2. 課題をプロジェクトの枠組みの中で考える



研修にだれを招くべき？
誰が技術を実践してくれるだろう？

プロジェクトの目的

- 組合員農家の技術力向上/生産性向上

プロジェクトの活動

- 研修実施
- モニタリング

56

例えば、プロジェクト活動に与える影響について考えてみます。

農家の技術力向上のために研修を実施する場合、誰に来てもらえば良いでしょうか？ 来られる人であれば、誰でも良いのでしょうか？

プロジェクトとしては、その技術を農地で実践してくれる人に参加してもらう必要があります。

女性が農作業の重要な担い手であることは、分析ツール結果から分かっていますから、時間に余裕のある男性のみならず女性にも、研修に参加してほしいところです。でも、その一方で、農地をどのように活用するかは男性に意思決定権がありそうです。せつかく、農作業に従事する女性に必要な技術を習得してもらっても、男性が農地でその技術を活用することに反対するかもしれません。

さて、この相反する状況に対して、プロジェクトとしてどのような介入を行っていく必要があるのでしょうか？

それでは、次に、実際にこのような状況に直面したあるプロジェクトが行った具体的な活動を見ていきます。

6. ジェンダー主流化活動の例

57

ジェンダー活動の例



(1) 研修には男女双方を招く

58

そのプロジェクトがまず計画したのは、研修に必ず男女双方に来てもらうようにするという事でした。

単に、普及員を通じて、農家に研修参加を呼び掛けてもらうだけだと、時間に余裕があり、研修に参加することは自分たちの役割と考えている男性農家だけが来てしまうことは明らかでした。そこでプロジェクトは、地域の指導者や有力者に、プロジェクトの目的や活動内容を紹介すると共に、女性が農作業の多くを担っているという事実を改めて指摘することで、女性にも研修に参加してもらいたいという意向を伝えたのです。その結果、指導者や有力者の人たちの納得を得て、彼・彼女らから、男性農家に対して、自分たちの妻や娘、あるいは姉妹が研修に参加できるように促してもらったのです。また、その際に、農作業に熱心に取り組んでくれている男女がまず研修参加の優先権を得るようにも配慮してもらいました。

このようにしてプロジェクトでは、研修参加者の男女ほぼ同数を達成したのです。

ジェンダー活動の例



(2) ジェンダー啓発研修の実施

59

次にプロジェクトでは、農家を対象としたジェンダー啓発研修を実施しました。

研修では、「Activity Profile」、「Daily Activity Calendar」、「Access & Control Profile」を研修参加農家に使ってもらい、世帯内の男性と女性がどのように働き、どのようにリソースを共有しているのかを考えてもらいました。ほとんどの農家は、他の世帯構成員がどのような作業をどれだけの時間をかけて行っているのかをあまり意識していません。男性であれば、昔、自分のおじいさんやお父さんがしていたことを自分もしているだけであり、女性も、昔、おばあさんやお母さんがしてきたことをしているだけです。そのやり方を変えることの必要性について考えたこともないという場合がほとんどでした。しかし、分析ツールを使って、視覚的に男女間での格差を目の当たりにすると、これでは、効率が悪いし、夫婦間の関係が悪くなるのも当たり前であることに気付くのです。

ひとたび、自分たちの生活の仕方に問題があると気付いてくれれば、あとは、農家自身がその解決方法を導き出してくれます。

7. まとめ

60

それでは、最後にモジュール2のまとめです。

思いこみ/期待を排除

これって
本当？



1. 生産性向上に役立つ研修・
技術であれば実践される

2. 研修参加者は世帯内で
技術移転をする

3. 農業収入向上は世帯構成員全
員の便益だから、皆が協力し合う

61

私たち一人一人は、自らの経験から、相手の反応を推測します。「こういうことが起これば、こういう風に反応するはず」と自分の経験値から、判断します。同じような境遇の同じような考え方を持つと分かっている仲間内ならば、経験値に基づいて判断しても、さほど支障がないでしょう。

しかし、JICAがプロジェクトを実施する地域はほとんどの場合、日本人専門家にとって異文化圏です。また、プロジェクトのカウンターパートも、都会で教育を受けたその国のエリートに属している人たちである場合が多く見受けられます。従って、農村で暮らしている人たちの考え方にプロジェクト関係者はあまり精通していないと言えます。

スライドにある3点は、プロジェクトに従事する関係者がつついてしまいがちな思い込みです。でも、本当にそうなのでしょうか？生産性向上に役立つ技術は、誰にとっても何をも差し置いて適用したい技術なのでしょうか？世帯内の誰かが習ってきた技術は、他の世帯構成員にも当然、伝わるものなのでしょうか？自分に何の決定権のない収入でも、その収入の増加のために、誰もが一生懸命働くのでしょうか？

少し視点を変えるだけで、多くの疑問がわいてくるはずです。

4. 思いこみ/期待を排除

1. 生産性向上に役立つ研修・技術であれば実践される

世帯における実践者が研修に来ている？

2. 研修参加者 研修者
技術移転

研修参加者と実践者のコミュニケーションは充分？

3. 研修者

農業収入の使途は誰が決定？便益は本当に共有される？

答えを知っているのは農家の人達！
確認しよう

62

最後になりますが、自分が当然と思っていることが本当に、対象地域の人たちにとっても当然なのかは、その人たちに話を聞くまでは断定できません。自分の勝手な期待や思い込みが違っていただけからと言って、そのように行動してくれなかった農家を責めることは出来ません。

ジェンダー分析調査は、プロジェクト関係者の勝手な思い込みがプロジェクト目標の達成を阻むことのないよう、対象農家を知り、そして、対象農家の実情に即した介入を計画するための調査です。現場でこの調査を実施することで、新たな視点を獲得することが出来るはずです。

参考：グループワーク結果

2015年度の能力強化研修に参加した皆さんの配布資料に係るグループワークの結果が別添資料としてありますので、必要に応じて参照してください。

モジュール 3 「ジェンダー分析手法」

64

これからは、モジュール1および2で学んだことを踏まえ、事例を使っての学習へと進みます。

ジェンダー分析ツールについては、モジュール2で詳しく見てきましたが、ここでは、分析ツールにとどまらない「ジェンダー分析調査」の実施方法について、見ていきます。

学習資料1 & 2の読み込み

次の資料を読み込みましょう。

学習資料1

**A国園芸作物生産振興プロジェクト: 詳細計画
策定調査結果概要**

学習資料2

Project Design Matrix

65

実践編では、事例に基づいて、説明を進めていきますので、まず、上述の資料を読み込み、理解してください。

学習資料 1

A 国園芸作物生産振興プロジェクト
詳細計画策定調査結果概要

I. 背景

A 国はアフリカ大陸の中央部に位置する内陸国である。総人口の 55%が貧困ライン以下の生活を余儀なくされており、そのうちの 80%以上が農村部に居住している。A 国では、農業セクターは、GDP の約 4 割、外貨収入の約 7 割を占め、国家経済の重要な役割を果たすとともに、貧困層の多くが農業従事者であることから、貧困削減のための最重要セクターと位置付けられている。

農業セクターにおいては、メイズ、コメ等の穀物生産が伸び悩む一方で、近年の都市化及び中産階級の拡大に伴い、野菜、果物等の園芸作物の消費が増加している。園芸作物分野は、作付け、生産量、売り上げの各側面において年率平均 20%の急成長を遂げており、農業関連のサブセクターの中では唯一、今後の成長が期待されている。また、A 国では、大規模農家が輸出用園芸作物生産に注力する一方で、小規模農家も換金用に、また自家消費用に園芸作物を生産しているため、近年の都市部における需要の拡大は、これら小規模農家の生計向上に直接資することが期待されている。

しかしながら、ごく一部の近郊農村を除いて、大多数の小規模農家は、生産技術向上のための研修機会や肥料等の生産財へのアクセスが極めて限定的であること、価格や需給変化といったマーケット情報や優良な販路を持たないこと等の問題を抱え、世帯単位での収益（現金収入及び収穫量）は伸び悩んでいる。特に、マーケット情報や販売取引に関する知識が乏しいことは、仲買人の言い値で取引せざるを得ない状況につながっている。このため、政府は、小規模農家が出荷・販売を集団で行う事によって、大口需要家等への販売経路を開拓し、より適切な価格で生産物を販売できるように、農家の組織化と運営指導を推進している。

II. 協力の概要

1. 実施機関

農業省作物局（組織図については最終ページ参照）

2. プロジェクト対象地域

県内の 8 割以上の小規模農家が園芸作物生産に従事し、かつ高いポテンシャルがあると判断されたキオカ、ズリア、ティトエ、ハマーの 4 県（各県の概要については表 1 参照）。

表1：プロジェクト対象県概要

対象県	気候	農業形態/主要作物	社会状況
キオカ 首都から 400 キロ	亜熱帯気候 標高 800 メートル 年間雨量約 1200 ミリ	天水農業 メイズ、トマト、唐辛子	貧困率：45% 多くの小規模農家が 1ha 前後の土地を所有。主食であるメイズ栽培が盛ん。園芸作物生産は自家消費野菜栽培が中心で、小規模。但し、近年は収入の良い園芸作物生産向けにメイズから土地を少しずつ振り分ける農家も増えてきている。
ズリア 首都から 400 キロ	亜熱帯気候 標高 800 メートル 年間雨量約 1200 ミリ	天水農業 メイズ、サトウキビ、トマト、玉ねぎ	貧困率：57% 多くの小規模農家が 1ha 前後の土地を所有。砂糖工場が県内にあり、多くの農家がサトウキビの契約栽培に従事。土地を持たない青年層がグループで土地を借り上げ、収益率の高い園芸作物生産に従事するケースが増えてきている。
ティトエ 首都から 100 キロ	温帯気候 標高 1800 メートル 年間雨量約 1800 ミリ	天水農業 メイズ、ジャガイモ、キャベツ、インゲンマメ	貧困率：35% 多くの農家が 3ha 前後の土地を保有し、繁忙期には労働者を雇用している。主要作物はメイズだが、首都が近いことから、園芸作物の商業生産も広まってきている。また、広い土地を利用した畜産(乳牛)も盛ん。場所によっては、早魃に頻繁に襲われ、農作物に深刻な被害が出る。
ハマー 首都から 300 キロ	温帯気候 標高 1500 メートル 年間雨量 1500 ミリ	天水農業 ジャガイモ、サトウキビ、玉ねぎ、葉物野菜	貧困率：60% 県の人口密度が高く、多くの農家が 0.3ha 程度の農地しか保有していないため、世帯当たりの生産量が著しく低い。穀物と比較し、土地面積あたりの収益率の高い園芸作物生産は貧困緩和のカギとされている。

3. プロジェクト対象裨益者

キオカ、ズリア、ティトエ、ハマーの各県で園芸作物生産に従事する 120 農民組織及び上記 4 県の農業省職員と農業普及員

4. プロジェクト期間

2015 年 5 月から 3 年間

Ⅲ. 協力の枠組み

1. 協力のコンセプト

本案件においては、詳細計画策定調査により把握された上記「背景」を踏まえ、「マーケティング促進」及び「生産・収穫物管理」に対する支援を主な柱とする。具体的には、小規模園芸農家により構成される農民組織を対象に、「マーケティング促進」及び「生産・収穫物管理」の分野で、農民組織の能力向上に直接貢献しうる研修パッケージの開発を行う。なお、本案件においては、社会的背景や貧困率の異なる 4 県を対象県として選んでおり、地域毎の特性に対応しうる多様なモデルケースを生み出すことで、より多くの県にプロジェクトの成果を波及させる事が出来ると考えられる。また、普及員が研修パッケージを適切に使いこなせるように指導を行う事で、本案件の成果がプロジェクト非対象農民組織にも波及することが期待できる。

2. 協力のアプローチ

本案件では、まず専門家と農業省からのカウンターパートで構成されるプロジェクト・チームが、開発したパッケージに基づく研修を、40（各県 10 グループ）対象農民組織に対して実施する（直接アプローチ）。その後、直接アプローチからの経験を踏まえて、研修パッケージの改訂を行った後、プロジェクト・チームが各県の農業普及員を研修し、研修を受けた普及員が、80（各県 20 グループ）対象農民組織を研修する（間接アプローチ）と言う 2 段階のアプローチを採用する予定である（図 1 参照）。

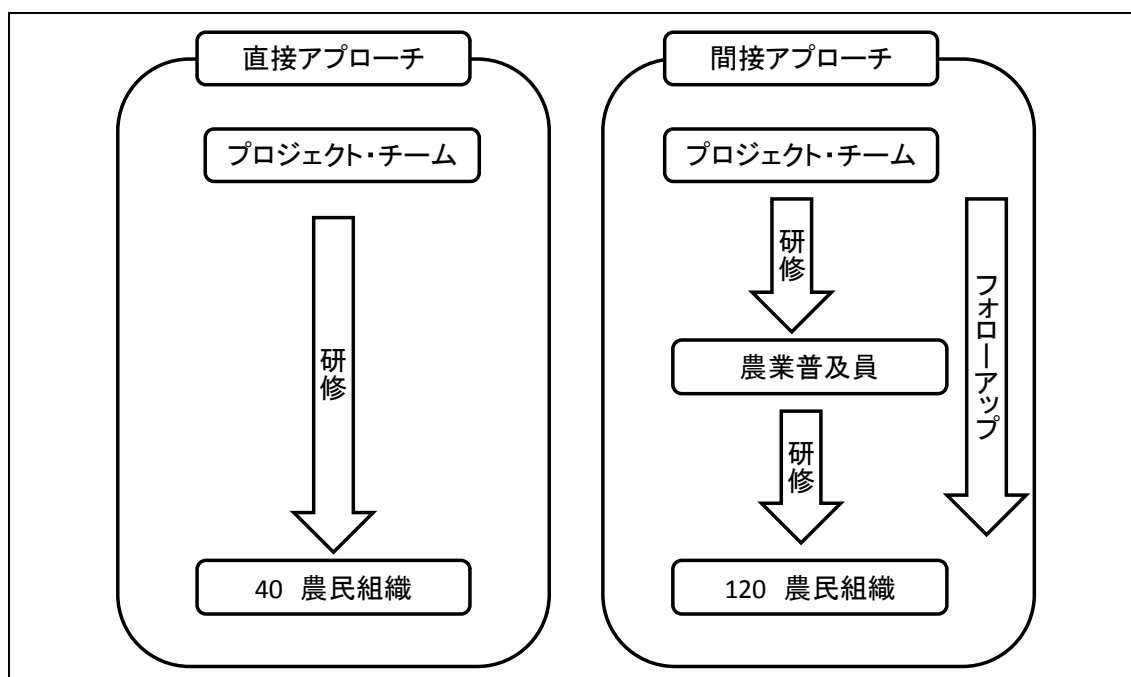


図1：HPIP アプローチ

各アプローチは以下の内容で構成される。

- a. ベースライン調査
プロジェクト活動の成果を測定するため、各農民組織のベースライン情報（栽培作物、生産量、収益等）の収集を行う。
- b. 教材・マニュアル作成
「マーケティング促進」及び「生産・収穫物管理」についての研修コンテンツ及び教材の作成を行う。「マーケティング促進」分野では、農民組織による生産物の共同出荷が円滑に行われるよう、組織の意思決定プロセスの透明化、適切な会計処理の方法等、組織運営に関わる研修を行う。一方「生産・収穫物管理」では、生産技術や収穫後処理を中心に生産量と生産物の品質改善を目的とした研修を実施する。
- c. 農業普及員及び農民組織に対する研修
作成した研修教材を活用して、農業普及員及び農民組織に対して研修を行う。直接アプローチでは、プロジェクト・チームが直接農民組織を訪問し、研修を実施する。一方、間接アプローチでは、各県で普及員を対象とした TOT 研修を数回開催し、その研修に基づき、各普及員が担当農民組織を訪問し、研修を行う。
- d. 巡回指導
研修成果確認のため、プロジェクト・チームが各農民組織を訪問し、適宜指導する。
- e. 次期研修へのフィードバック
研修成果を踏まえ、研修コンテンツ及び教材を適宜改訂する。

3. 協力の基本計画

(1) プロジェクト目標

プロジェクト対象の小規模園芸農民組織の運営能力が強化される。

指標

プロジェクト対象の小規模園芸農民組織の純収益が XX%増加する（ベースライン調査と終了時評価調査によって得られたデータの比較。%についてはプロジェクト開始後 6 カ月以内に設定）

(2) 上位目標

対象地域の小規模園芸農家の生計が改善される。

指標

対象地域の小規模園芸農家世帯収入が XX%向上する。

(3) アウトプット

アウトプット1

小規模園芸農民組織を対象としたカスケード方式の研修アプローチが確立される。

指標

確立された研修アプローチ

研修教材

アウトプット2

対象農民組織の園芸作物の生産量・品質が向上する。

指標

- ・ プロジェクトにより研修を受けた農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均出荷量（実際に販売された量）の増加率（プロジェクト開始後 6 カ月以内に設定）。
- ・ プロジェクトにより研修を受けた農業普及員が担当する農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均出荷量（実際に販売された量）の増加率（プロジェクト開始後 6 カ月以内に設定）。

アウトプット3

対象農民組織が園芸作物を適切に販売することができるようになる。

指標

- ・ プロジェクトにより研修を受けた農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均収益の増加率（プロジェクト開始後6カ月以内に設定）。
- ・ プロジェクトにより研修を受けた農業普及員が担当する農民組織メンバー農家の単位作付面積当たりの平均収益の増加率（プロジェクト開始後6カ月以内に設定）。

(4) 投入

日本側

長期専門家：3名（チーフアドバイザー/農民組織運営、農業生産技術普及、業務調整/研修計画・管理）

短期専門家：必要に応じ派遣（適正技術開発、視聴覚教材作成等）

供与機材：車輛、パソコン、視聴覚機材等

本邦研修：年間1名程度

在外事業強化費：必要に応じたローカルコスト負担を行う。

A国側

施設：プロジェクト事務所及び専門家執務室の提供

C/Pの配置：日本人専門家に対するC/P及び補助職員の配置

ローカルコスト負担：本案件実施に必要な費用を手当てする。

IV. 評価5項目による評価

妥当性

本案件は、以下のようにA国政府の優先課題及び対象グループのニーズと合致するとともに、JICA国別事業実施計画とも一致していることから妥当性は高い。

- ・ A国農業セクター開発計画では、農業の商業化を通じた雇用機会の増加と貧困の削減をその目標としている。園芸作物分野はその消費増加に伴い、急成長が予想される農業サブセクターであり、小規模農家の生産性及び収益性向上を目的とした当該セクターに対する支援は、A国の農業政策に合致している。
- ・ JICA国別事業実施計画では、市場に対応した農業開発促進による小規模農家の生計向上支援を謳っている。また、JICAは園芸作物分野において、個別専門家を過去2年間派遣し、小規模園芸農家を担当する農業普及員に対し、農業技術及び農民組織化に係る研修を実施してきた。本案件は、過去の協力をさらに発展させるものであり、わが国の協力方針に沿ったものである。

有効性

本案件は以下の理由により有効性が高いと判断される。

- ・ プロジェクト目標「プロジェクト対象の小規模園芸農民組織の運営能力が強化される」の達成のためには、まず、運営能力強化のための課題に対し、適切な研修が開発されることが必要である（アウトプット1）。適切な研修を受講することで農家は園芸作物の生産量と品質を向上させ（アウトプット2）、さらに組織を通じて販路開拓を行うと共に販売交渉力を向上させることになる（アウトプット3）。このように、プロジェクト目標を達成するために必要なアウトプットが効果的に組み合わせられて実施されることで、協力期間終了時にプロジェクト目標が達成される見込みは高いと判断される。
- ・ プロジェクトのデザインは、前出の個別専門家の活動を基礎としているが、実施機関である農業省の同専門家の活動に係る認識は高く、本案件実施においてもその積極的なイニシアチブが期待できる。

効率性

本案件は以下の理由から効率的な実施が見込める。

- ・ 農業省はこれまでも、農業普及員による農民組織に対する研修を実施してきた。本案件では、既に農業普及員に支援されている農民組織からプロジェクトが設定する基準に則って、対象グループを選定することになっていることから、効率的な実施が期待できる。
- ・ 本案件ではプロジェクトが直接農民組織を指導するアプローチ（直接アプローチ）とプロジェクトが指導した農業普及員が農民組織を指導するカスケード方式のアプローチ（間接アプローチ）を採用する。直接アプローチでその効果が十分に精査された研修内容を間接アプローチが引継ぎ、より多くの農民組織への普及を図る事となる。二つのアプローチが効果的に組み合わせられており、質が担保された研修を多くの組織に実施することができる。

インパクト

プロジェクトでは対象地域で活動する農業普及員全員に対し、研修を実施する予定である。このため、プロジェクトが対象としていない農家グループについても、本案件で開発された研修が実施される事となり、大きな波及効果が望める。

持続性

本案件の持続性については、以下のように見込める。

- ・ 農民組織化に係る研修では、メンバーの意思が十分くみ取れる組織運営について指導することで、プロジェクト終了後も農民組織が自立的に維持・発展していく事が期待される。
- ・ 園芸作物分野の急成長に呼応して、農業省においても当該分野に係る予算配分

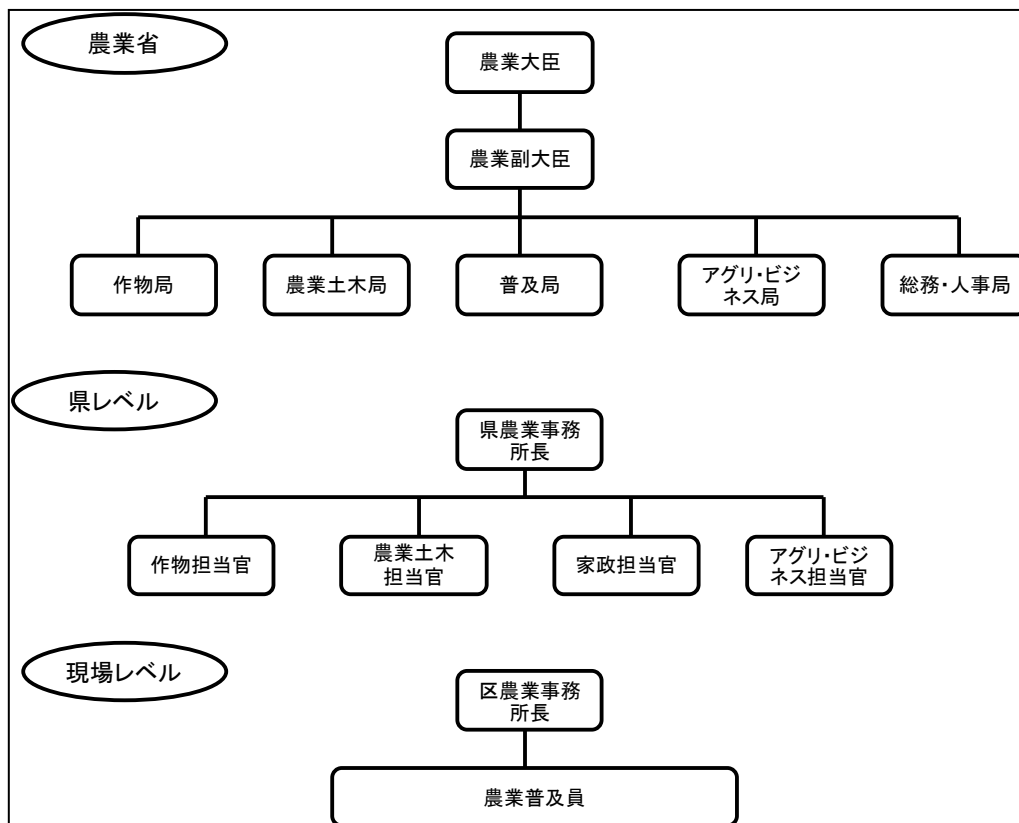
の増加が見込まれ、財政面での持続性は担保されている。

- ・ 研修を通じて、農業普及員の園芸作物生産に係る知識・スキルの向上が達成されることから、技術面での持続性は高い。

V. 貧困・ジェンダー・環境等への配慮

農民組織の結成・運営においては、各メンバーが意思決定に参加し、研修機会へのアクセス、活動に伴う負担・利益が公平に配分される仕組み作りに取り組み、内部の格差を生まないように努める。

農業省組織図



(概要)

A 国の農業省は、本省、県農業事務所、区農業事務所の3層で構成されている。農家に対し栽培技術からマーケティングの方法まで、一連の技術指導を行うのは区農業事務所に配属されている農業普及員である。区農業事務所の上には、県農業事務所が配置されており、ここには、作物栽培を専門とする作物担当官、灌漑施設等の保守・整備を専門とする農業土木担当官、農産物加工や販売を専門とするアグリ・ビジネス担当官、農家の生活改善を担当する家政担当官が籍を置き、前線で活動する農業普及員のバックストップの役割を担っている。一方、本省は、農業大臣を筆頭に5つの局から構成される。A 国では、本省の一つの局が県農業事務所及び区農業事務所を主管する形態は取っておらず、県農業事務所は各局からその科目に応じて指示及び支援を受ける事となっている。本案件のカウンターパートは作物栽培に係る技術開発等を担っている本省作物局であり、県レベルのカウンターパートは作物担当官となる。ただし、上述のように、実際に農民組織の指導にあたるのは農業普及員である。なお、ジェンダーについては、本省普及局が、ジェンダーを含む HIV/AIDS、環境等のクロス・カッティング・イシューの啓発を担当しており、同局にジェンダー担当官が配置されるとともに、県レベルでは家政担当官がジェンダー関連業務を兼務することになっている。

学習資料 2 Project Design Matrix

Ver. 0, made on 25th January, 2015

Project Name: Horticulture Production Improvement Project

Duration: 3 years (2014/5 – 2017/4)

Implementing Agencies: MoA and JICA

Target Group: Smallholder horticulture farmer groups and extension staff of MoA in the target area.

Target Area: Kioka District, Zuria District, Tytoe District, Hamer District

Narrative Summary	Verifiable Indicator	Means of Verification	Important Assumption
<p>Overall Goal: Improved livelihoods of smallholder horticulture farmers in the target districts.</p>	Increased net-benefit of the smallholder horticulture groups from horticulture sales in the target district (% to be determined in 6months after launching)	District Development Profiles	
<p>Project Purpose: Developed capacity of the smallholder horticulture farmer groups supported by the Project.</p>	Increased net-benefit of the smallholder horticulture groups supported by the project (% to be determined in 6months after launching).	Base-line Survey Reports; Project Evaluation Reports.	Market prices of horticultural crops don't encounter sharp decline. .
<p>Outputs:</p> <p>1. The approach for the farmer group training is developed.</p> <p>2. The production of better quality crop is increased in the target groups</p> <p>3. The bargaining power of the target groups to market their produce is enhanced.</p>	<p>1-1. Developed training approach 1-2. Developed training materials</p> <p>2-1. Average growth rate of net produce (i.e. deducting the rejected amount) of members of the farmer groups supported directly by the Project. 2-2. Average growth rate of net produce (i.e. deducting the rejected amount) of members of the farmer groups supported by the extension staff who were trained by the Project.</p> <p>3-1 Average growth rate of net income per acre of members of the farmer groups supported directly by the Project 3-2 Average growth rate of net income per acre of members of the farmer groups supported by the extension staff who were trained by the Project.</p>	Base-line Survey Reports; Project Evaluation Reports.	Market demand of horticultural produce and products do not shrink; Market prices of horticultural crops don slump; There is no severe outbreak of pests and diseases; Policy support for road maintenance and network development is not deteriorated.

ACTIVITIES	INPUTS		IMPORTANT ASSUMPTION
	COUNTRY A SIDE	JAPANESE SIDE	
<p>1-1 To conduct a survey on agro-ecological conditions, horticulture production techniques and quality control practice (pre-/post-harvest) in target districts;</p> <p>1-2 To conduct a survey on transactions of horticultural commodities, livelihoods of smallholder horticulture farmers, system of price formation and group formation;</p> <p>1-3 To examine current extension system as well as its strengths and constraints</p> <p>1-4 To develop materials on the followings</p> <ul style="list-style-type: none"> - Production technique & quality control of horticulture crops - Group formation & management - Group marketing <p>2-1 To conduct the Baseline survey on horticulture production of smallholder farmers</p> <p>2-2 To organize the training for extension staff on production technique & quality control of horticulture crops.</p> <p>2-3 To organize the training for target groups on production technique & quality control of horticulture crops.</p> <p>2-4 To organize monitoring visit and follow-up support for farmer groups trained</p> <p>2-5 To revise training materials</p> <p>3-1 To conduct the Baseline survey on horticulture marketing practices of smallholder farmers</p> <p>3-2 To organize the training for extension staff on group formation & management as well as group marketing.</p> <p>3-3 To organize the training for target groups on group formation & management as well as group marketing</p> <p>3-4 To organize monitoring visit and follow-up support for farmer groups trained</p> <p>3-5 To revise training materials</p>	<ul style="list-style-type: none"> - Counterpart personnel from MoA with relevant expertise - Office space - Local cost 	<p>【JICA Experts】</p> <p>-3 long-term experts (Team Leader/ Farmer Group Formation and Management, Horticulture Production and Extension, Coordinator/ Training Administration)</p> <p>-Short-term experts (Appropriate Technology) *Others to be dispatched if necessary.</p> <p>【Provision of Equipment】</p> <p>3 vehicles, 1 photocopier, audio-visual equipments, office equipments</p> <p>【Local cost】</p> <p>【Training in Japan】</p>	<ul style="list-style-type: none"> • Policy support for horticulture sub-sector development does not change drastically.

セッションの目的

「ジェンダー分析手法」を用いた「ジェンダー分析調査」の実施手法についての習得

ジェンダー分析調査：
対象社会の男女間格差を把握した上でそれがどのように人々の生活に影響を及ぼしているか、その是正のためにどのような働き掛けが有効・必要であるかを明らかにすることを目的とする

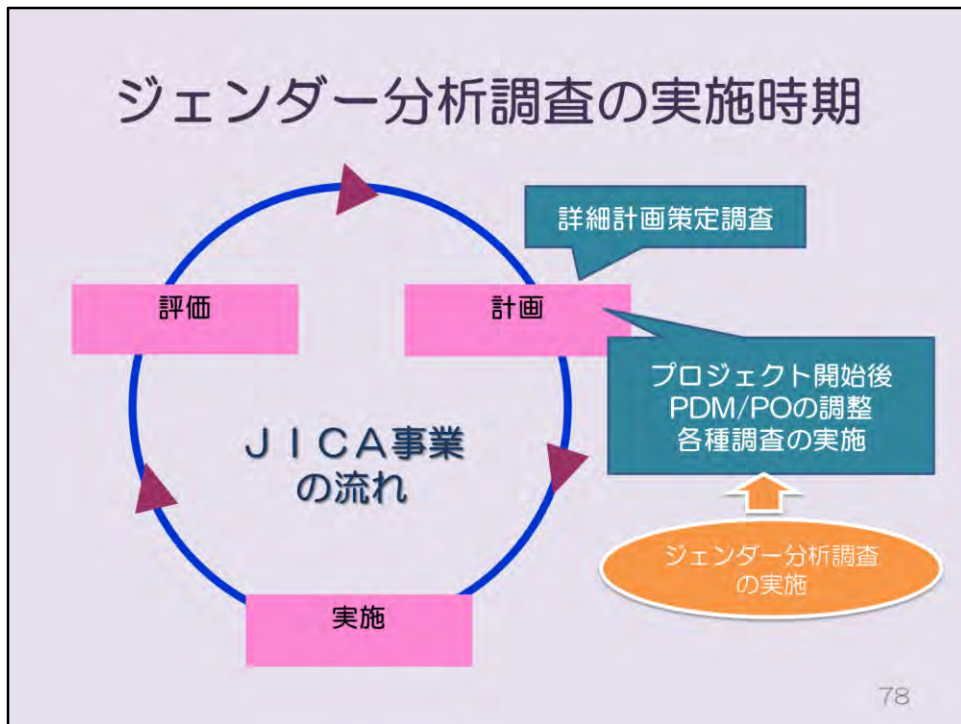
77

学習資料を読み込んでいただいたら、PCMの計画段階で行うこととなる「ジェンダー分析調査」についての説明を始めたいと思います。

本セッションでは、プロジェクトの対象地域の男女農民がどのように互いにかかわりあいながら、生活しているのかを確認することを目的とした「ジェンダー分析調査」の実施方法について、見ていきます。

プロジェクト受益農家が、どのような行動規範を持ち、それに基づいて男女がどのように行動しているのか、またその結果としてどのようなジェンダー課題が生じているのかを把握することは、モジュール2でも見てきた通り、今後、プロジェクトを実施していく上で、非常に重要なポイントとなります。調査を通じて把握された問題点や課題を念頭に、プロジェクト活動を組み立てていくことで、活動のより円滑な実施が期待できます。

なお、ジェンダー分析調査では、対象地域の概況を把握するための定性データの収集が中心となりますので、その点に留意して、以後のスライドを読み進めていってください。



まず、ジェンダー分析調査実施のタイミングです。

前述の通り、「ジェンダー分析調査」は、プロジェクトの立ち上げ期、プロジェクトが対象地域の様々な側面を把握するための各種調査を行い、その結果をプロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)に反映させようとする時期に実施するものです。

JICAでは、技術協力プロジェクトの策定にあたって「詳細計画調査」を実施しますので、この段階で「ジェンダー分析調査」を組み入れることは非常に有効です。そうすれば、農家の意識や行動に対して誤った認識や理解に基づいて、プロジェクトの基本計画が作成されることがなくなります。

但し、「詳細計画調査」実施時には、プロジェクトの具体的な対象地域が決められていない場合が多いため、プロジェクト立ち上げ後、プロジェクト活動対象地域が決定した段階で、改めて「ジェンダー分析調査」を対象地域で実施する必要があります。

ジェンダー分析調査の実施手順

1. 調査目的の確認
2. 調査項目の設定
3. 情報の整理
4. データ収集手法の検討

79

それでは、「ジェンダー分析調査」の具体的な実施方法について、見ていきます。

1 調査目的の確認

- 調査目的の明確化

- 本ジェンダー分析調査により特に何を明らかにしたいのか



対象社会の状況とは具体的に何か？

80

まずは、調査目的を確認します。

「ジェンダー分析調査」の目的はプロジェクト対象地域において、受益農家となる男女がどのような行動規範を持ち、それに基づいてどのように行動しているのか、またその結果としてどのようなジェンダー格差が生じているのかを確認することです。

本調査は、通常3～4日程度で行うことを想定しています。従って、調査目的を絞り込んでから、調査に取り掛かることが重要です。また、本調査は、あくまでも特定のプロジェクトの枠組みの中で行うものですので、プロジェクトの目的、活動内容に照らし合わせつつ、対象地域の何について知りたいのかを明確にしなが、調査目的を絞り込んでいく事が肝要です。

本教材の事例であるHPIPは園芸作物生産を営む農家を対象としたプロジェクトです。従って、HPIPの枠組みの中で行うジェンダー分析調査は、園芸作物生産に従事する男女農家の生産活動を中心とした日常生活を確認することを目的として実施することになります。

2 調査項目の設定

- 具体的な調査項目の設定
 - 調査目的を達成するためにどのような情報が必要か
 - 本当に必要な情報は何か？
 - 設定された調査期間で調査は可能か？

調査項目のしぼりこみ

81

調査目的が設定されたら、具体的な調査項目について検討していきましょう。

HPIPの受益農家である「園芸作物生産に従事する農家男女」の生活を確認するためには、どのような調査項目を設定すれば良いか考えてみましょう。

HPIPのような農業技術普及プロジェクトでは、プロジェクトの立ち上げ期に、対象農家が活用している道具や技術、また営農方法について確認されると思います。また、農家に技術伝達を行う普及員の知識レベル、普及方法等についても調査されることと思います。一方、ジェンダー分析調査では、性別不詳の「農家」ではなく、男性農家、女性農家を個別に見ていく事を心がけてください。例えば、特定の農業技術を実際に活用しているのは男性なのか女性なのか、と言ったことです。また、農家は園芸作物生産という生産活動に従事していますが、一日中それだけを行っているわけではありません。日々の生活で農家は生産活動と共に、家事をしたり、コミュニティ活動に参加したりしているはずです。生産活動にどのくらいの手間と時間をかけられるかは、当然のごとく、家事やコミュニティ活動との兼ね合いになります。農作業により多くの手間暇が必要となる場合、その時間を捻出できるのかどうか、プロジェクトとして知っておく必要がある点です。

これらの点を踏まえて、ジェンダー分析調査の調査項目を検討します。

3 情報の整理

- 調査項目と照らし合わせ、既存情報を確認
 - 詳細計画調査報告書
 - プロジェクトのデザイン（プロ目、アウトプット、活動、投入等）
 - その他プロジェクト資料

さらにどのような情報が必要なのか

82

調査項目がある程度特定されたら、手元にある既存情報と分析調査を実施していく中で入手していく情報とに整理します。

詳細計画調査報告書や他のプロジェクト資料は、ジェンダー分析調査実施にあたって、有益な情報を提供してくれるはずです。

また、もう一度、プロジェクト目標、アウトプット等、PDMを確認し、プロジェクトが何を目指し、どのような方法／活動でそれを達成しようとしているのか、頭に入れ、ジェンダー分析調査項目が、それらと合致しているかを検討してみます。

調査を行う際、せっかく調査するのだからという事で、調査内容を膨らませがちとなりますが、設定された日程内できちんと調査が実施できるよう、くれぐれも注意してください。

4 データ収集手法の検討

必要な情報を、どこ（誰）から、どのように集めるのか

【プロジェクト事務所内で】

- ① 文献調査
 - a. 国別ジェンダー情報整備調査報告書
 - b. 援助機関関係資料（WB、ADB/A f DB、FAO、UNFPA、UNWOMEN等）
 - c. 当該国資料（ジェンダー政策、世帯調査等）
- ② C/P等への聞き取り

83

調査項目が整理出来たら、データ収集方法を検討します。

まず、プロジェクト対象地域に出向かなくても収集できる情報・データを集めます。これまでに様々な援助機関が、多様な調査やプロジェクトを実施し、それらについての報告書を、インターネット上で公開しています。プロジェクト対象国の情報はもちろん、対象地域やその周辺地域に関する情報を見つけることもできるかと思えます。JICAでも各国で「ジェンダー情報整備調査」を実施し、その報告書を公開しています。

調査前に予断を持つことは絶対に避けなければなりません。対象地域の状況についての知識や情報を前もって得ることで、調査のポイントが明確になる場合が往々にしてあります。

また、当該国政府の政策についても、確認する必要があります。農業政策だけでなく、農業分野でどのようにジェンダー主流化を推進しているのかと言った農業分野におけるジェンダー政策を、近年は多くの国が整備しています。必ず、そのような政策があるかどうかを確認し、あれば精読してください。また、政策がない場合でも、指針等を設定している場合がありますので、カウンターパートに確認する等して、必要な情報を入手することが肝心です。さらに、政策と共に、その政策を日々の業務に反映していくために、職員向けの研修、あるいは予算措置と言った具体的な方策を講じているのかも、忘れずに確認してください。

4 データ収集手法の検討

必要な情報を、どこ（誰）から、どのように集めるのか

【プロジェクト対象地域で】

- ① アンケート調査
- ② インタビュー調査
- ③ グループ・ディスカッション
- ④ 観察

注意点は？



84

次に、プロジェクト対象地域に出向いてしか、集められない情報の収集方法について検討してみます。

スライドに示された4つは、社会調査を行う際に極めて一般的に用いられる手法と言えます。

但し、本分析調査が3～4日程度での実施を念頭に置いていることを考えると、①のアンケート調査を調査期間中に行うのは難しい面が多いと思われます。これは、アンケート調査の精度を確保するためには、ある程度の人数の回答者を必要とするからです。また、アンケート調査においては、当該地域や対象住民に関する知識がない場合、適切な質問項目及びその選択肢を設定することが容易ではないため、プロジェクト立ち上げ期の当該地域における知識や情報が少ない段階で、効果的なアンケート調査を行うのは難しいと考えられます。

一方、②と③は、「農家の声を聴く」ための有効なツールとして活用を検討してください。また、④についても、調査中に収集された情報の正否を確認することのできる有効な手法です。インタビューやディスカッションの参加者は、嘘を言うつもりではなくても、思い込みや他の参加者の意見に流されて、事実とは異なる発言をする場合があります。それらを見極めるためにも、客観的な判断材料を提供してくれる④の観察は、有効な調査手法と言えます。

4 データ収集手法の検討

必要な情報を、どこ（誰）から、どのように集めるのか

【プロジェクト対象地域で】

⑤ 分析ツールを活用した調査

- a. Activity Profile
- b. Daily Activity Profile
- c. Access & Control Profile

ジェンダー情報
収集のための
基本ツール

85

⑤の分析ツールは、モジュール2でもご紹介したように、ジェンダー情報収集のために特別に開発されたツールです。

これらのツールは、対象地域の農家世帯男女がどのように互いにかかわりあいながら生活しているのかについての重要な情報を提供してくれます。

分析ツールの活用にあたっては、当該地域でプロジェクトの受益者となるであろう農家世帯の男女それぞれ、5～7人程度に集まってもらう必要がありますので、事前に、対象地域の関係者に調整してもらうよう依頼する必要があります。

各ツールの説明については、モジュール2の該当スライドを参照ください。

5. 演習問題

86

それでは、これまでに説明してきたことを確認するための演習問題に、ここで取り組んでみてください。

演習問題：分析調査準備

学習資料及びこれまでの説明内容に基づき、HPIPのジェンダー分析調査の調査デザインと質問項目について以下の点を検討し、取りまとめてください。

I. 調査デザイン

- ①調査目的 ②調査対象者 ③調査手法

II. 質問項目

- ①聞き取り調査対象者、調査手法、質問項目
(対象者毎に質問項目を取り纏めること)
- ②参加型分析ツール表
(Activity Profile及びAccess & Control Profile)

87

それでは、これまでの説明を参考に、学習資料1、2をもう一度読み込みながら、ジェンダー分析調査の準備作業となる演習問題に取り組んでみてください。

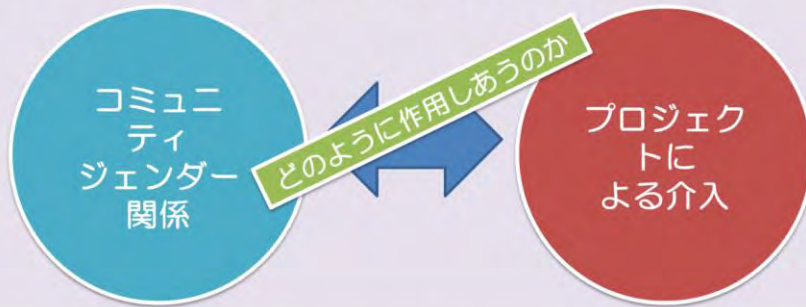
6. まとめ

88

それでは、モジュール3の演習問題に係る留意点を一つ一つ見ていきたいと思います。

調査目的

1. コミュニティの状況を知る



プロジェクトは既存のジェンダー関係にどう作用するのか？
既存のジェンダー関係はプロジェクトの介入にどう反応するのか？

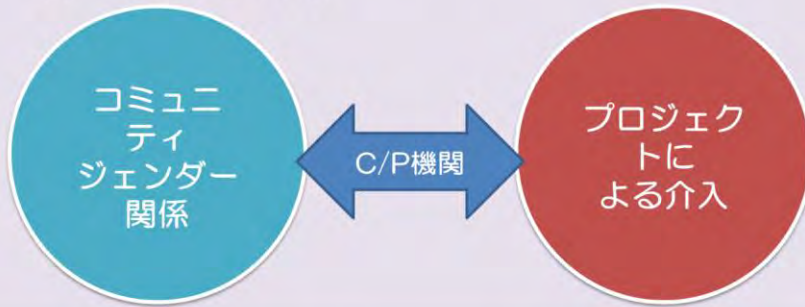
まずは、調査目的です。

前述のように、ジェンダー分析調査はプロジェクトの枠組みの中で実施するものです。従って、本調査では、まず対象地域の農家男女がどのように行動しているのかを確認し、そこに男女間の格差が存在しているかどうかを見ていきます。その上で、もう一步踏み込んで、男女の行動や男女間の不平等な力関係が、プロジェクトが計画している介入／活動によってどのような影響を受けるのか、また、反対にプロジェクトの介入／活動が、どのように影響を受けるのかについてみていくようにして下さい。

HPIPは、園芸作物生産向上を目指すプロジェクトです。従って、園芸作物を生産している農家が、どのように生活し、どのように園芸作物生産に従事し、そこにはどのような男女の差異や不平等があるのかを、まず確認することが必要です。その後、それを踏まえ、その地域でHPIPの活動が実施されたら、農家の行動や既存の関係がどのように活動と影響しあうのかを見ていく事が、HPIPで実施するジェンダー分析調査の目的の一つとなります。

調査目的

2. プロジェクト実施者（C/P機関）体制・認識を知る



C/P機関はジェンダー課題についてどう対応しているのか／するだろうか？

さらに、プロジェクトの実施機関であるカウンターパート機関が、プロジェクトの「ジェンダー主流化」について、どのような認識を持っており、その機関で働く職員が「ジェンダー主流化」に係るどのような技能を有しているのかを確認することも、本調査の重要な目的の一つになります。これは、JICAの技術協力プロジェクトは通常、カウンターパート機関職員が各活動の実施を担うことになるため、これら関係者の知識や技能を事前に把握し、それに基づいて方策を練る必要があるからです。

ここでは、単に政策や中央政府の方針にとどまることなく、対象地域で実際に活動する行政官や普及員が、園芸作物生産における男女の働きぶりをどのようにとらえているのか、それについて何か問題や課題があると思っているのか、もしそう思っているのならば、その問題や課題を解決していくための技能を、職員が保持しているのか等についても見ていく必要があります。

調査目的

1. コミュニティのジェンダー関係の把握
 - 男女の労働分担状況（生産・再生産・コミュニティ活動）
 - 男女の意思決定への関与状況（世帯・コミュニティ）
2. C/P機関の体制・認識の把握
 - C/Pのジェンダー政策
 - 行政官・普及員のジェンダーに係る知識



プロジェクト活動への影響
プロジェクト活動からの影響

91

調査目的を取りまとめると、このような感じになるかと思います。

つまり、コミュニティのジェンダー関係を把握すると共に、カウンターパート機関の体制や職員の技能を見極め、それらが、プロジェクト活動とどのように関係しあうかを見ていく事が調査の目的となります。

調査対象者

- 政府関係者（県職員、普及員）
- ターゲットコミュニティ（キーインフォーマント、農家グループ、男女農家）



政府関係者やキーインフォーマントの性別にも注意を！

92

次に調査対象者です。

二つの調査目的を達成するための、調査対象者は、カウンターパート機関職員、そして対象地域の農家男女、さらに地域の実情に精通しているキー・インフォーマント等が挙げられます。

これらの調査対象者を特定する際、出来るだけ、対象者の男女比が等しくなるように工夫してください。カウンターパート機関職員については、難しい場合がありますが、農家男女及びキーインフォーマントはできるだけ男女同数となるように配慮し、異なる立場の人たちから意見や考え方を得られるように努めてください。

調査手法

文献調査、インタビュー、
グループ・ディスカッ
ション、参加型分析ツ
ール等

注意点は？



93

調査手法は、前述のように、社会調査で良く用いられるインタビュー、グループディスカッションと共に、男女間の相違を明らかにすることを目的とした分析ツールを用いての調査も是非実施してください。



センシティブな情報は参加メンバーを工夫する（男/女、行政官/農家、上司/部下等）

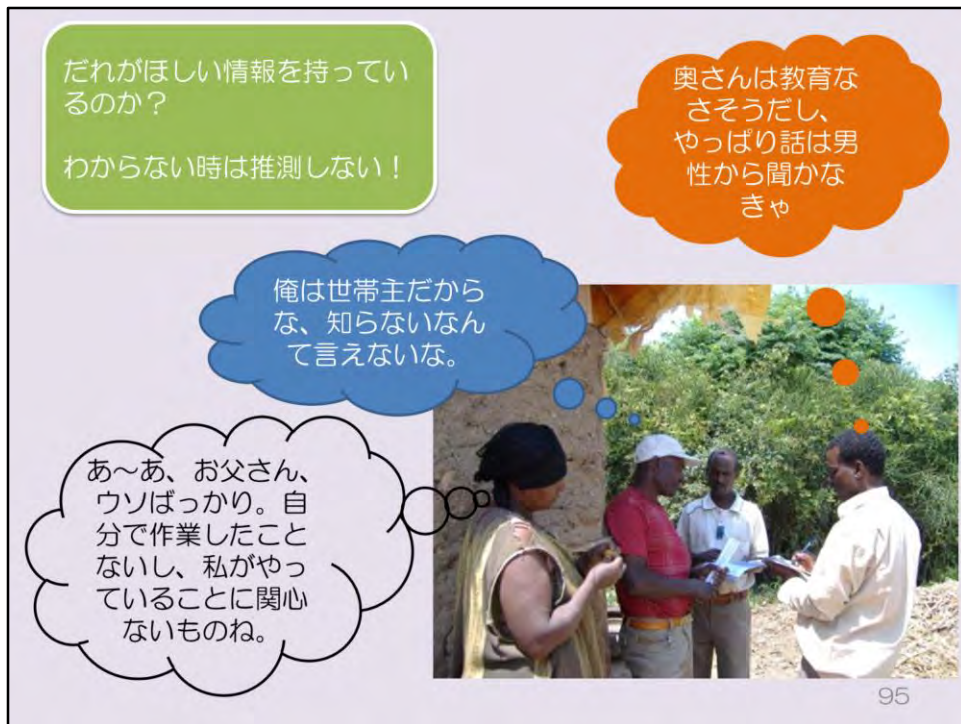
可能であれば、通訳にも配慮

参加者皆がディスカッションに参加できるようにファシリテートする。

複数の参加者を得て調査を実施する、グループディスカッション、グループインタビューあるいは分析ツールを使った調査の実施に際しては、調査対象者が、自由に意見が述べる事が出来るよう、配慮することが肝要です。

男性の前で自由に意見を述べることを戸惑う女性が多いですし、お世話になっている普及員の前で、普及活動の問題点を指摘することをためらう農家も少なくないでしょう。利害が対立すると思われる調査参加者を別々のグループに分け、本音が聞きだせるような工夫が必要です。なお、多人数でディスカッション等を行う場合、活発に発言する人がいるのに対し、ほとんど発言しない人も出てきます。発言していない人たちにも、適宜質問するなど、全員がディスカッションに参加できるよう工夫することも必要です。そうでないと、発言する人の意見のみが調査結果に反映されることになってしまいます。

また、現地語を調査者が解しない場合、通訳を雇用することがあると思いますが、通訳が自分の意見を反映して、通訳を行わないよう、通訳者に注意を促すと共に、現地語を若干でも理解する人たちに確認を求めるなどの配慮が必要です。



例として、この写真を見てください。

これは、酪農プロジェクトで、改良牛を農家に試験的に飼育してもらっている農業研究所の研究者が牛の飼育状況を確認するために、農家を訪問した時の様子です。白いシャツの二人の研究者は、世帯主の男性だけに聞き取りをしていますし、男性も隣にいる奥さんに発言を求めることはしていません。しかし、調査員の聞き取りが終わった後、個別に奥さんに確認すると、この家で、実際に牛の世話をしているのは、彼女でした。

男性だから、世帯主だから、と知らず知らずに、自らの思い込みや先入観で、この研究者と同じようなことをしていないかを常に意識することが必要です。

調査内容：農家

コミュニティ
ジェンダー
関係

プロジェクト裨益者のジェンダー状況の確認

- どのように生活しているのか
- どのようなジェンダー関係なのか
- どのような課題を抱えているのか

プロジェクトの枠組みを反映させながら
探っていく

96

調査内容は、これまでに述べたように、プロジェクトの枠組みの中で、男女の生活、男女間の相違、相違から生ずる課題等に着目したものになるよう検討してください。

調査項目：農家

- 調査項目

- (ジェンダー状況)

- 労働分担/意思決定/リソースへのアクセスとコントロール/男女の役割に係る認識(規範)/認識されている課題等

- (農作業/マーケティング)

- 重要作物/労働・責任分担/意思決定/利益配分等

- (農家グループ)

- 設立目的/参加者構成/参加状況/強みと課題/意思決定プロセス/プロジェクトへの期待等

97

本演習課題での具体的な農家に係る調査項目は、主としてこれらとなるかと思いません。

調査内容：C/P機関

C/P機関の
現状と認識

活動実施機関は、ジェンダー
問題に対する認識と現状

- 政策は？
- 幹部の意識は？
- 現場レベルの意識は？

プロジェクトの枠組みを反映させながら
探っていく

98

カウンターパート機関に係る調査項目はこれらが挙げられます。

政策や政府方針に「ジェンダー主流化」の重要性が明確に謳われていたとしても、それらが現場レベルでの活動に反映されているとは限りません。現場の人たちが何を考え、どのように行動しているのかを確認することが重要です。

調査項目：C/P機関

(政策・制度面)

- ジェンダー政策/実施体制/予算/活動/職員研修等

(技術面)

- ジェンダー理解の程度/アプローチ等

(対象地域)

重要な作物（栽培・販売）/マーケティング/地域のジェンダー状況等

男女の差異を明らかにすることを中心に！

99

本演習問題では、C/P機関に係る調査項目は主にこれらがあげられます。

対象地域に係る調査項目は、農家に対する調査項目と同様のものですが、政府職員と農家では、同じ調査項目でも、異なる情報や認識を持っているので、両者から聞き取ることが重要です。

参加型分析ツール

園芸作物の場合
(例)

Activity
Planting
Weeding
Spraying
Harvesting
Marketing
Income Control

プロジェクト活動に
合わせて、
各活動を選定

	Men	Women
Productive Activities		
Agricultural/Livestock/etc		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Trade/business/crafts		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Employment		
Activity 1		
Activity 2, etc.		
Other		
Reproductive Activities		
Cooking		
Cleaning		
Childcare		
Firewood/Water Fetching		
Other		
Community Activities		
Ceremonies		
Community meetings		
Others		

参加型分析ツールについても、少し確認しましょう。

「Activity Profile」の作業、「Access and Control Profile」のリソース／資源について、特定することが出来たでしょうか。

繰り返しになりますが、生産活動で取り上げる作業は、プロジェクトと関係している作物に係る作業です。HPIPの作物は「園芸作物全般」ですので、調査対象地域で一般的に生産されている園芸作物を調査参加者に特定してもらい、その作物に係る具体的な作業を取り上げていくと良いと思います。

また、「Access & Control Profile」ツールにおいても、特定された作物生産に必要な不可欠なリソースをリストアップするようにして下さい。

その他留意点

- 情報は**トライアングレーション**させる。
 - 異なる手段で、様々な人から、同じ情報を集め、その内容を精査する。
- 情報は**男女別**に収集し、加工する。

101

こちらでも繰り返しのようになりますが、情報は複数の情報源で確認するトライアングレーションを必ず行ってください。例えば、男性農家のグループディスカッションで出てきた情報が、女性農家、キーインフォーマント、あるいは分析ツールを使った調査等からの情報と整合性があるかどうかを確認してください。調査者の側に思い込みがあると、その思い込みに沿った情報を無条件に信頼しがちです。留意すべき点と言えます。

また、誰から得た情報かを必ず、情報収集の際は記録してください。

アンケート調査を本分析調査実施中に行うことはあまりないかと思いますが、アンケート調査の質問票に回答者の性別を記入してもらいながら、その後のデータ取りまとめで、性別を全く考慮せず、全データを一緒に処理してしまう場合があるようです。性別は貴重な情報の一つですので、くれぐれも無駄にしないようにして下さい。

参考資料

- Gender Analysis Study Outline

102

参考資料として、あるプロジェクトで実施したジェンダー分析調査の調査デザインおよびグループ・ディスカッションやインタビューで活用した質問票を参考資料として添付します。

また、別添資料の能力強化研修参加者による本課題に係るグループワーク結果も参考になるかと思えます。

GENDER ANALYSIS STUDY OUTLINE

Objectives	Assess the gender situation of the target area and provide the basic information on gender for the gender mainstreaming of the Project
Date	December 2015
Place	Four districts (localities to be decided)
Interviewees/ Participants (Gender balance to be taken into account)	<p><i>Semi-structured Interview</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ● Agriculture Officers / Gender Officers in the districts (2-3 officers) ● Extension Officers (2-3 officers) ● Key Informants (Village Leaders, Women's group leaders, etc. 2-3 people) <p><i>Group Interview</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ● Farmer Group Management <p><i>Gender Analysis Exercise</i></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 10 men farmers and 10 women farmers from Farmer Groups A and B

Study Schedule

Time	Agenda
Day 1	
9:00 – 10:00	Courtesy Call to Agriculture Office
10:00 – 11:00	Group Interview: Agriculture officers / Gender officers
11:00 – 12:00	Group Interview: Extension officers
12:00 – 13:30	Move to the village / Lunch
13:30 – 17:00	Interview / Group Interview : Key informant, Farmer Group Management
Day 2	
9:30 – 13:00	Gender Analysis Exercise : Group A
14:00 – 17:00	Interview / Group Interview : Key informant, Farmer Group Management
Day 3	
9:30 – 13:00	Gender Analysis Exercise : Group B
14:00 – 17:00	Interview / Group Interview : Key informant, Farmer Group Management

Interview Questionnaire: Government Officers

(Government Policy)

1. Please briefly explain about policies and strategy of the government on gender.
2. Is there any gender related activity under implementation in the district?
3. Is there any budget allocated in your office to implement gender related activities?

(Capacity of Government Officers on Gender Mainstreaming)

4. Have you ever received any gender training? How do you think your skills and knowledge on gender?
5. How do you evaluate skills and knowledge of extension officers on gender?

(Community Information)

6. Please briefly explain about features of the community: Major crops, major productive activities, major socio-economic problems, etc.
7. Is there any perceived gender issues in the community?

(Any other information)

8. Any other issue which HPIP should be aware of?

Interview Questionnaire: Extension Officers

(Capacity of Officers on Gender Mainstreaming)

1. Have you ever received any training in gender?
2. Have you ever received any instruction from your office on integration of gender aspects in your work? If so, what do you do?
3. How do you evaluate your skills and knowledge on gender?

(Community Information)

4. Briefly explain about features of the community: Major crops, major productive activities, major socio-economic problems, etc.
5. **Briefly explain how men and women farmers are engaged in farming. Is there any men's crop or women's crop?** Is there any cultural taboo in farming activities?
6. Briefly explain how men and women farmers are engaged in marketing of agriculture produce?
7. Is there any perceived gender issues in the community?
8. What do you think of reaction of the community if HPIP introduces the gender concepts into activities? Is there any cultural taboo for men and women to interact each other?

(Any other information)

9. Any other issue which HPIP should be aware of?

Interview Questionnaire: key Informant

(Community Information: Gender Issues)

1. Please briefly explain about the following issues in your community.
 - a. Gender division of labor in farming and household chores
 - b. Access to and control of resources in the household
 - c. Participation of women in household / community decision-making
 - d. Participation of men and women in community activities
 - e. Any socio-economic problems of the community

(Community Information: Productive activities)

2. What are the major crops of this community?
3. What are major problems / constraints in terms of agriculture production in this community?
4. How are men and women engaged in farming in this community? Is there any cultural taboo in farming activities?
5. How are men and women engaged in marketing of agriculture produce? Have you ever received any training in gender? Is there any cultural taboo for men and women to interact each other?

(Farmer Groups)

6. Why do farmers organize a group in this community? What are their objectives?
7. Who participates in a group, men or women?
8. What activities do they do as a group in general?
9. How do you evaluate their performance?

(Any other information)

10. Any other issue which HPIP should be aware of?

Interview Questionnaire: Farmer Group Management

(Group Information)

1. Please briefly explain about the followings about your group.
 - a. Brief history
 - b. Membership / Management (gender composition)
 - c. Activities
 - d. Perceived benefits of forming a group
 - e. Constraints / Challenges
 - f. Gender issues (gender balance, participation, etc.)

(Interest to HPIP)

2. How do you think your members participate in HPIP activities?
3. Is there any cultural taboo for men and women to interact each other?

モジュール4 「分析結果の読み解き方：課題抽出」

108

課題抽出の手順：HPIPの場合

1. 収集情報の整理
2. プロジェクト活動の確認
 - ① 現場レベルでは誰がどのようにプロジェクトに参加するのか
 - ② 農家は？
 - i. どのような活動に参加するのか
 - ii. 農家はそれらの活動でどのような役割を期待されているのか
 - ③ 農業普及員は？
 - i. 農家を支援する能力/支援体制は充分か
3. 収集情報に基づくプロジェクト活動の予測
4. 課題の特定

109

モジュール4では、ジェンダー分析調査の調査結果取りまとめ、そして調査結果に基づく課題の抽出方法について見ていきます。

ここでも、HPIPを念頭に話を進めていきます。

学習資料3の読み込み

以下の資料を読み込みましょう。

学習資料3

現地調査により収集された情報

110

この資料は、モジュール3で検討した「ジェンダー分析調査」を実施した結果、収集された情報です。これらの資料を読み、まずは、どのような情報が収集されたのかを確認してください。

学習資料 3

現地調査により収集された情報

インタビュー結果

1. 県農業事務所作物担当官（男性）

農業省では、ジェンダー戦略文書が作成されていて、女性農家が研修や普及活動に男性同様にアクセスできるよう取り組むことの重要性が明記されている。それと共に、最近はこのドナーも支援対象農家グループの条件として、女性農家がグループに含まれている事を挙げるので、大抵の農家グループが女性農家をメンバーとしてうけいれているし、普及員に対しても農家グループを組織する際は、必ずジェンダー・バランスに配慮するよう自分は指導している。だから、HPIP がジェンダー・バランスのとれた農家グループを選定してほしいと自分に申し入れてきても、対応は十分に可能である。ジェンダーとはジェンダー・バランスの事を指しているのだと思う。自分は、過去ジェンダー研修を受けた事はないし、男女数を一緒にする以外にどのようなジェンダー主流化の手段があるのか見当がつかない。

この地域は、A 国民の主食であるメイズの一大産地である。農地が 100 エーカー（約 40ha）を超える大規模農家から 2 エーカーに満たない零細農家まで長年メイズを生産してきている。しかし、近年隣国からメイズが輸入されるようになったことで、メイズの生産者価格が落ち込んでいるので、園芸作物生産を始める農家もかなり出てきている。県としては、労働集約的であるものの、数か月で収穫でき、現金化できる園芸作物の生産を貧困削減の面からも推進していく予定である。この地域では男性よりも女性の方が、むしろ農作業に従事している。ただし、自分はこの県に配属されてから、まだ 3 カ月なので、詳しい状況は普及員に聞いてほしい。

2. 県農業事務所家政担当官（女性）

本省からは家政担当官がジェンダー活動を兼務するように言われている。農業省が実施しているジェンダー研修に参加したことはない。年 1 回、各地から 20 名程度が参加して実施されているようだが、自分の順番はまだ回ってきていない。ジェンダーについては、大学で授業を受けているので、どのようなものかは承知している。しかし、自分は、栄養改善、HIV/AIDS 啓発、薬物乱用防止、改良かまど普及など、たくさんの仕事を抱えており、なかなかジェンダーに係る活動を実施することができない。それに、県にはジェンダー活動に関する予算はない。時々、他の分野の担当官がドナーからの資金で普及員研修を実施することがあるが、そんな時に、10 分から 20 分程度、ジェンダーについて話すようにしている。どのような話をするかは、自分が決めている。本省から何らかの指示があった事はない。この地域のジェンダー面の問題はやはり女性の過重労働だろう。薪拾いに一日 1 時間以上かける女性もいる。

3. 農業普及員（男性）

この地域の主要作物はメイズである。どこに行ってもメイズが栽培されている。自分たちは収益性の高い園芸作物の生産を勧めているが、先進農家と言われる人たちを除けば、メイズに比べ手間暇がかかるため関心を示さない農家は少なくない。多くの世帯では、女性が庭先で自家消費用の野菜を栽培している。もう少し、大きな土地で栽培すれば、これらの野菜も結構良い値段で販売できるのだが、あまりにも収穫量が少なく、それこそ女性が近くのイチバで自分たちが持てる程度の量を販売して、小遣い銭を稼ぐ程度である。ジェンダーが何を指すのか良く分からないけど、最近では、農家グループを組織する際、必ず男女のバランスを注意するよう、区農業事務所からも指示されるし、女性の社会的活動促進、権利拡張と言う事なんだと思う。ただ、このコミュニティにも伝統も習慣もあるし、あまりそれを崩すようなことはねえ。上からは自分たちが農家グループを訪問した際、ジェンダーについて話すよう言われているけれど、正直言って、何を話せば良いのかわからない。実は、何年か前に、1日だけ NGO が主催したジェンダー研修に出たことがあるんだけど、かえって混乱しちゃったよ。ジェンダーって、男女の社会的役割ってことらしいけれど、だから何なのかな。

農業普及員（女性）

この地域の女性は本当に忙しい。水汲み、薪拾いに始まって、調理、子供の世話等、家事全てを担っているだけではなく、農作業だって、その多くを女性が行っている。もちろん、真面目な男性はいるし、耕起等力仕事は男性が担っている。でも、多くの男性は、午前中だけ、畑に出て、お昼になれば、さっさと村の中心部にあるカフェや飲み屋に直行して、仲間と日がな一日政治の話をしている。だけど、土地は男性のものだから、全ての作業を女性が行ったとしても、収穫物は全て男性のもので、お金を手に入れるのも男性。この地域の主要作物であるメイズだって、収穫物の全てを男性が握っていて、自家消費用に1袋とか2袋、女性に渡す程度。後は、自分だけで仲買人と交渉して売っている。女性にお金を渡すとロクなことがないと言って、申し訳程度にわずかな食費と、石鹸とかを買うための小遣い銭を渡すだけ。どうしてもお金が足りなくて、夫がいない時に、家に貯蔵してあるメイズを、数キロ単位でこっそり持ちだして、イチバで売ったりしている人も多い。男性の多くは晩御飯のおかず代を妻がどうやって工面しているのか、考えたこともないと思う。

4. 農業普及員（男性）

この地域の農作業の多くを担っているのは女性。自家消費用作物の8割、換金用作物の5割の農作業は女性が行っていると思う。例えば、自分が農家の畑を訪問したりするのは女性だよ。男性と話そうとしたら、前もって連絡していないとつかまらない。だけど、研修だ、ミーティングだっていうと参加するのは時間のある男性だよ。もちろん、最近では自分たちの働き掛けやドナーからの依頼で以前と比べれば、女性の研修参加は増えている。でも、それはそれで問題がないわけではない。女性が研修に参加して、何か技術を習得しても、実

際に農地で実践できないんだよ。夫は、妻が習ってきた技術を取り入れようとしない。妻の判断で出来ることは、お金のかからないシンプルなことだけ。それだって、余計な事をして、夫から文句を言われる可能性が高いから、必ずしもそう言ったシンプルな技術だからって、実践されるわけではないよ。この傾向は農家グループについても言える。意思決定は少数の男性が中心となって行って、決定された活動を実施するのは女性。本省やドナーの要請で農家グループは女性メンバーを増やしているけれど、命令されるだけで、メリットが感じられないと、活動に来なくなってしまいう女性も少なくない。自分としては、2週間に一度くらいはグループを訪問して指導をしたいけれど、業務量も多いし、特に、交通手段がなかなか確保できなくて、思ったようには支援できていない。

5. 農業普及員（女性）

女性は農作業に従事しているけれど、収穫物やそこからの収益は男性のものだから、日用品を買うお金にも困っている事が多い。だから、大規模農家で賃労働に従事したりしている。例えば、除草時は、大規模農家はたくさんの人手が必要だから、多くの女性が働いている。もちろん、同じようにメイズを栽培しているから、同じ時期に自分の家の農地の除草もしなければならぬけれど、それは後回しね。除草が遅れて、収穫が減っても、彼女たちは気にしないわ。収穫が増えても、彼女たちの取り分が増えるわけではないし、それよりも、賃労働に出て、日当が手に入れば、子供たちが学校で使うノートを買ってあげたりできるしね。

6. 農業普及員（男性）

研修を行っても、なかなか新しい技術は根付かない。男性は研修に参加しても、農作業の多くをしているのは女性。男性はああしろ、こうしろと指示は出すけど、自分の手はあまり動かないし、何故そうしなければならないのか説明しないから、突然わけのわからない事を言われても、女性是对応できない。特に、手間暇がかかる作業が増えると、多忙な女性は嫌がる。品質の良い園芸作物の生産には手間がかかるから、難しいよね。自分はジェンダーが何を指すのか良く分からないが、女性のことだと思う。なので、自分のような普及員よりも県の家政担当官が対応すべきだろう。

7. コミュニティ・リーダー（男性）

この地域の多くの世帯が貧困に苦しんでいる。メイズの価格は低いし、それにもかかわらず肥料の値段は高騰している。園芸作物は数カ月で収穫、現金化できるからそのメリットは大きい。それに、メイズの栽培は忙しい時期が決まっていて、それ以外の時期は、みんなぶらぶらしているので、その時間を園芸作物生産に回せば、ちょうど良い。是非、この地域を支援してほしい。プロジェクトで女性の研修参加を義務付けるなら、自分が必ずみんなを納得させる。誰だって、農作業の多くを女性がしている事は知っているのだから。

8. 女性グループ・リーダー（女性）

この地域の男性の多くは本当に働かない。メイズの場合、通年忙しいわけではないので、繁忙期以外は、やることなくして昼間からぶらぶらしている。女性は家事や子供の世話でいつも忙しい。男性は家のことなど何もしないし、するべきではないと思っている。例えば、男性が一人で家にいる時に、急に雨が降ってきても、外に干してある洗濯物を入れる事すらしない。この地域で貧困は大きな問題で、収入増に結びつくプロジェクトは皆大歓迎だ。

10. 農家グループ代表（男性）

自分たちのグループは7年前に設立された。当初は、頼母子講をしていたが、3年前からグループで小さな農地を借りて、トマト栽培を始めた。そのグループ農地で普及員から指導を受けた後、メンバーはそれぞれの家の農地で実践している。メイズと違い、栽培サイクルが短いので、収入増に直結する事をみんな期待している。現在は、それぞれの世帯が個別に仲買人と交渉したり、近くのイチバに持ち込んで販売しているけれど、これだと、なかなか高く売れないので、今後は、メンバー全員で生産作物の共同出荷に取り組みたいと思っている。また、農業投入財の共同購入等も手掛けていきたい。男性メンバーが15人で女性メンバーは7人である。女性メンバーの多くは未亡人や独身か夫が出稼ぎに出ている。夫婦で参加しているものは現在2組である。女性メンバーの数を増やすために、夫婦で参加するよう奨励するのは簡単だし、女性が研修に参加することも問題ない。ただ、女性は家事が忙しいので、毎回参加するのは難しい場合がある。特に子供が小さい場合は大変である。

11. 農家グループ会計担当（女性）

是非、プロジェクトに参加したい。メイズだけでは生活が本当に大変だし、3年前から始めたトマト栽培も仲買人に買い叩かれるなどなかなか難しい。グループでは、グループ代表を中心に5名のメンバーからなる運営委員会が設置されていて、ここでグループの運営に係る決定がなされる。運営委員会に参加している女性は自分だけである。お金の管理だけは女性に任せた方が良いとみんな思っている。一般メンバーの関心は残念ながらあまり高くない。そのため、運営委員会の決定が周知徹底されず、活動がなかなか進展しないことが問題だ。なお、女性が研修に参加することは問題ない。泊りがけの研修であっても、みんな何故彼女が家を空けるのか分かっているわけだから、家のものは反対しないはずだ。但し、家の事、子供の面倒を誰が見るかアレンジする必要があるので、泊りがけの研修については、日程が決まったら、出来るだけ早く教えてほしい。

ハーバードフレームワーク等 PRA 結果（農家グループ実施）

Productive Activities

(Tomato)

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Seed Bed Preparation	✓		✓	✓✓
Land Preparation	✓	✓	✓	✓✓
Planting	✓	✓		✓
Weeding	✓	✓✓		✓
Spraying	✓✓		✓✓	✓
Top Dressing	✓	✓		✓
Watering	✓	✓		✓
Pruning	✓✓	✓	✓	✓✓
Harvesting		✓✓	✓✓	✓
Grading	✓✓	✓	✓✓	✓
Marketing	✓✓	✓	✓✓	✓
Controlling of income	✓✓	✓	✓✓	

Reproductive Activities

Activity	Men's Group		Women's Group	
	Men	Women	Men	Women
Cooking		✓✓		✓✓✓
Washing		✓✓		✓✓✓
Cleaning	✓	✓✓	✓	✓✓
Fetching water		✓✓		✓✓
Fetching firewood		✓✓		✓✓
Grinding		✓✓		✓✓
Caring for children		✓✓		✓✓
Caring for sick	✓	✓✓	✓	✓✓
Construction/Repair of House	✓✓		✓✓	✓
Taking care of Domestic Animals (dogs)	✓✓		✓	✓

Community Activities

(Men's Group)

Activity	Men	Women	How participate
Community Meeting	✓✓	✓	M: Chairing/ Decision-making F: Decision- making
Funeral	✓	✓	M: Grave digging/ Arrangement/ F: Cooking/ Water fetching
Wedding	✓	✓	M: Preparation/ Dowry Payment/ Decision-making/ Escorting groom F: Cooking/ Decoration/ Escorting bride
Church Services	✓	✓✓	M: Leading service F: more women attend
Fund raising	✓✓	✓	M: Arrangement/ Tent making/ invitation F: Cooking/ Entertainment
School Meeting	✓	✓✓	M: Decision-making F: Decision-making
Community Service	✓✓	✓	M: Construction work F: Carrying water, stones, etc.

(Women's Group)

Activity	Men	Women	How participated
Community Meeting	✓		
Funeral	✓	✓	M: Tent construction/ Grave digging/Chairing/ ecision-making F: Fetch water/ Decision-making
Wedding	✓	✓	M: Planning/ Financing F: Cooking/ Serving/ Washing
Church Services	✓	✓	M: Leadership F: Cleaning
Fund raising	✓		M: Major organizer
School Meeting	✓	✓✓✓	
Community Service	✓	✓✓✓	

Access and Control

(Access)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who has access to it?		Who has access to it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	2	2	2	2
Capital	3	1	4	0
Farming tools	2	2	2	2
Bicycles	3	1	3	1
Cows	2	2	2	2
Donkeys	3	1	3	1
Sheep/Goats	2	2	2	2
Chickens	1	3	0	4
Maize	2	2	2	2
Tomatoes	3	1	2	2
Kales	1	3	1	3
Trees	3	1	4	0

(Control)

Resources	Men's Group		Women's Group	
	Who controls it?		Who controls it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	3	1	3	1
Capital	3	1	4	0
Farming tools	2	2	3	1
Bicycles	3	1	4	0
Cows	3	1	4	0
Donkeys	2	2	3	1
Sheep/Goats	2	2	2	1
Chickens	1	3	0	4
Maize	3	1	4	0
Tomatoes	3	1	4	0
Kales	1	3	1	3
Trees	3	1	4	0

Daily Activity Calendar

Men's group		Women's Groups	
Time	Activity	Time	Activity
5.00 am	Wake up	5.00am	Milking
6.00am	Milking, feed livestock, take breakfast	6.00am	Cleaning compound, fetching water, wash utensils
7.00am	Take breakfast	7.00 am	Take breakfast, feed livestock
8.00 am-12.00 noon	Work on the farm	8.00 am-12.00 noon	Work on the farm
1.00pm	Take lunch, rest	1.00pm	Cooking, take lunch
2.00pm	Feed livestock,	2.00pm	Clean compound,
3.00-5.00pm	Meet friends	3.00-5.00pm	feed livestock Work on the farm Fetch firewood
6.00pm	Milking, feed livestock	6.00pm	At market, milking
7.00pm	Take dinner	7.00pm	Cooking, take care of children, washing,
8.00pm	resting	8.00pm	assist children do home work
9.00pm -4.00am	Sleeping	9.00 pm	Take dinner, wash utensils
		10.00pm-4.00am	Sleeping
		4.00am	Wake up, lighting fire to cook

1. 収集情報の整理

- どのような情報が集まったのか。

項目	収集情報
カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	
ジェンダー関連活動	
職員の意識・実務能力	
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	
性別役割分担	
- 農作業・マーケティング	
- 家事労働	
- コミュニティ活動	
意思決定への関与	
プロジェクトに対する関心	
農家グループ	

119

資料は読み込めたでしょうか？

それでは、スライド109の課題抽出の手順に則って、収集された情報の整理・分析をしていきましょう。なお、実際の作業の時間は別にとってありますので、まずは、スライドに沿って、情報整理・分析のための手順を確認するようにして下さい。

それでは、収集した情報を項目別に整理するところから始めます。

文献調査、また多様な手法を用いた現地調査の実施を通じて、様々な情報が収集されることとなります。インタビュー、ディスカッションと言った手法を用いた場合、参加者の話題が多岐に及ぶことが往々にしてあるため、そこで得た情報をきちんと整理することが大切です。特に、性別、立場、また年齢の異なる人たちに話を聞いていますので、同じトピックについても、相反する意見が記録されているかもしれません。それらについても、誰がどのような発言をしたかを含めて整理することで、様々な人たちの視点を理解することが出来ます。

学習資料3にも、調査に参加してくれた行政官、普及員、農家の発言が記録され、分析ツールの結果も示されています。一人の発言であってもその内容は多岐にわたっています。その多岐にわたる内容を整理することがこの表の目的です。

2. プロジェクト活動の確認

誰がどのようにプロジェクトに参加するのか



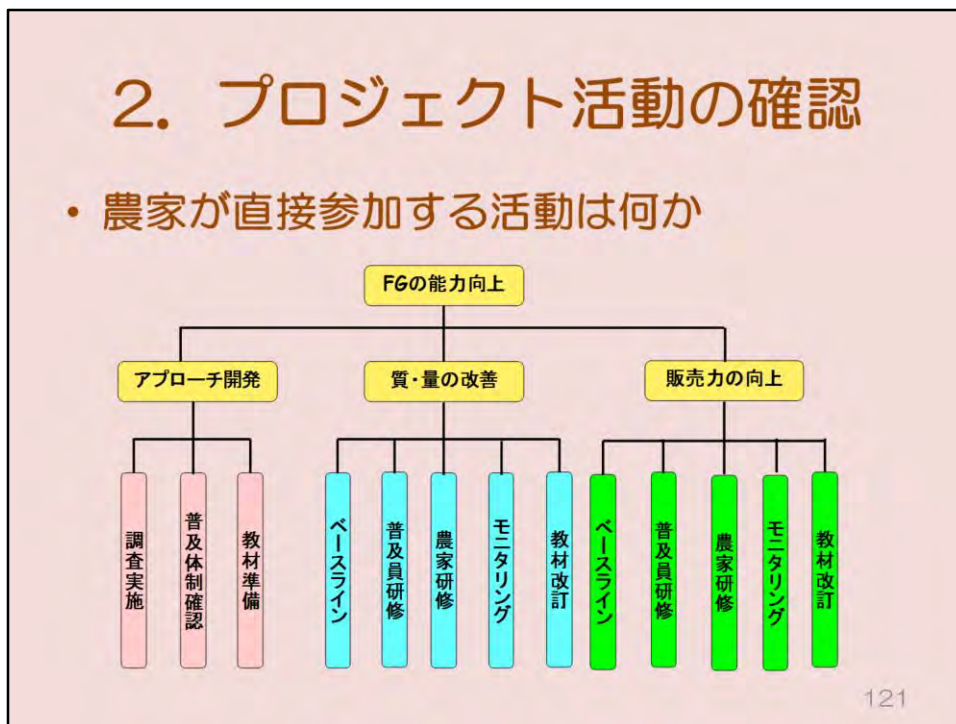
120

集まった情報が項目別に整理出来たら、次にそれらをプロジェクトの枠組みの中で検討します。

地域社会は様々な人々により構成され、多様な問題を抱えています。プロジェクトの活動を踏まえて、調査を行っていても、調査で収集された情報は、プロジェクトの枠組みを超えて、多岐にわたることでしょう。その多岐にわたる情報を慎重に検討し、プロジェクトの活動に直接的な影響を及ぼすと思われる問題点・課題を抽出していく必要があります。

2. プロジェクト活動の確認

- ・ 農家が直接参加する活動は何か




この図は、HPIPのPDMを図にまとめたものです。

調査結果を検討する前に、もう一度、プロジェクトの枠組みについて確認しましょう。そして、計画されている活動の中で、「ジェンダー分析調査」が対象とした受益農家が参加する活動がどれにあたるのか特定してみてください。

これまでの皆さんの経験に基づいて、それぞれの活動の様子を思い浮かべながら、この作業を行うと良いかと思えます。

2. プロジェクト活動の確認

- それらの活動で農家は何をプロジェクトから期待されているのか



農家はどのようにプロジェクトに関わるのだろうか？

農家が直接関与する活動
研修への参加
研修技術の活用
⋮

122

農家がプロジェクト活動に参加しているイメージがわいてきたでしょうか？

まず、すぐに思い浮かぶのが、研修に参加している姿、そしてそこで習った技術を自らの農地で実践している姿などではないでしょうか？

他の活動はどうでしょうか？それぞれの活動を実施しているご自身の様子をイメージした際、そこに農家の人たちはいるでしょうか？

3. 収集情報とプロジェクト活動

- 収集情報はプロジェクト活動について、何を語っているのか



農家の行動とプロジェクトの期待は一致しているのだろうか？

農作業の実践者は研修に参加するだろうか？
彼・彼女は研修技術を実践するだろうか？

123

プロジェクト活動に参加する農家の姿をイメージ出来たら、次にもう少し具体的に、プロジェクトとしてその場にいる農家に何を期待しているのかを考えてみます。

例えば、農家研修が実施されている様子を思い浮かべてみましょう。プロジェクトとして研修を行う際に、参加農家に何を望みますか？

まずは、研修に来てほしいという思いがあるかと思います。研修の開催を告知したのに誰も来てくれなかったら、大変です。時間通りに来てほしい、途中で帰らないでほしいから始まって、熱心に参加してほしい、技術を習得してほしい、そして、習得した技術を持って帰って、農地で実践してほしい、そんなことが思い浮かぶかと思います？

このように考えると、HPIPのように、受益農家の作物収量や作物からの収益の向上を目的とするプロジェクトでは、受益農家がどのようにプロジェクト活動に参加してくれるかが、成功のカギであることが良く分かります。

研修参加以外の活動についても、同じように検討し、皆さんの「期待」を書き出してみてください。

4. ジェンダー課題の特定

- 男性と女性はプロジェクトの期待にどう反応するだろうか

プロジェクトの農家への期待	男性農家	女性農家
研修への参加		
研修技術の活用		
⋮		
⋮		
⋮		
⋮		

124

プロジェクトが、参加農家に何を望んでいるのか書き出すことが出来まじでしょうか？

書き出すことが出来たら、再度、ここで、ジェンダー分析調査により収集された情報に戻ります。スライド119の表に組み込まれた情報は、農家がプロジェクトの期待にどのように反応するのかを語ってくれているはずで

上記スライド124の表のように、プロジェクトが農家の参加を期待している活動を縦軸に、そしてそれに対して、ジェンダー分析調査結果から読み取れる農家男女の予想される行動を横軸にとり、表を埋めていきましょう。

例えば、研修への参加です。ご自身がある研修に参加するか否か、どう決定されていますか？その研修の内容に興味があるか、仕事の役に立ちそうか、時間が取れるか、会場はどこなのか、上司からの命令か、等々でしょうか？農家も恐らく一緒でしょう。そのような視点から、収集情報を確認してください。

先入観や思い込み、あるいはプロジェクト側の期待ではなく、調査結果が語ることを丹念に拾いだしてみてください。くれぐれも、「素晴らしい技術だから、みんな実践するはずだ」といった思い込みは排除してください。「素晴らしい技術」と思うのはプロジェクト関係者だけかもしれません。本当に農家の人たちはそう思ってくれて、何をも差し置いて、その技術の実践に努めてくれるでしょうか？まして、農家研修に参加する段階では、農家の人たちはどのような技術を教えてもらえるのか、全く知りません。そのような状況の中で、プロジェクト側が自分たちの期待だけで、「農家はこうしてくれるはず」という先入観を持つことはやめるべきでしょう。

4. ジェンダー課題の特定

- プロジェクトの円滑な実施を妨げる要因は何か

プロジェクトから見て農家の予想される行動の何が問題なのか

行政官や普及員は、問題緩和のために行動してくれるだろうか
(意識・技能)

125

表が埋まったら、次は、「プロジェクトの期待」と「農家の予想される反応／行動」に齟齬があるかどうかを見ていきます。

もし、プロジェクトが期待するように農家が行動してくれそうであれば、プロジェクトとして自信を持って、活動を進めていくことができます。一方、どうも期待通りに行動してくれないのではないかと思われたら、カウンターパート機関の職員の意識や技能についてもスライド119の表に基づいて、同様に検討してみてください。

農家の男女がプロジェクトの期待に沿った行動を取るよう、行政官や普及員は、農家を指導する十分な技能や知識を有しているでしょうか？

5. 演習問題

126

それでは、これまでに説明してきたことを確認するための課題に、ここで取り組んでみてください。

演習問題：課題抽出

学習資料3に基づき、以下について整理・検討して下さい

1. 収集情報の整理
2. 農家が関与するプロジェクト活動
3. プロジェクトが農家に期待している役割
4. プロジェクトが農家に期待している役割に対する農家の予想される行動

127

それでは、これまでの説明を参考に、学習資料3の調査結果を上記課題に則って整理してみてください。

6. まとめ

128

収集情報の整理

項目	収集情報
カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	
ジェンダー関連活動	
職員の意識・実務能力	
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	
性別役割分担	
- 農作業・マーケティング	
- 家事労働	
- コミュニティ活動	
意思決定への関与	
プロジェクトに対する関心	
農家グループ	

129

表に基づいて、HPIPの調査結果は整理できたでしょうか。

収集情報の整理

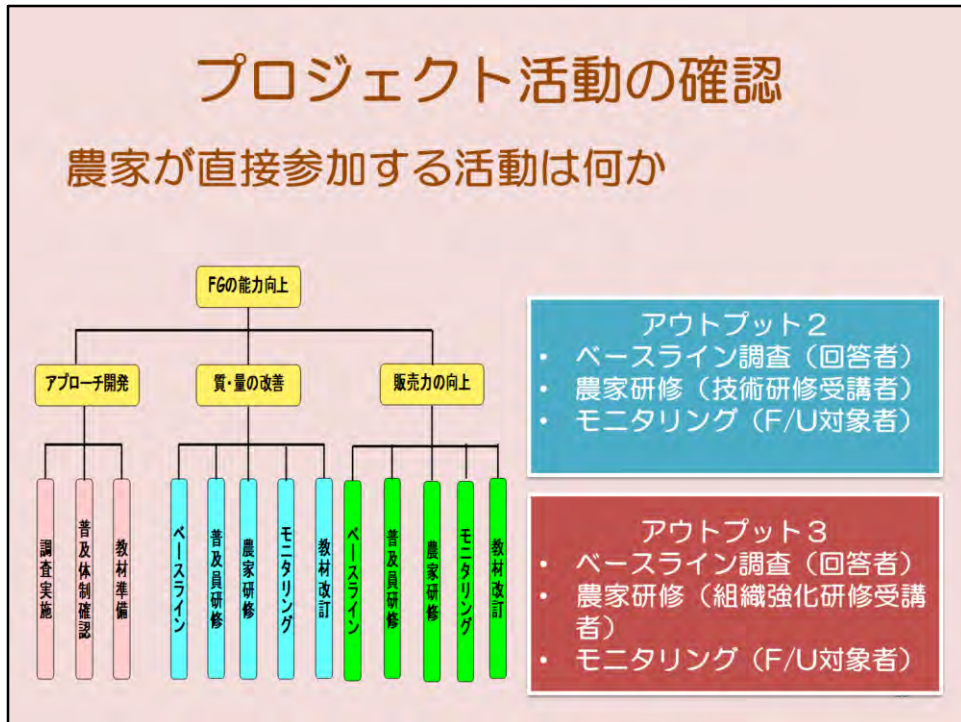
各ステークホルダー の課題

	課題
政府	不十分な予算/不十分な研修体制
普及員	ジェンダー概念に係る誤解/ジェンダー主流化に対する知識・スキルの欠如
農家グループ	少数メンバーによる意思決定/女性の従属的参加
男女農家	女性の過重労働（男女間の不公平な労働分担）/女性が収入の用途を含む意思決定過程に参加できない（インセンティブの欠如）/男女間のコミュニケーション不足

整理された情報からは、プロジェクトの関係者、受益者がプロジェクト活動に参加するにあたり、ジェンダーの側面から上記のような課題があることが読み取れるかと思えます。

プロジェクト活動の確認

農家が直接参加する活動は何か

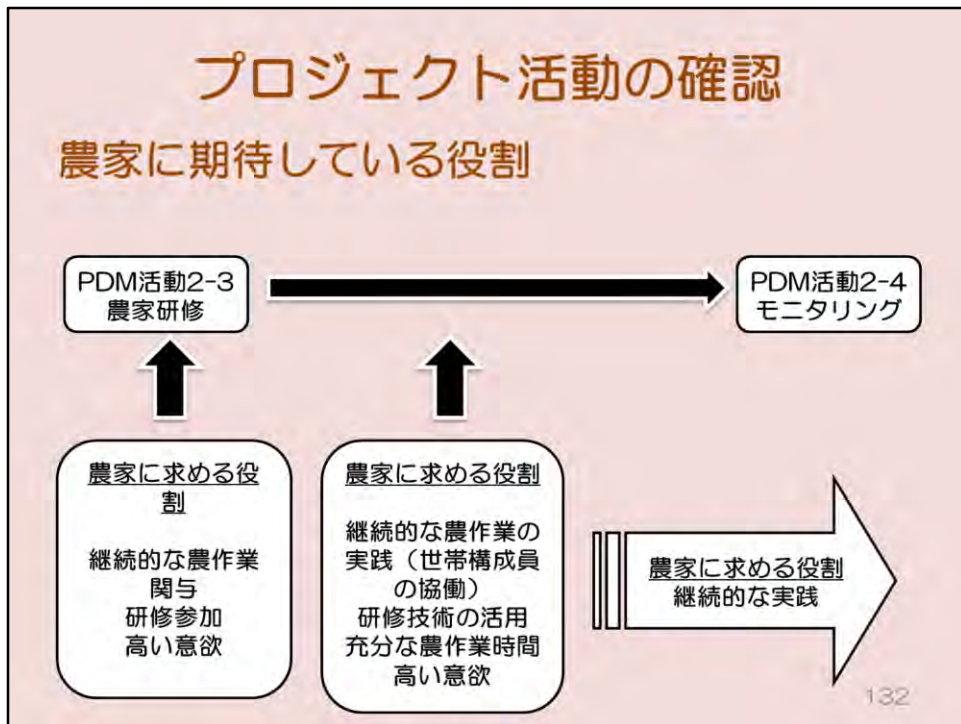


それでは、農家が参加する活動はどうでしょうか。

ここでは、農家の活動を上記のように整理してみました。もっと多くの活動に農家が参加すると思われたでしょうか。

例えば、プロジェクトの活動としては農家が参加するのは「研修」であり、「モニタリング」ですが、プロジェクト側としては、「研修参加」の後に、「研修内容の適切な理解」、「世帯内で農作業に従事する構成員全てへの研修技術の共有」、「農地での技術の実践」をしてくれるはずとの期待があり、その結果としての「モニタリング」という流れがあると思います。

言い換えれば、このようなプロジェクト活動としては表面には出てこないけれども、農家に是非してもらわなければならないことがあります。この点について、もう少し詳しく次のスライドで確認してみます。



プロジェクトとして農家に期待している行動は、ここに示しているような事柄が挙げられるかと思います。

こういったプロジェクトの期待がPDMに具体的に記載されることはありませんが、対象農家がこのような行動を取ってくれなければ、園芸作物の生産性向上というプロジェクト目標が達成されないことは明らかです。従って、プロジェクトとしては、「技術」の提供と共に、受益農家はその技術を農地で積極的に実践していく事が出来るような側面支援も併せて行う必要があると言えます。

農家の予想される行動

	男性	女性
農作業への関与	意思決定者	作業の中心
世帯構成員間の協働	限定的	限定的
研修への参加	肯定的	肯定的だが多忙
高い意欲	収入増に期待	収入への関与が少なく、意欲は限定的
研修技術の活用	活用に係る意思決定は出来るが、実践者かどうかは不明	活用に係る意思決定過程への関与は限定的
十分な農作業時間	限定的	多忙なため限定的

133

それでは、改めて、プロジェクトの期待に対して、ジェンダー分析調査から得た情報が何を語っているのかを見てみましょう。

異なる調査参加者が、異なる文言で説明していますが、取りまとめると、上記の表のようになるかと思えます。このあたりが読み取れていると良いかと思えます。

課題の確認

・ プロジェクト目標達成を妨げる要因は何か

プロジェクトから見て農家の行動の何が問題なのか

行政官や普及員は、問題緩和のために行動してくれるだろうか

- ・ 研修技術の実践・継続的活用が不透明（不公平な労働分担／意思決定への関与）

- ・ 適切なジェンダー概念/知識を持つ行政官・普及員の不足
- ・ 予算不足

HPIPの場合、プロジェクトの期待と農家の行動は必ずしも一致していないことが分かりました。

農作業の主たる実践者と思われる女性は、農作業だけではなく、家事をも担っているため、一日中多忙です。これ以上、他の作業に振り分ける時間がないため、農作業に今以上の時間を割きたくないし、割けない、また研修に参加するための時間などない、さらには時間をやりくりして、研修に参加したとしても習った研修技術を農地で使うための決定権を有していないと言ったことが、調査結果から読み取ることが出来ます。一方、男性は時間はあるようだし、農地に係る決定権も有しているけれど、どこまで農作業に真剣に取り組んでくれるか定かではないことが分かります。

カウンターパート機関職員も、ジェンダーの重要性は認識しているようだし、これまでとは異なる方法で農家男女にアプローチしていかなければ、農家の直面する貧困状況を克服できないことはわかっているけれども、では、どうすればよいのかと言ったアイデアや知識があまりないことがうかがえます。

課題の確認

プロジェクトへの負の影響

	負の影響
政府	ジェンダー視点のある職員・普及員の不足
普及員	ジェンダー活動の適切な実施が困難
農家グループ	グループに対するメンバーの低い関心・意欲
男女農家	女性の研修参加が困難/研修技術の実践が限定的/研修技術が世帯内で伝わらない

135

これまで見てきたように、カウンターパート機関職員や農家と言ったプロジェクト参加者の現在の状況は、プロジェクト活動の円滑な実施を必ずしも、後押しするものとは言えないことが分かります。

まとめ

- コミュニティという枠組みの中で、プロジェクトの介入を精査し、課題を特定していく



136

いかがでしたでしょうか？

収量増加のための良い技術を提供するだけでは、プロジェクト目標の達成が危ぶまれることがお分かりいただけたでしょうか？

対象コミュニティの人たちは、その地域の価値観に基づいて生活を営んでいます。ジェンダー分析調査はその価値観を理解し、プロジェクトの有効性・効率性を少しでも高めることを目指しています。

別添資料に、能力強化研修参加者による本課題に係るグループワーク結果がありますので、そちらもご参照ください。

モジュール5 「ジェンダー視点に立ったプロジェクト の計画・立案」

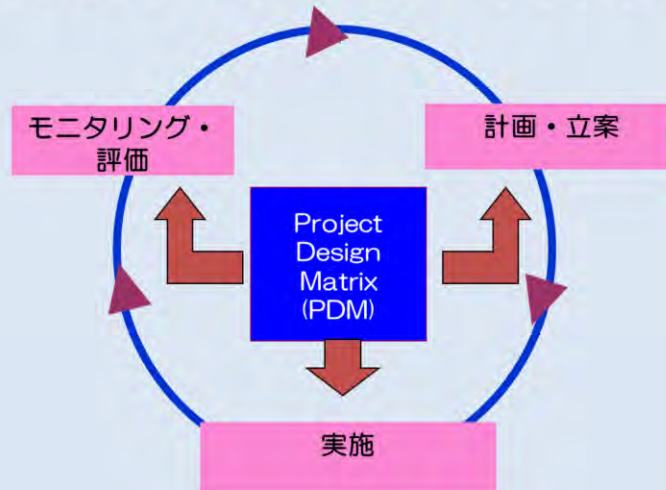
137

モジュール4では、ジェンダー分析調査の結果から、プロジェクトの円滑な実施に支障をきたすと思われる課題の抽出方法について学びました。

モジュール5では、抽出された課題を念頭に、プロジェクト活動をどのようにジェンダー視点を入れ込んでいくのかを見ていきたいと思えます。

特に、JICAの技術協力プロジェクトが、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)及びプロジェクト・デザイン・マトリックス(PDM)に則って行われていることから、ここでは、特にPDMにどのようにジェンダー視点を取り込んでいくと良いのかを中心に、お話ししていきたいと思えます。

1. JICA事業の運営・管理 プロジェクト・サイクル・マネジメント



138

JICA事業は、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PCM)に基づいて、実施されているのはご存知のことと思います。

モジュール1でお話したように、PCMは計画-実施-評価と言う、一連の流れに沿ってプロジェクトを実施していく事です。そして、これまで見てきた「ジェンダー分析調査」は、計画の段階で、実施されるものでした。

Project Design Matrix (PDM) とは？

何を、どうやって、いつまでに達成しようとしているのか/達成しなければならないのかを簡潔に示した表

プロジェクトの概要	指標	データ入手手段	外部条件
上位目標			
プロ目標			
アウトプット			
活動	投入		前提条件

プロジェクトのジェンダー主流化
 ||
 PDMへのジェンダー視点の取り込み

139

PCMと共に、JICAの技術協力プロジェクトは、PDMを指針に運営されます。プロジェクトが期待された成果を生み出し、プロジェクト目標が達成されたかどうかは、PDMに基づいて判断されることとなります。

どれほど対象地域住民に受け入れられた活動であったとしても、その活動がPDMの中に記載されていないならば、その活動はプロジェクトがなすべきものであったとは認められませんし、何らかの成果を生んでいたとしても、その成果はプロジェクトの成果として評価されることもありません。

従って、プロジェクトでなすべき活動、達成すべき成果はすべてPDMの中に織り込まれている必要があります。このことは、「ジェンダー分析調査」を通じて、明らかにされた課題を克服するためにプロジェクトが実施する活動についても同様です。どのような活動をするのであっても、必ず、その活動をきちんとPDMの中に記載することをくれぐれも忘れないようにして下さい。

また、このことは逆に言えば、PDMの中に取り込まれている活動であれば、プロジェクトとして実施しなければならないと言う事です。例えば、皆さんがジェンダーの短期専門家としてプロジェクトに赴任されたとします。その際に、皆さんが提案したジェンダー活動等が、きちんとPDMに取り込まれることになれば、皆さんの離任後にその活動が実施される蓋然性は高まります。しかし、その反対にPDMに記載されていないならば、その活動が実施される可能性はあまり高くないかもしれません。

PDMの中に記載されるという事はそのくらい重要なことであることを留意していただいたら、次のスライドに進みたいと思います。

2. ジェンダー視点に立ったPDM その手順

1. 活動

- プロ目達成を阻害するであろうジェンダー課題解消のための活動の特定

2. アウトプット

- ジェンダー視点を反映したアウトプット設定の必要性の検討

3. 指標

- ジェンダー視点の適切な取り込みを担保するための指標の設定

140

それでは、PDMをジェンダー視点に立ったものとするための手法について確認していきます。

活動、アウトプット、指標の順にみていきます。

3. ジェンダー視点に立ったPDM

プロジェクトの概要	指標	データ 入手手段	外部条件
上位目標			
プロ目標			
アウトプット			
活動	投入		
			前提条件

141

まずは活動です。

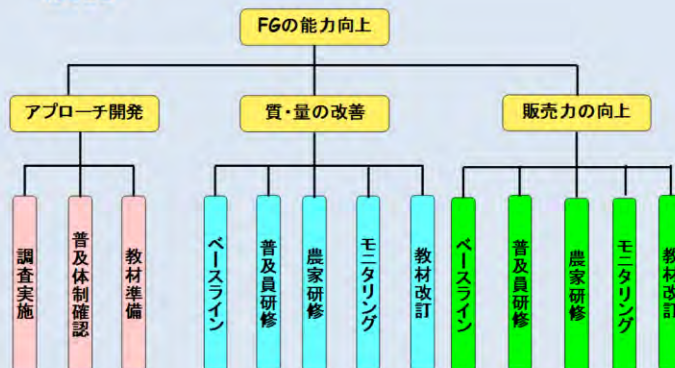
モジュール4では、プロジェクト活動の円滑な実施を阻害しそうなジェンダー課題について見てきました。これらの課題をそのまま放置しておく、プロジェクト目標の達成が危ぶまれる事態にもなりかねないことが分かりました。

従って、この課題を克服、あるいはせめて緩和するために、プロジェクトとして何らかの活動を実施していく必要があります。

ここでは、「ジェンダー課題の克服／緩和」をはかる活動について見ていくことにします。

3. ジェンダー視点に立ったPDM (活動)

Step 1: ジェンダー分析調査で特定された課題
が既存の活動のどの部分に該当するかを
検討



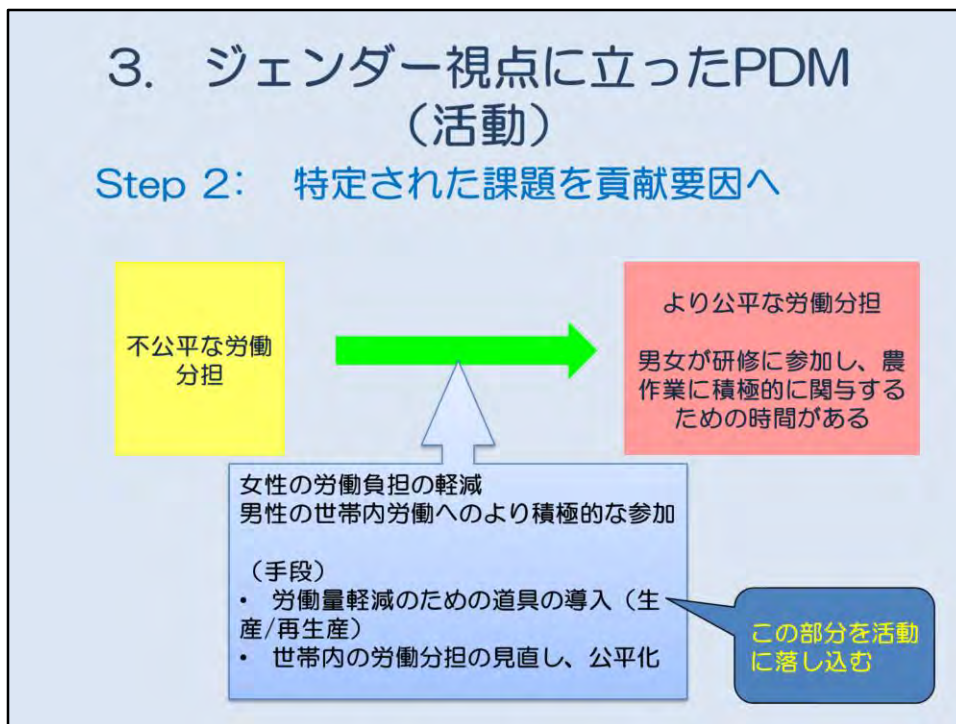
142

ステップ1から4まで、4段階に分けて、順番に見ていくこととします。ここでも、事例としてHPIPを取り上げます。

まず、ステップ1です。モジュール4でも紹介したこの図を思い出してください。HPIPでは農家が参加する活動として、アウトプット2及び3の活動であるベースライン調査、農家研修、モニタリングが、挙げられていたかと思います。ジェンダー分析調査で特定された課題は、当然、農家が参加するこれらの活動に影響を与えることとなります。

3. ジェンダー視点に立ったPDM (活動)

Step 2: 特定された課題を貢献要因へ



次に、ステップ2として、ジェンダー分析調査から抽出された課題を克服する方策を検討します。

ジェンダー分析調査結果から抽出された課題がいくつかありましたが、ここでは例として「不公平な労働負担」を取り上げてみます。「不公平な労働負担」が課題なので、これをプロジェクト活動を通じて「公平な労働負担」へと変化させていかなければなりません。

「不公平な労働負担」は、男性に比べ、女性は生産活動と共に再生産労働も担っていることからもたらされることが、ジェンダー分析調査を通じて明らかにされました。HPIPがプロジェクト目標を達成するためには、男性と共に生産活動を担う女性がHPIPの研修に参加し、研修で得た技術を活用するための十分な農作業時間を確保するよう促していく必要があります。そのためには、現在の女性の過重労働を軽減しなければなりません。どうしたら、女性の労働時間を軽減できるでしょうか。

労働時間の軽減は、一つは道具や器具を活用することで、作業時間を短縮することによってもたらされるはずですが、また、もう一つは、女性が一人で行っていた作業を他の人と分担することです。HPIPの具体的な活動として、女性の労働負担が大きい作業への道具や器具の導入、あるいは女性の労働負担への他の世帯構成員の理解を促進するための研修実施等が考えられます。

プロジェクトとしてこのような活動を実施し、「公平な労働負担」の達成を通じて、農作業に参加している男女双方が研修に参加し、習得技術を農地で実践できるよう、農家男女を支援していく事が肝心です。

3. ジェンダー視点に立ったPDM (活動)

Step 3: 検討した活動をPDMの中で整理できる
か否かを再検討
(HPIPのフレームワークとの整合性)

Step 4: 検討した活動が男女の協働を促進する
ものであるかを確認

144

次のステップ3では、ステップ2で特定された活動がHPIPのフレームワークの中で実施可能なものかどうかを検討します。例えば、極端な例となりますが、もし、対象農家が園芸作物生産の傍ら、稲作生産をしているという場合、いくら稲作生産にかかる作業量が多くても、そのための道具・器具をHPIPが開発・頒布することは難しいと考えられます。しかし、女性の水くみ作業の軽減を図るために、農家に雨水用のタンク設置を促すと言った活動は、プロジェクトに大きな負担をかけることなく、実施することが可能です。

そして、最後のステップ4として、行う活動が男女のいずれか一方が実施するものではなく、男女の協働で実施できるものであることを確認してください。女性のある労働にかかる時間の軽減が、別の作業時間の増加で図られることのないように留意してください。例えば、女性が遠くのイチバまで、食事用の野菜を買いに行くのが大変だからと、庭先で野菜栽培をするという活動があったとします。野菜栽培が女性だけの活動となってしまったら、買い物に行くよりも女性の労働時間がもっと長くなりかねません。野菜栽培は必要ならば、世帯構成員皆が参加することが前提とされるべきです。

女性の労働時間の軽減により、女性の休息時間が増え、その結果として生産活動により効率的・効果的に従事することで、収量や収益の増加がもたらされるはずで、女性の労働時間軽減は夫や子供を含む世帯構成員全員の便益であるとの理解の下、世帯構成員が負担も便益も共有しあうという事を念頭に活動を特定してください。

4. ジェンダー視点に立ったPDM

プロジェクトの概要	指標	データ 入手手段	外部条件
上位目標			
プロ目標			
アウトプット			
活動	投入		
			前提条件

145

次にアウトプットを検討します。

4. ジェンダー視点に立ったPDM (アウトプット)

Step 1: ジェンダー視点を入れ込んだ活動のアウトプットとして、現在のアウトプットが適切か否かを検討

Step 2: 必要に応じて修正する。

146

アウトプットは、活動実施の結果としてもたらされるものです。

まず、現在のアウトプットがジェンダー視点を入れ込んだものとして適切であるかどうかを検討してください。例えば、アウトプットの文言を男性と女性の差異が意識できるように、修正することは一つの方法です。

HPIPのアウトプット2は「The production of better quality crop is increased in the target groups」です。これを男女の差異が意識できるように変更するにはどうしたらよいでしょうか？一つの例として、「The production of better quality crop is increased for both men and women members of the target groups」とすることが可能でしょう。こうすることで、対象グループには男女が含まれる必要が出てきますし、また、男女メンバー双方の収量を増加させることがプロジェクトとして必要となってきます。モジュール1で取り上げた「性別データ」を思い出してみてください。

5. ジェンダー視点に立ったPDM

プロジェクトの概要	指標	データ 入手手段	外部条件
上位目標			
プロ目標			
アウトプット			
活動	投入		
			前提条件

147

最後に、プロジェクト目標及びアウトプットの指標について確認します。

5. ジェンダー視点に立ったPDM (指標)

Step 1: 設定された指標は、男女の相違を図れるようになっているかを検討

例: 「農家の収入向上」 -
農家とはだれ?

Step 2: 必要に応じて修正する。

148

指標は、プロジェクト目標やアウトプットが達成されているかを客観的に判断するためのものです。仮にプロジェクト目標やアウトプットの文言にジェンダー視点が入れられていなくても、指標が男女それぞれの変化を見るものとされていれば、プロジェクトは必然的に、男女双方に働きかけることとなります。

ここでも、HPIPのPDMを参照します。HPIPのプロジェクト目標の指標は、「Increased net-benefit of the smallholder horticulture groups supported by the project」です。この一文に「men and women members」を加え、「Increased net-benefit of men and women members of the smallholder horticulture groups supported by the project」とすれば、男女双方のプロジェクト介入前後の変化を見る必要があります。

このように、是非、指標の数値が男女双方に言及したものとなるよう工夫してください。

6. 演習問題

149

それでは、これまでに説明してきたことを確認するための演習問題に、ここで取り組んでみてください。

演習問題：PDMの修正

これまでの説明に基づき、モジュール2で特定した課題、制約要因を緩和するため、現在のHPIPのPDMを、ジェンダー視点を入れ込んだものへと修正し、以下の要領で取り纏めてください。

- 活動(アウトプット毎に整理)
- アウトプット/指標

150

これまでの説明を参考に、HPIPのPDMをジェンダー視点を取り込んだものに修正してみてください。

7. まとめ

151

活動

- プロジェクトの枠組みの中で整理する
- 男女の協働を促進できる活動とする
(例)
 - ・ ジェンダー啓発研修の実施
(PDM活動2-2/2-3)
 - ・ 農作業の労働負荷軽減のための軽量農具
の開発・導入 (PDM活動1-4)

152

前述したように、活動では、プロジェクトの枠組みの中で整理できること、また男女の協働を促進することを留意点として、絞り込みを行います。

ここでは、農家が男女間の格差がどのように、作物収量や収益に否定的な影響を与えているのかを啓発するためのジェンダー研修の実施と、農作業負担の軽減を図るための農具の導入を例として取り上げています。

この軽量農具という点に注意してください。男性と女性は、同じ農具を同じように使用できない場合があります。男性であれば、道具を力任せに使いこなすことも可能かもしれませんが、男性にとっても重い道具を女性では使いこなすことは出来ません。道具を使いこなせないことで、女性は手作業を余儀なくされている場合があります。女性の作業量を減らすために、どのような農具なら女性が使えるのかについても、是非、プロジェクトとして考えてみてください。

活動

(例)

- 識字能力をできるだけ必要としない研修教材の開発（PDM活動1-4）
- 男女参加比の設定
- 教授法へのジェンダー視点の導入

153

識字教室を開くことはHPIPの枠組みの中では難しいと思われませんが、農家向け教材は絵を多用する等の工夫をすることで、識字力が十分ではない受益者の理解を図ることは可能です。

また、忙しい女性を研修に来てもらうために、男性の理解を図りつつ、研修参加者の男女比を設定し、女性が研修に来易い環境を整備していく事も重要と言えます。例えば、皆さんもある研修に参加する際に、直属の上司は仕事が忙しいからと反対しても、全社的に研修参加が義務付けられてしまえば、直属の上司は反対できません。地域の有力者に後押しをお願いして、女性が参加できるように取り計らってもらおうというのは、有効な手段です。

また、研修に女性に来てもらえたら、出来るだけ、彼女たちに発言してもらうように努めるようにして下さい。多くの人の中で自分の意見を言う事は、慣れていないと非常に難しいものです。しかし、何度か発言することで、少しずつ慣れていくものでもあります。女性が発言し、それを男性が聞くという雰囲気醸成しながら、男女の意見の相違を農家が尊重できるようにします。

他にも、男女が互いの違いを認め合い、尊重できるような活動を考えてみてください。

Identified Gender Gaps and Possible Interventions on HPIP

Key: M – Men, W-Women, HH - Household

HPIP interventions & activities	Findings from Study	Analysis from Study	Identified gender gaps	Proposed interventions
1. Participation in HPIP Trainings	<p>M: have some interest in horticulture production because of its perceived benefits</p> <p>F: have interest in horticulture production because of its perceived benefits</p> <p>M: have free time</p> <p>W: busy throughout the day because of their extensive involvement in both productive & reproductive roles</p> <p>M: As regards control of resources & benefits, men have more control than W.</p>	<p>M: likely to be interested in training</p> <p>W: heavy workload likely to limit their participation in training</p> <p>W: lack of control over income may have negative influence over their interest in training</p>	M: likely to dominate training	<p>Through affirmative action, both men and women should be invited to the training.</p> <p>Gender trainings should be organized to raise awareness of all HH members on importance of sharing of workload and benefits.</p> <p>Introduction and promotion of labour-saving technologies to reduce the workload of W.</p>

HPIP interventions & activities	Findings from Study	Analysis from Study	Identified gender gaps	Proposed interventions
<p>2. Adoption and practice of trained technologies</p>	<p>M & W: Participate in farming but at different levels and degrees.</p> <p>M: involved in productive activities</p> <p>F: involved in productive activities & manage kitchen garden.</p> <p>W: busy throughout the day because of their extensive involvement in both productive & reproductive roles</p> <p>M: As regards control of resources & benefits, men have more control than W.</p>	<p>M: likely to adopt recommended agronomic practices in the farm but rate of adoption is affected by income and other benefits expected.</p> <p>W: likely to adopt recommended agronomic practices but rate of adoption may be affected by time availability, cost implication involved & their position in HH decision-making process.</p>	<p>If trained participants have little decision-making power in HH, they are unlikely to fully implement acquired technologies & skills unless a decision-maker approves and provides financial support.</p> <p>Adoption of Knowledge and skills promoted by HPIP could be partially compromised.</p>	<p>Training on importance of involvement of all HH members in decision-making process.</p> <p>Since this intervention is likely to increase workload of HH members, introduction of labour saving (energy and time saving) technologies and awareness raising on workload sharing among HH members will be of great importance.</p>

アウトプット

- 活動の成果として適切か否かを検討する
- 必要に応じ、ジェンダー活動に係るアウトプットの導入も検討する

「キリマンジャロ農業技術者訓練センター計画フェーズII」

The concept and approach to mainstream gender into plan, implement and monitor technical training on irrigated rice production are established.

157

アウトプットについては、前述したように、男女の差異を意識できるようにアウトプットの文言に手を加えることは一つの方法です。

また、ここに例として挙げたように、プロジェクトのジェンダー主流化をアウトプットとして一つ設けることもできるかと思えます。

指標

- 男女の差異を測れるものとする

(例)

2-1 Average growth rate of net produce
of **male & female members** of the
farmer groups supported directly by the
Project.

158

最後に指標について見てみます。

指標についても、前述したように男女の差異を図れるように工夫することが出来ます。「農家」という漠然とした中性的な表現ではなく、対象者を具体的に思い浮かべることが出来るような指標を作成してみてください。

まとめ

男女双方がプロジェクトの便益を受けている事を確認できるよう工夫

プロジェクトの概要	指標	データ入手手段	外部条件
上位目標			
プロジェクト目標			
アウトプット			
活動	投入		前提条件

男女双方がプロジェクトの便益を得られるように工夫

159

それでは、最後にもう一度、PDMにジェンダー視点を取り入れる際の注意点を確認します。

活動については、参加農家の男女双方が便益を受けられるように工夫してください。JICAの技術協力プロジェクトが対象とする農家の多くは小規模農家です。これらの小規模農家はほとんどの場合、その労働力を世帯構成員に頼っています。その世帯構成員の半分に、プロジェクトからの便益が届かないというのはもったいないことです。男性も女性も重要な受益者として、プロジェクト活動を検討してください。

次にアウトプットや指標では、男性も女性もプロジェクトからの便益を受けていることが確認できるように工夫してみてください。男女を対象として活動を行っているのですから、男女双方が便益を受けていることを確認するのは当然のことと言えます。プロジェクトの介入前後で双方にどういった変化が起きたのか、確認できるようなアウトプットや指標を検討してみてください。

まとめ

ジェンダー視
点を必ず
PDMに取り
込む

特に、指標に
取り込むこと
で、ジェン
ダー関連活動
を実施する必
然性を担保

プロジェクトの概要	指標	データ 入手手段	外部条件
上位目標			
プロ目標			
アウトプット			
活動	投入		前提条件

160

繰り返しになりますが、PDMに記載されていない事柄は、プロジェクトでは実施できませんし、実施する必要はありません。従って、ジェンダー課題を緩和・克服することが、プロジェクト活動の円滑な実施やプロジェクト目標の達成に貢献すると判断されるならば、その緩和・克服するための活動は、PDMに記載されていなければなりません。

また、活動に記載されているだけだと、「その活動はやりました」で終わってしまいがちですので、特に指標に男女の差異、また男女の介入前後の変化の度合いが分かるような文言を組み込み、ジェンダー関連活動が実施される必然性を担保してください。

別添資料に、能力強化研修参加者による本課題に係るグループワーク結果がありますので、そちらもご参照ください。



これらの写真を見て、何を思われますか？

左上の写真は、稲作プロジェクトの研修で農家に田植えを実践してもらおうとしているときのものです。男性は見物に徹しているようです。この地域では、田植えは女性の作業と考えられているので、このプロジェクトでもその考えに基づいて、女性だけに作業をもらったのです。しかし、せっかく男性農家があるのに、こんなもったいないことをする必要があるのでしょうか。男性農家は農作業の時間を割いて研修に来ているのに、田植えの方法を学ぶ機会を奪われています。もしかしたら、この研修に参加した後でも、男性は田植えをしないかもしれません。しかし、少なくとも、田植えをどうやって行うのか、その大変さ等はここで実践するだけでも学べますし、奥さんが留守の時に、自分でもやってみようかと思うきっかけになるかもしれません。プロジェクトがわざわざ予断を持って、どの作業を男女いずれが行うのかを決める必要があるとは思えません。

左下の写真は、研修に参加した時の男女の着席状況です。この地域はイスラム教の人がほとんどで、男女が隣り合って着席する習慣はありません。しかし、このように前列が男性、後列が女性と分かれてしまったら、研修中に女性が発言することはとても難しくなってしまいます。教室の左側には女性が、右側には男性が着席するようにするなど、男女双方が学びやすく、発言しやすい雰囲気づくりに努めてください。

右の写真では、たった一人の女性参加者が、男性の輪の中に入れずに困っています。参加者皆が、研修から十分な便益が得られるよう留意してください。



男性も女性も、皆同じ参加者です。右下の写真は、栄養の研修で煮野菜を皆で作った時のものです。男性の嬉しそうな表情が印象的です。

この作業は男性、これは女性と、プロジェクト側が決めつけることなく、誰もが経験し、学べる研修とするように努めてみてください。そうすることで、参加者は自分たちの思ってもみなかった得意分野を発見するかもしれませんし、自分がしたことのない作業の大変さを理解して、その作業をしている相手に感謝の念を感じるようになるかもしれません。

モジュール6 「ジェンダー視点に立ったプロジェクト のモニタリング&評価」

163

最後のモジュール6では、ジェンダー視点に立ったモニタリング・評価について見ていく事とします。

1. モニタリングとは

プロジェクトが計画通り実施されているか、その進捗状況を継続的にチェックし、必要に応じて計画内容を修正すること。

モニタリング項目

- ①投入の実施状況
- ②活動の実施状況
- ③アウトプットの達成状況。
- ④プロジェクト目標の達成見込み

164

モニタリングの目的については、既に良くご存知のことと思います。

プロジェクトのPDMや活動計画に則って、その実施状況や進捗状況を定期的に確認するのがモニタリングです。その時に、もし、進捗に問題があると思われる場合は、問題点を把握し、PDMに沿って活動が実施されるよう、何らかの措置を講ずることになります。

評価とは

既に終了した、あるいは実施中のプロジェクトを調査し、結果を明確にするとともに、プロジェクトの今後の展開に関する提言と、他の案件への教訓を引き出すこと

プロジェクト評価の対象

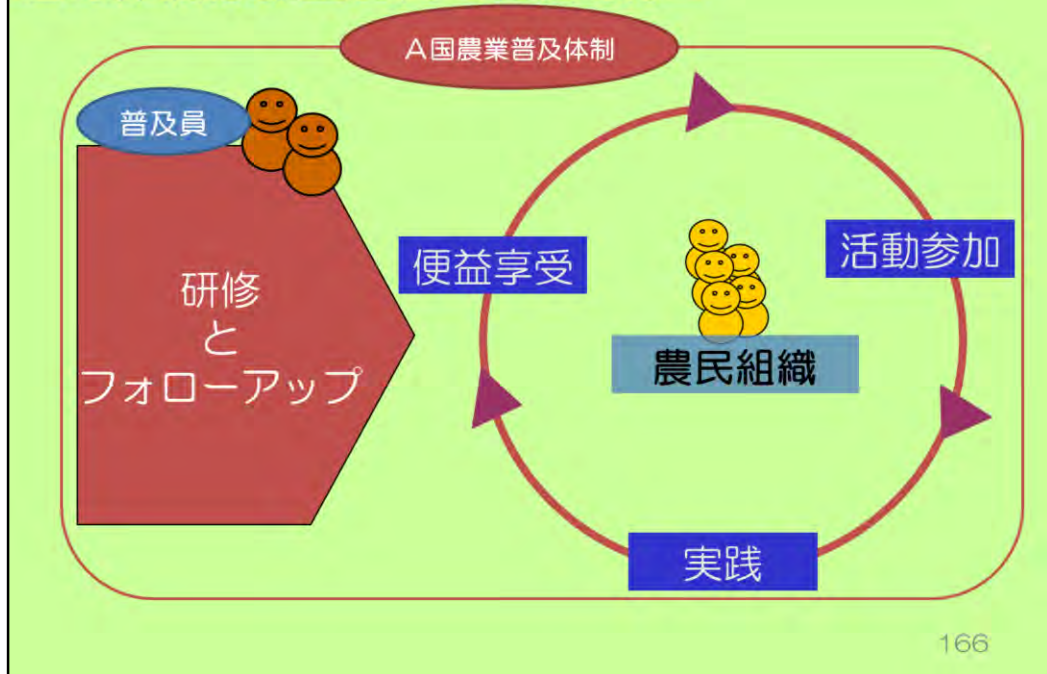
- ①実績
- ②実施プロセス
- ③5項目評価

165

一方、評価は、日々行うモニタリングと異なり、プロジェクト活動全体をPDMに則って、その実施状況、及び成果を確認するものです。JICAの中間レビューや終了時評価では、実績や成果のみならず、5項目の視点からもプロジェクトの内容・実績が評価されるのはご存知のことと思います。

評価の結果は、評価対象のプロジェクトのみならず、他の類似プロジェクトにも教訓として活かされることとなります。

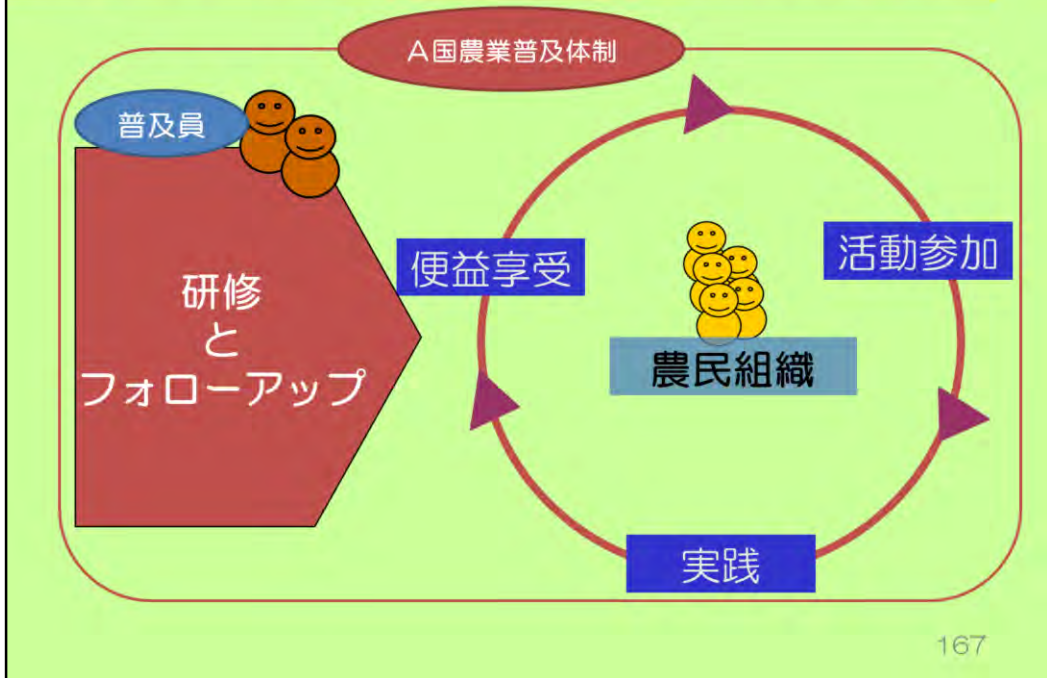
HP/IPモニタリング・評価 この体制は確立されてきたのか



モニタリングと評価の一般的な定義について見てきましたが、ここで、再度、HPI/Pに戻ります。

HPI/Pは、対象農家の園芸作物生産の収量向上のための活動の計画、実践、そしてその結果としての収量向上(便益享受)という流れに基づいて実施されています。カウンターパート機関は、その過程で、農家に対し、研修とモニタリングを実施するという役割を担っています。

ここにどのようにジェンダー視点を入れていくのか



この一連の流れの中にもジェンダー視点を取り入れていく必要があります。
どのように取り入れていくことが出来るでしょうか？

2. ジェンダー視点に立った モニタリング・評価1

- 通常のプロジェクト・フレームワークでのモニタリング・評価が基本

なぜなら

- ☆PDMの中にジェンダー視点が入り込められている（活動、プロ目、指標）
- ☆性別データ（gender-disaggregated data）が収集されている

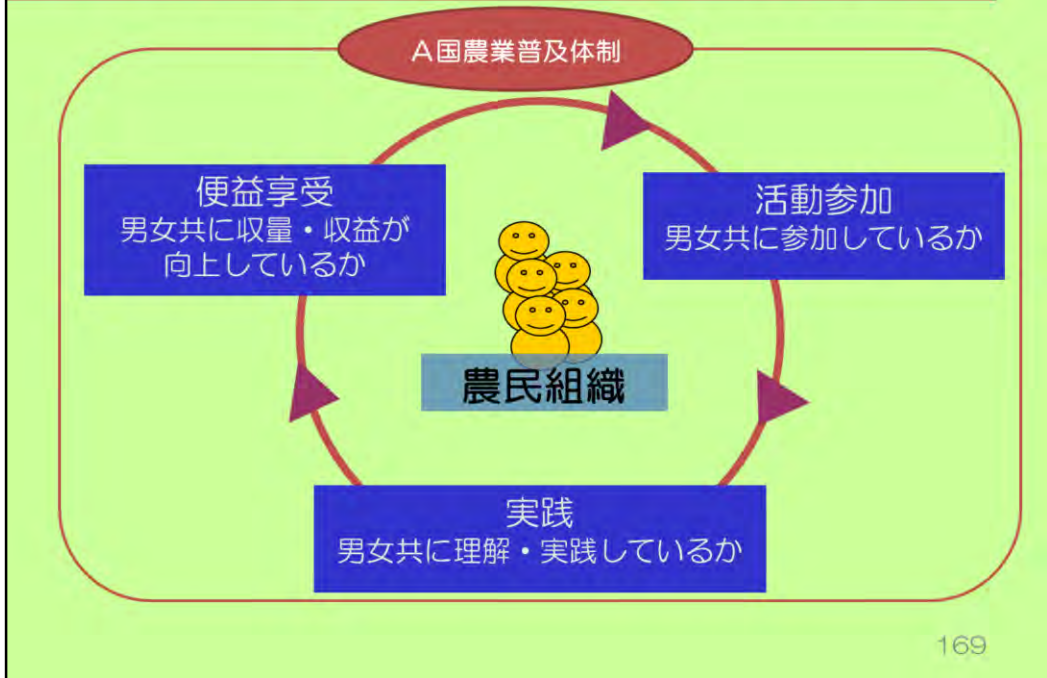
168

プロジェクトのモニタリング・評価をジェンダー視点に立って行うには、まず、通常のモニタリング・評価の枠組みの中に、既にジェンダーの視点が入り込められているようにして下さい。

既に、見てきたように、モニタリングも評価もプロジェクトのPDMや活動計画に沿って行われます。モジュール5で検討したように、PDMの中にきちんとジェンダー視点が反映されていれば、「ジェンダーの観点」からのモニタリング・評価を別建てで行う必要は全くありません。

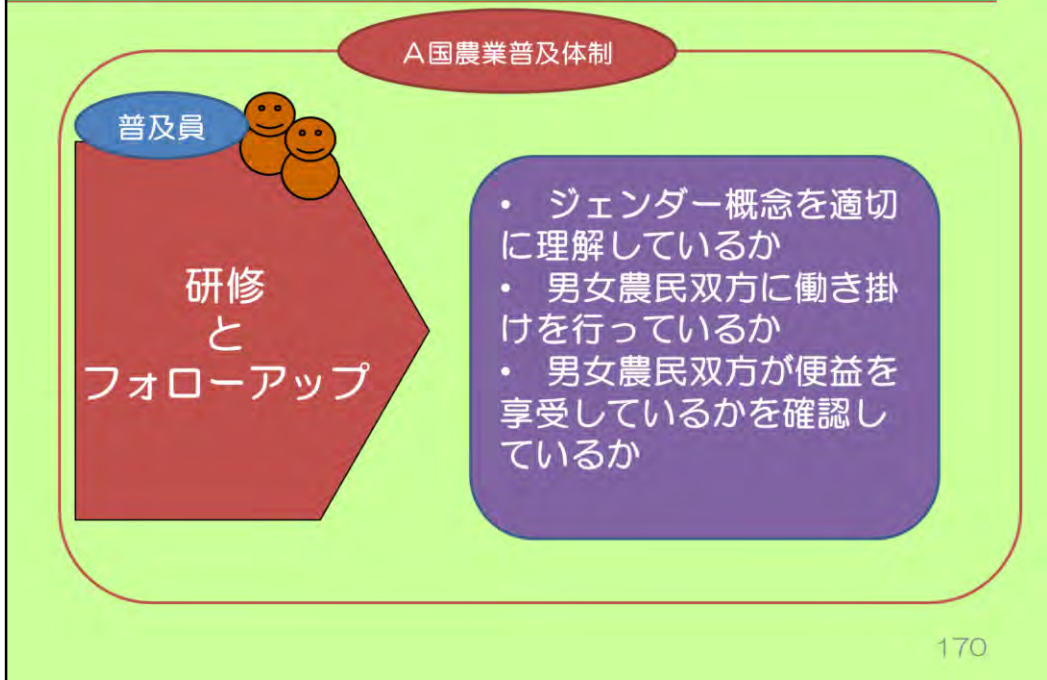
また、指標や成果も、男女の差異が測れるものとなっているはずですので、性別データもモニタリングや評価の過程で収集されているはずで

ジェンダー視点からのモニタリング・評価1



つまり、活動、実践、評価のそれぞれで、男女農家双方を見ていく事で、ジェンダー視点に立ったモニタリングと評価が実施できることとなります。

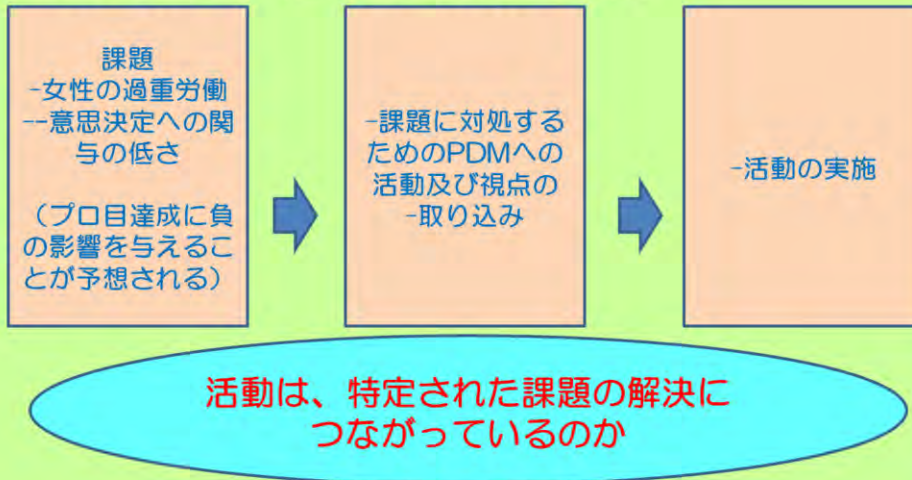
ジェンダー視点からのモニタリング・評価1



また、カウンターパート機関の職員的能力を見る時も、男女農家双方を対象として活動しているかどうかを見ることで、職員的能力向上の有無を図ることが出来ます。

3. ジェンダー視点に立った モニタリング・評価2

・ ジェンダー活動の成果の確認



171

上述のように、ジェンダー視点が既に取り込まれたPDMや活動計画に則って、モニタリングや評価を実施すれば、わざわざ、ジェンダー主流化の成果を測るために、別建てのモニタリングや評価を実施する必要はありません。

但し、その一方で、ジェンダー分析調査で特定された課題がプロジェクトの介入によってどのように変化したかを見るために、モニタリングや評価を行うことはあります。もちろん、これらの課題が全く解決されていなければ、プロジェクト活動の進捗に影響が出ているはずですので、活動が順調に進捗しているようであれば、これらの課題が、解決していなくてもある程度は緩和していると想像できます。しかし、より詳しく、どのような変化が起きているのか、また起きたのかを見るためには、別途、これらの課題の変化に対するモニタリング及び評価を行う必要があると言えます。せっかく、ジェンダー分析調査を実施し、ジェンダー課題を抽出し、それに基づいて活動を行ったのですから、その課題が緩和されたかどうか、是非確認し、ジェンダー主流化の意義を感じてください。

4. 演習問題

172

それでは、これまでに説明してきたことを確認するための演習問題に、ここで取り組んでみてください。

演習問題：M&Eデザインの構築

モジュール3「計画・立案」で特定した活動のうちの1つについて、活動実施状況や成果をモニタリングするための調査デザイン（調査対象者、調査手法、調査項目等）を検討し、以下の表に纏めてください。

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法

173

これまでの説明を参考に、上記の表を埋めてみてください。

5. まとめ

まとめ

(通常のプロジェクトの枠組みの中で)

- アウトプットや指標にジェンダーの視点が入り入れられている事を確認
- 性別データが適切に収集されるか、されているかを確認

ジェンダー主流化プロジェクト
の大原則

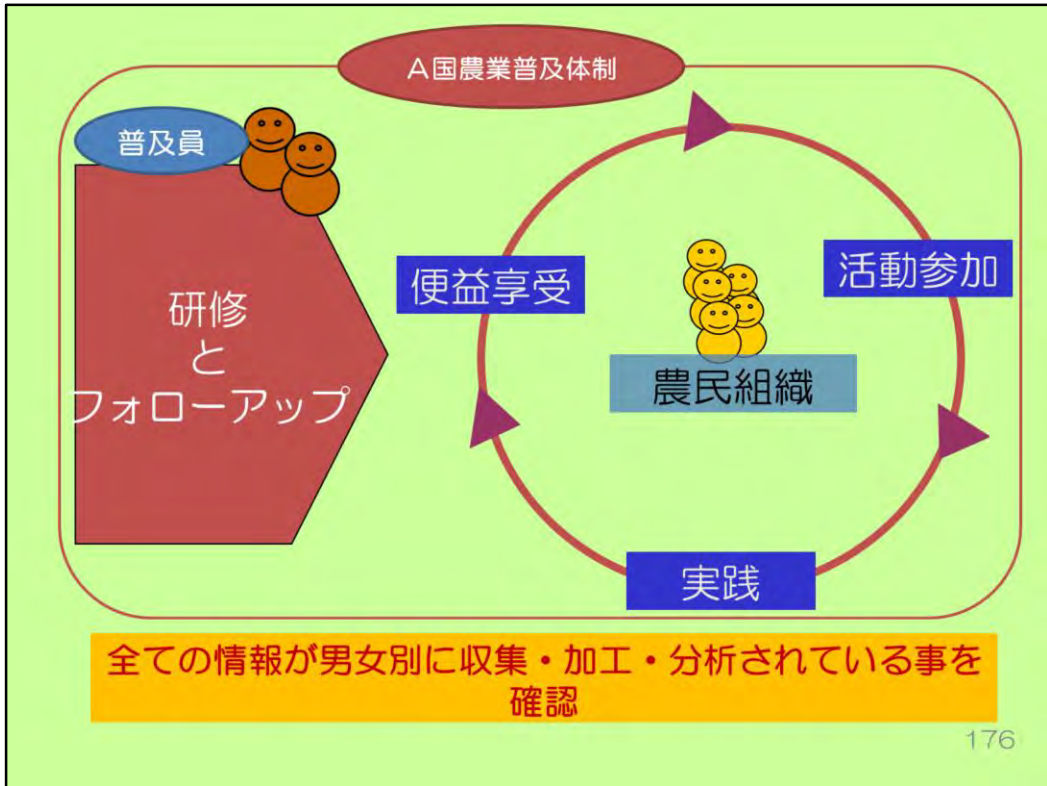
175

前述のように、ジェンダーが主流化されたプロジェクトでは、PDMの中にジェンダーの視点が既に取り入れられているはず。従って、特別にジェンダーの視点からモニタリングや評価を行う必要はないはず。 (但し、ジェンダー課題緩和を対象とした活動については、ご説明したように別途実施する必要があるかもしれません。)

そこで、モジュール5の内容とも深く関連しますが、プロジェクトの立ち上げ時にPDMを修正する際は、以下の点が反映されていることを確認してください。

- アウトプットや指標にジェンダーの視点が入り入れられているか
- 性別データが収集されるようになっているか

これらの点は、ジェンダーが主流化されたプロジェクトであるならば、当然の視点です。ので、ご注意ください。



また、男女別で収集されたデータが、男女別に加工、分析されるように注意してください。

まとめ

(ジェンダー活動成果に係るモニタリング・評価)

- 目的はジェンダー活動がジェンダー課題の緩和、プロ目達成に貢献しているかの確認
- 通常に収集されている性別データを出来るだけ活用
- モニタリング・評価で必要とされるデータはプロジェクト開始当初から収集できるようアレンジ

177

なお、ジェンダー課題緩和にかかる活動について、モニタリングや評価を計画されるときは、上述の点に留意する必要があります。

特に、収集するデータについては、出来るだけ、通常のプロジェクトの枠組み中で収集されるデータが活用できるようにすることは重要です。同じようなデータであるならば、別途収集する必要はないはずです。データ収集・加工は時間も手間もお金もかかる作業ですので、出来るだけ手間を省く方法を検討してみてください。特に、プロジェクトの開始時は、様々なデータを収集したいと思われると思いますが、収集したデータはどうやって加工し、分析するのかを念頭に、収集するデータを特定してください。また、収集データが多いという事は、それだけカウンターパート機関職員や農家に時間を割いてもらっていることを意味します。加工できない、分析できないデータの収集のために、これらの人たちに余分な手間をかけさせることのないようにすることが肝心です。

なお、別添資料に、能力強化研修参加者による本課題に係るグループワーク結果がありますので、そちらもご参照ください。



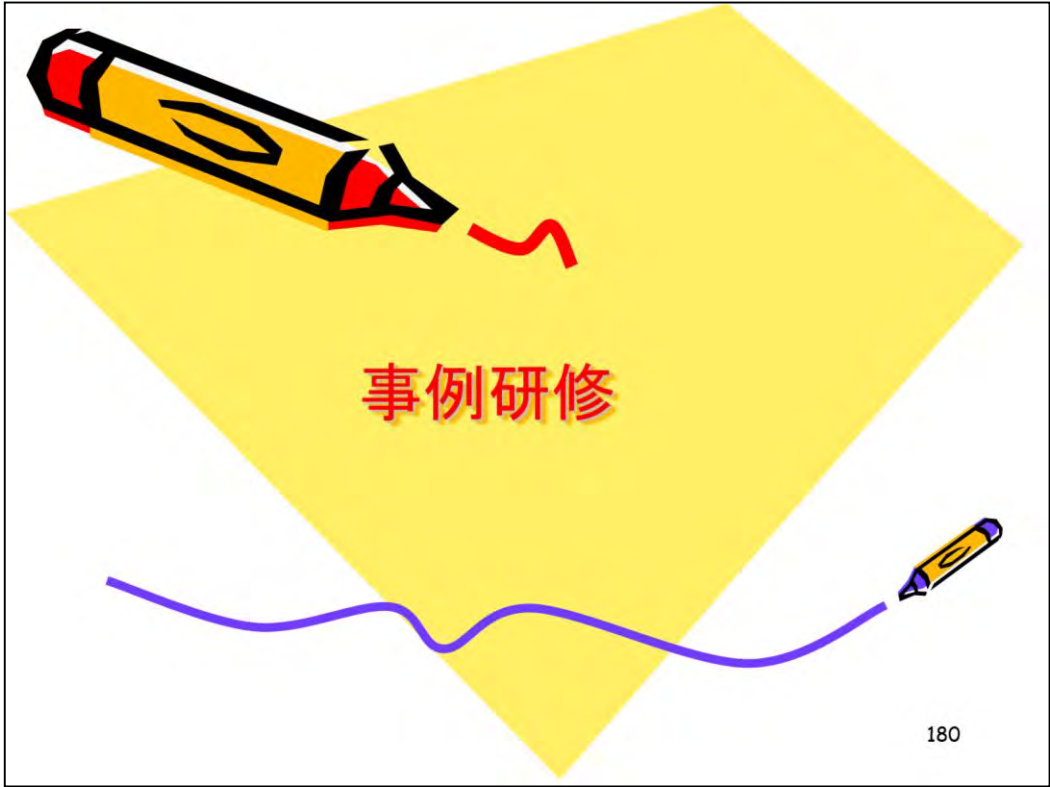
最後になりますが、プロジェクトの活動は、地域社会、受益農家世帯に受け入れられて初めて、十分な成果が発現します。

対象地域の人たちがどのように暮らし、どのように互いにかかわりあっているのかに配慮することで、プロジェクトの活動の成果はより大きく、実り多いものとなるはずです。



プロジェクトのジェンダー主流化は女性の便益だけを念頭に置いたものではありません。

参加農家皆が参加し、皆が便益を享受できるよう、是非、工夫してみてください。





ここでは、事例「HPIP」で、農家研修の講師を務めることとなる農業普及員を対象としたジェンダー啓発研修が、どのようなものとなるのかを見ていきます。

HPIPでは、ジェンダー分析調査を通じて、対象地域における様々なジェンダー課題が明らかにされました。また、C/P機関の職員である普及員も、ジェンダー課題解決のために必要とされる知識やスキルが十分でないことも、調査を通じてわかったかと思えます。

その結果として、HPIPではこのようなジェンダー啓発研修を準備しました。この研修は、普及員自身のジェンダーに係る知識向上を図るためのものであり、かつ、この研修をそのまま農家に対して実施する際に、どのような点に気を付けて、農家研修を実施すればよいかの注意点や留意点を学ぶためのものでもあります。つまり、普及員はこの研修をそのまま農家に対して行うことが出来るようになっています。

Topic

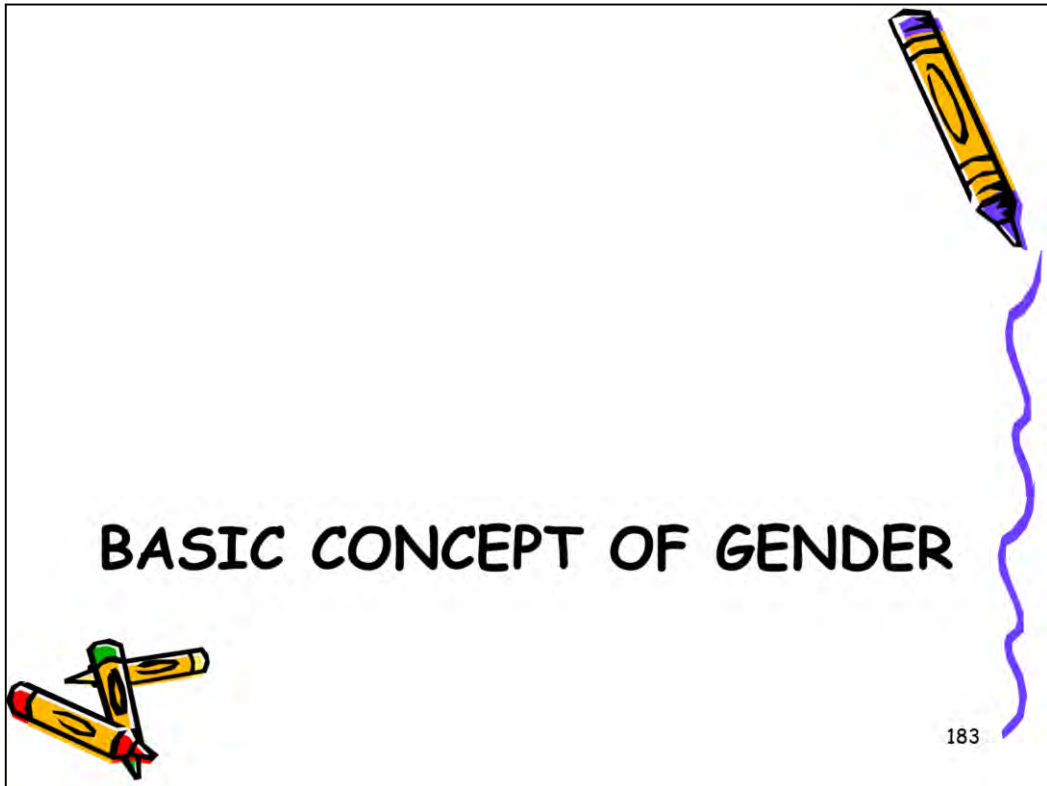
1. Concept on Gender
2. Gender Analysis Tools -
Group Exercises / Discussion
3. Action Plan Making



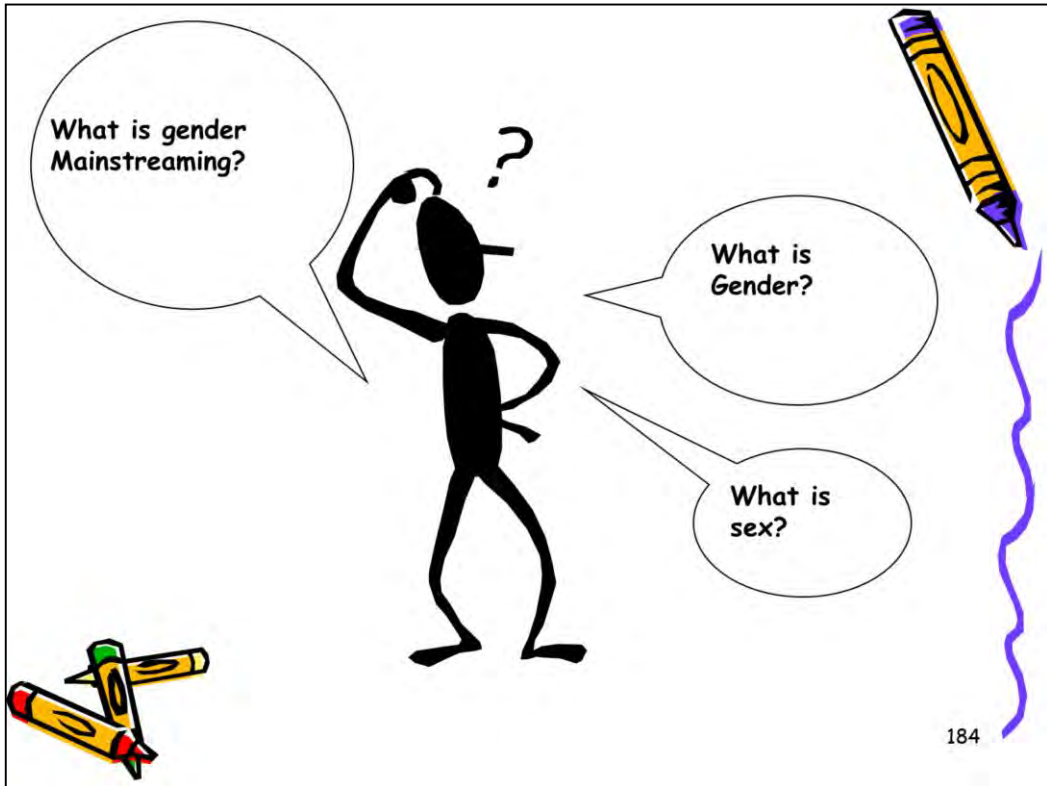
182

HPIPでは、ジェンダー分析調査結果に基づいて、ジェンダー課題がどのように農家の生産活動に負の影響を与え、その結果として低収量、低収益を招いているのかを、普及員や農家に分かってもらうことを目的として、本研修を作成しました。

研修は3つのセッションに絞ったものとなっています。まず、セックスとジェンダーの違いを学ぶジェンダー概念の説明セッション、そして、農家の現状を理解してもらい、現状を変えていく必要性を感じてもらうことを目的としたジェンダー分析ツールを使った演習及びそれに係るディスカッションを中心としたセッション、そしてジェンダー分析ツールの結果から浮かび上がってきたジェンダー課題を緩和するためのジェンダ－行動計画作成セッションです。



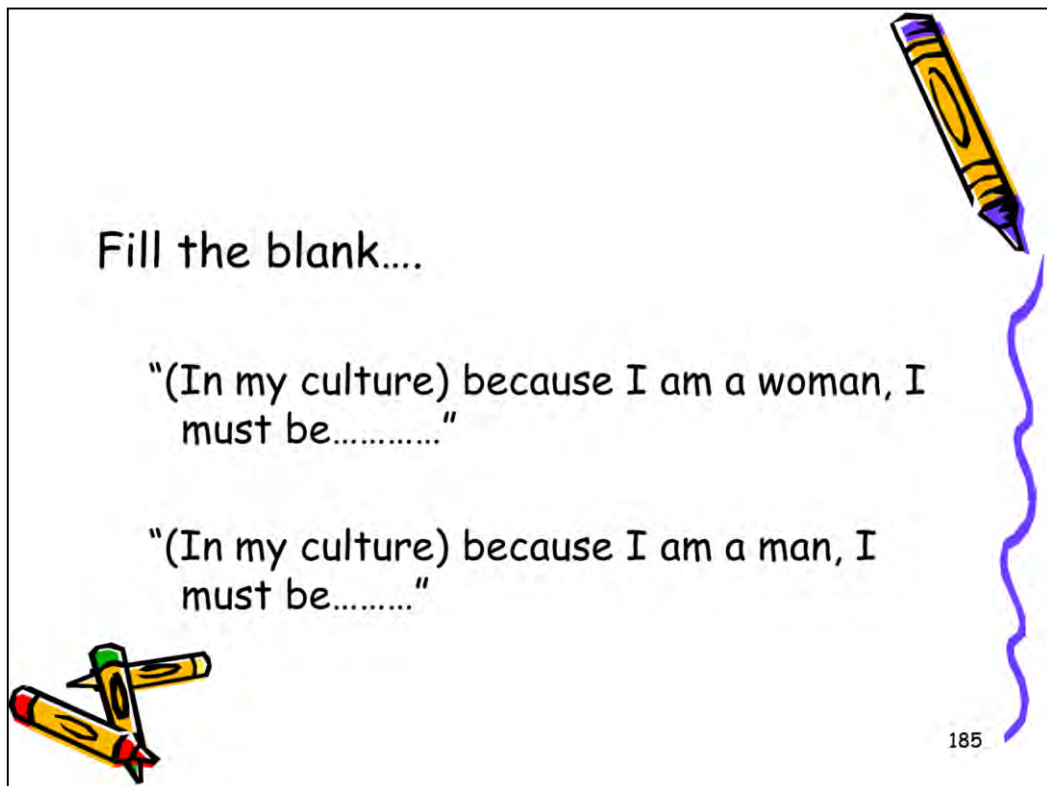
まず、基本的なジェンダー概念です。



農家はもちろんのこと、普及員の中にも、「ジェンダー」と「セックス」の違いを説明できないひとは多くいます。

このスライドを見せながら、参加者に「ジェンダー」と「セックス」の違いを知っているかどうか、聞いてみます。参加者の中に、きちんとその違いを説明できる人もいないかもしれませんし、いないかもしれません。

参加者の中で発言した人がいたら、その発言内容を、模造紙等書き留めて、皆が見えるようにしておきます。発言する人がいなくなるまで、確認してください。



Fill the blank....

"(In my culture) because I am a woman, I must be....."

"(In my culture) because I am a man, I must be....."

185

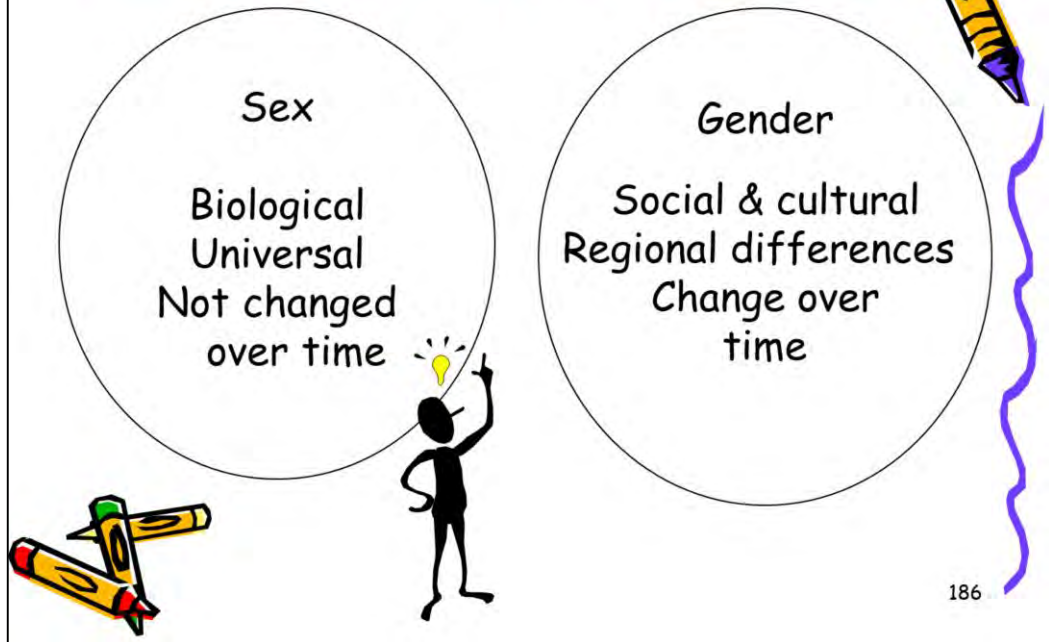
前のスライドで、「ジェンダー」と「セックス」の違いについて、きちんと説明できた参加者がいたかもしれませんが、大部分の参加者は、その違いを理解していないかと思っています。

そこで、その違いをきちんと理解してもらうために、まず、この演習をやってもらいます。「自分は女なので、XXをしなければなりません」あるいは「自分は男なので、XXをしなければなりません」を、参加者男女5人ずつくらいに回答してもらいましょう。男性参加者に男性のことを答えてもらい、女性参加者に女性のことを答えるのも良いですし、逆に男性に女性として、女性のことを答えてもらったり、女性に男性として答えてもらったりしても良いでしょう。

ジェンダー分析調査の結果から見ると、この場合、「女性なので、料理をしなければならない」、「男性なので、家族を養わなければならない」、「男性はリーダーシップを取らなければならない」等の回答が出てくるかと思っています。

それぞれの回答をまた、模造紙等書き留め、参加者皆が見えるようにしましょう。

What is sex? What is gender?



このスライドで、「ジェンダー」と「セックス」の違いを説明します。セックスが生物学的性別を指すのに対し、ジェンダーは文化的・社会的性差であることを、参加者に理解してもらいましょう。

Is this sex or gender??

- Men inherit land.
- Women give a birth.
- Women are good at social science while men are good at natural science.
- Men should not cry.
- Any other examples??




187

「セックス」と「ジェンダー」の違いを参加者にきちんと理解してもらうために、このスライドの各文を読み上げ、参加者にこれらが「セックス」を表しているのか、それとも「ジェンダー」を表しているのかを問いかけます。

「女性は出産する」というのは、生物学的性差を表していますので、「セックス」ですが、残りはいずれも「ジェンダー」を表しています。土地の相続は男性でも女性でもできます。また、社会学系が得意な男性もいるでしょうし、自然科学系の分野が得意な女性もいるはずです。


このように確認しながら、参加者が「セックス」と「ジェンダー」の違いをきちんと理解するようにして下さい。

特に、これまで「料理は女の仕事」、「金銭管理は男性の仕事」と思っていたことが地域、文化、時代によって大きく変化する「ジェンダー」であり、自分たちが変えようと思えば、この「ジェンダー」を変えることに全く問題がない、ということが理解されていることを確認しましょう。



It is important to be aware...

- Because almost all tasks/responsibilities are "GENDER", they can be done by both men and women and shared for improvement of household livelihoods.
- HPIP need to implement training program, understanding the "REALITY" not "GENDER STEREOTYPES".

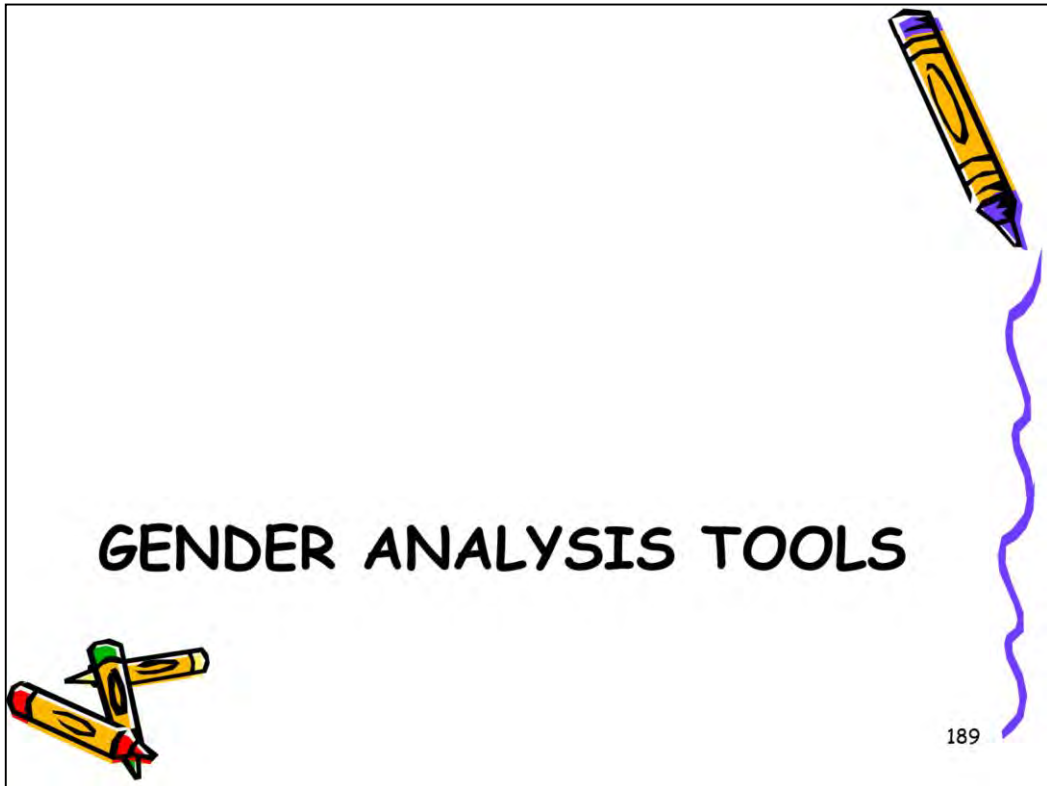


188

「セックス」と「ジェンダー」の違いを理解してもらいながら、上記2点を再度、参加者に確認します。

まず、日常生活で従事している作業や役割のほとんどは男性でも女性でも出来ることだという事です。調理したり、部屋を掃除したりといった多くの文化で女性の役割とされている作業は男性でもできます。反対に家族を養うとか、リーダーを務める等も、多くの文化では男性の役割とされていますが、世界各国で多くの女性が自分の家族を養っていますし、世界には女性の首相や大統領ももはや珍しくはありません。従って、男女が同じ役割をこなしたり、同じ作業を分担したりすることに何らの問題がないことをここでは強調しましょう。

また、HPIPでは、地域の行動規範に則って、「男性」を研修に招くのではなく、研修で推奨する技術を実践してくれる「男性」も「女性」も参加してほしいと思っていることを参加者に伝えましょう。



次のトピックは、ジェンダー分析ツールについてです。

Gender Analysis Tools

Tools to analyze the situation of Gender:

1. Activity Profile
 - A. Productive Roles
 - B. Re-productive Roles
2. Daily Activity Calendar
3. Access to and Control of Resources



190

対象地域のジェンダー状況を確認するためのツールとして、これら3つのツールを取り上げます。

Activity Profile

Objective:

- To understand the roles and responsibilities of men and women in the household



191

まずは、「Activity Profile」です。このツールの目的について、説明します。

Activity Profile



Definitions

- ❑ **Productive Roles:** any farm & off-farm production activities which lead farmers to financial benefits
- ❑ **Re-Productive Roles:** any household activities which do not lead farmers to financial benefits



192

次に、生産活動と再生産活動の定義を説明してください。

Activity Profile



Procedures

- Discuss and agree on** the most important horticultural crop in your area
- Identify** who either men or women does the listed activities, using ticks



193

次は、「Activity Profile」のやり方を説明します。

生産活動で取り上げる作物の特定やそのための作業のリストアップを、男女双方がいる場で行う事。また、その後、男女別のグループに分かれて、それぞれの作業を男女がどのように分担しあいながら従事しているのかをグループの皆で話し合いながら特定していく事等を説明しましょう。

Access to & Control of Resources



Objective:

- To identify who in the household has access to and control of a particular resource



194

次は、「Access & Control Profile」です。

ここでも、「Activity Profile」の時と同様に、ツールの目的について説明します。

Access to & Control of Resources



Definitions

- ❑ **Resource:** Anything that can be owned and used such as land, tools, crops, animals to obtain a benefit from it
- ❑ **Access:** Opportunity to make use of a resource
- ❑ **Control:** Power to decide how a resource is used



195

そして、「Access & Control Profile」ツールを使うときの重要な概念である「リソース」、「アクセス」、「コントロール」について、説明しましょう。

Access to & Control of Resources



Procedures

- Identify** who either men or women has access to / control of each resources listed, using ticks



196

そして、やり方の説明をします。

リストアップされているリソースを男女のいずれがアクセスし、そしてコントロールしているのかを✓を使いながら、検討してもらいましょう。

Daily Activity Calendar



Objective:

- To illustrate the roles of man and woman at the household over a 24-hour period
- To appreciate the different workloads of different gender groups in the household



197

次は、「Daily Activity Calendar」の目的について説明します。

Daily Activity Calendar



Procedures

- **illustrate** household activities of a typical day for a **man (by men group)** or **woman (by women group)** in a 24-hour period



198

次は、「Daily Activity Calendar」のやり方を説明します。

Group Exercises

- ❑ Form a men & a women group
- ❑ Complete the three tools in a convenient place where you can discuss freely.
- ❑ After two hours converge in the class for presentation in a plenary session



199

それぞれのツールの目的及びやり方についての説明が一通り終わったら、男女別グループに分かれて、演習するよう指示してください。

農家研修の場合は、この3つのツールを完成するのに約2時間程度かかりますが、普及員を対象とした講師向け研修であれば、1時間程度で、3つのツールを完成させることが出来るかと思えます。


Plenary Session

Roles & Responsibilities

What are problems? What are negative effects?



Activity	Men	Women
Planting	✓	✓
Weeding	✓	✓✓
Spraying	✓✓	
Harvesting		✓✓
Marketing	✓✓	✓
Income Control	✓✓	✓



Activity	Men	Women
Cooking		✓✓
Cleaning	✓	✓✓
Fetching water		✓✓
Fetching firewood		✓✓
Caring for children		✓✓
Caring for sick	✓	✓✓

200

男女別のグループ演習が終了したら、集ってもらって、各グループに演習結果を
発表してもらいます。ツールごとに各グループに発表してもらっても良いですし、各
グループに3つのツール結果を一度の発表してもらっても良いと思います。一度に発表し
てもらう方が時間はかかりません。3つのツールを合わせて、グループ発表の時間は
10分程度で行うよう、発表者に指示してください。このような発表に慣れていない人、
特に農家は、非常に細かい点にまで言及して、時間がかかるので注意してください。

本来であれば、ツール結果を分析するときは参加者の発表結果を参照することにな
りますが、ここでは仮に上記スライドのような結果が出てきたものとして、話を進めます。

ツール結果を参照しながら、参加者全員に何が結果からわかるのかを聞きます。「男
女が双方が農作業に従事している」「男性がやる作業と女性がやる作業がある」「男
性は家事を手伝っていない」等、「基礎編」や「実践編」で学んだ分析ツール結果分
析の視点を思い出しながら、参加者のディスカッションをファシリテーションすること
が肝心です。

Plenary Session

Roles & Responsibilities



□ Problems

- Women are overburdened with both productive & reproductive roles but men's workload is much less than that of women
- Women are limited in income control



201

参加者から、「Activity Profile」の結果から導き出せれる課題や問題点が出てきたら、このスライドを見せ、ディスカッションのまとめをするようにして下さい。この2点は、ジェンダー分析調査で明らかにされたジェンダー課題であり、農家の生産性や収益に負の影響を与えていると考えられるポイントです。

ディスカッションでは、もっと多くの課題が出てくるかと思いますが、上記2点が参加者から出されるよう、ディスカッションをうまくファシリテーションするようにして下さい。

これらの課題・問題点が確認出来たら、そのような状況が、自分たちの生活、農作業、収量、収益にどのように影響を与えているのかを、参加者に考えてもらいます。

Plenary Session

Roles & Responsibilities

❑ Negative effects

- Heavy workload on women reduces their time for farm activities, leisure/or rest
- Women's lack of income control limits their active involvement in decision making on household expenditure
- Women's limitation in income control demotivates them from engaging in farming activities



202

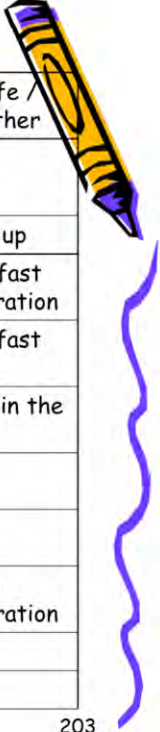
参加者のディスカッションを通じて、「Activity Profile」の結果から読み取れるジェンダー課題が、自分たちの生活や農業生産に与える負の影響が、明らかになってきたところで、このスライドに移ります。

ディスカッションでは、もっと多くの点が出てくるかもしれませんが、上記3点は、この分析ツールから導き出されるべき、最も重要な負の影響となりますので、これらの点が参加者から出てくるよう、うまくファシリテーションするようにして下さい。

Plenary Session

Daily Activity Calendar

What are problems?
What are negative effects?



Time	Husband / Father	Wife / Mother
3:00 am	Sleep	Sleep
3:30 am		
4:00 am		Wake up
4:30 am		Breakfast preparation
5:00 am	Wake up Breakfast	breakfast
5:30 am	Work in the farm	Work in the farm
7:00 am		
12:00 am		Lunch preparation

203

次は、「Daily Activity Calendar」です。

ツール結果を参照しながら、参加者全員に何が結果からわかるのかを確認します。「女性は一日中多忙である」「男性は時間の余裕がある」等、モジュール2や3で学んだ分析ツール結果分析の視点を思い出しながら、参加者のディスカッションをファシリテーションしていきます。

Plenary Session

Daily Activity Calendar Cont'

□ Problems

- Women work throughout the day and spend long time on reproductive activities
- Men have plenty of time for leisure activities and rest



204

参加者から、「Daily Activity Calendar」の結果から導き出せれる課題や問題点が出てきたら、このスライドを見せ、ディスカッションのまとめをするようにして下さい。この2点は、ジェンダー分析調査で明らかにされたジェンダー課題であり、農家の生産性や収益に負の影響を与えていると考えられるポイントです。

ディスカッションでは、もっと多くの課題が出てくるかと思いますが、上記2点が参加者から出されるよう、うまくファシリテーションするようにして下さい。

これらの課題・問題点が確認出来たら、そのような状況が、自分たちの生活、農作業、収量、収益にどのように影響を与えているのかを、参加者に考えてもらいます。

Plenary Session

Daily Activity Calendar Cont'

❑ Negative effects

- Sole responsibility of women for most reproductive activities significantly reduce their engagement in productive activities thus reducing the household income
- Too much leisure/rest time limits men's involvement in productive activities thus reducing household income.



205


参加者のディスカッションを通じて、「Daily Activity Calendar」の結果から読み取れるジェンダー課題が、自分たちの生活や農業生産に与える負の影響が、明らかになってきたところで、このスライドに進みます。

ディスカッションでは、もっと多くの点が出てくるかもしれませんが、上記2点は、この分析ツールから導き出されるべき、最も重要な負の影響となりますので、これらの点が参加者から出てくるよう、うまくファシリテーションするようにして下さい。


Plenary Session

Access to and Control of Resources

What are problems? What are negative effects?



Resources	Who has access to it?		Who has control on it?	
	Men	Women	Men	Women
Land	✓	✓	✓	
Capital	✓✓	✓	✓	
Farming tools	✓	✓	✓✓	✓
Bicycles	✓✓	✓	✓✓	✓
Cows	✓	✓	✓	
Chickens	✓	✓✓	✓	✓✓
Maize	✓	✓	✓	
Tomatoes	✓✓	✓	✓	
Trees	✓✓	✓	✓	



206



次は、「Access & Control Profile」です。

ツール結果を参照しながら、参加者全員に何が結果からわかるのかを確認します。「男女双方、同じようにアクセスがある」「リソースのほとんどを男性がコントロールしている」等、「基礎編」や「実践編」で学んだ分析ツール結果分析の視点を思い出しながら、参加者のディスカッションをファシリテーションしていきます。

Plenary Session

Access to and Control of Resources

- Problems
 - Women have access to some resources but little control over them, on the other hand men control almost all the resources



207

参加者から、「Access & Control Profile」の結果から導き出せれる課題や問題点が出てきたら、このスライドを見せ、ディスカッションのまとめをするようにして下さい。この点は、ジェンダー分析調査で明らかにされたジェンダー課題であり、農家の生産性や収益に負の影響を与えていると考えられるポイントです。

ディスカッションでは、もっと多くの課題が出てくるかと思いますが、上記の点が参加者から出されるよう、うまくファシリテーションするようにして下さい。

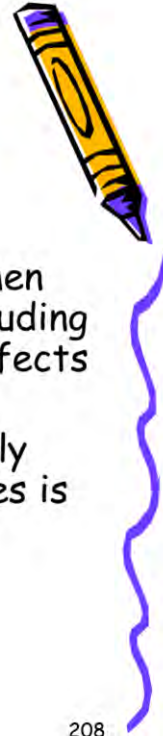
この課題・問題点が確認出来たら、そのような状況が、自分たちの生活、農作業、収量、収益にどのように影響を与えているのかを、参加者に考えてもらいます。

Plenary Session

Access to and Control of Resources

Negative effects

- Lack of control of resources excludes women from decision making at the household including the farm management, which negatively affects production.
- Household economy is likely to be negatively affected if the control of critical resources is mostly done by a certain member of the household



208

参加者のディスカッションを通じて、「Access & Control Profile」の結果から読み取れるジェンダー課題が、自分たちの生活や農業生産に与える負の影響が、明らかになってきたところで、このスライドに進みます。

ディスカッションでは、もっと多くの点が出てくるかもしれませんが、上記2点は、この分析ツールから導き出されるべき、最も重要な負の影響となりますので、これらの点が参加者から出てくるよう、うまくファシリテーションするようにして下さい。

Plenary Session

Problems identified in 3 exercises

- Women are overburdened by both productive and reproductive roles while men have more free time
- Poor time management by some household members and their lack of collaboration reduces the time spent in the farm thus lowering productivity



209

このスライドで、3つの分析ツールから導き出された課題・問題点を改めて整理し、参加者に確認します。

Plenary Session

Problems identified in 3 exercises

- Lack of control in income and resources discourages women to effectively participate in farming activities



Plenary Session

Any Measures?

- What can we do to reduce the negative effects created by the identified problems?
- Something needs to be done to improve the household economy
- Your suggestion can be put in an action plan for effective implementation



211

そして、このスライドから、これまでディスカッションを通じて確認してきた、ジェンダー課題と、それが農業生産性や収益に与える負の影響を緩和するための方策を、参加者に検討してもらいます。

外部者に頼ることなく、自分たちの問題を自分たちで解決していく事が重要であり、かつそれが可能であることを強調します。

Gender Action Plan Making

Procedure

1. Using the sheet given, draw a Gender Action Plan
2. Make "Heavy workload of women" a problem of Gender Action Plan and "Reduction of heavy workload of women" its objective
3. Select the most tedious and time consuming work in the household



212

HPIPとしては、研修参加も難しく、また農作業にも十分な時間をかけることが難しい女性の過重労働を最も重要な問題と捉えたため、この課題を緩和するための方策を、参加者に検討してもらうこととしました。

そして、スライド34を念頭に、行動計画作成作業を行います。

まず、参加者には、女性が行っている作業の中でも、最も時間がかかると思われるものを挙げてもらいます。

Gender Action Plan Making

4. **Select** one(1) activity to address most tedious work identified in previous slide, which can easily be implemented by the members.
5. Identify resources required to implement this activity
6. Set precise time for implementation
7. Identify who to implement and monitor



213

いくつかの「大変な作業」が特定された、その中でも、簡単な対処法で大変さが緩和されそうな作業の一つ、参加者に選んでもらいます。

次にその対処法を実施する際に必要とされるリソースを考えてもらいます。これはお金かもしれませんし、材料かもしれません。また、労働緩和のための道具を作るのであれば、そのための知識かもしれません。

そして、いつまでにやるのか、また誰が責任を持って実施するのかなどを取り決めます。

Gender Action Plan Making

Problem: Heavy Workload of Women

Objective	Most Tedious Work	Activities	Resources	Schedule	Implementer	Monitoring Indicator	Monitor	Remarks



214

行動計画の策定作業を進める時は、この表を別途、模造紙に書き写し、その模造紙に、話し合いで決まった事項を順番に記録していくと、作業が進めやすいかと思えます。

Gender Action Plan Making

- ❑ Implement the planned activity.
- ❑ Once the planned activity is implemented /completed by more than 70% of group members, identify another activity to further reduce women's workload, using the above procedure.
- ❑ Regularly review your Gender Action Plan to continually improve your situation



215

行動計画が完成したら、上記の点を、参加者と確認していきます。

グループメンバーの70%が実施したら、次の行動計画を作成するとありますが、この数値は、もちろん、参加者の意向で、100%、90%等の高い数値を適用することも可能です。但し、グループメンバー全員の結束が固いグループであれば良いのですが、あまり高い数値を目標とすると、次の行動計画に移ることが難しくなる場合もあるので、バランスを考えて、参加者と決めることで良いかと思えます。

Wrap UP

- ❑ Better time management is required to spend more time in the farm so as to **increase productivity.**
- ❑ Sharing of workload between **men** and **women** will **improve their relationship** and lead to more unity among the household members
- ❑ Sharing of resources between **men** and **women** will **improve household economy**



216

最後にまとめです。

参加者に理解してほしいポイントをここで強調します。

この研修は、HPIPのジェンダー分析調査を通じて明らかになったジェンダー課題の解決を目指して行うものです。ジェンダー分析調査の結果は、国、地域によって異なってきますので、その結果に基づいて、研修の内容を作成することが肝心です。

対象地域にはどのような問題や課題があり、その結果として、プロジェクトの実施がどのような影響を受けるのか、まず考えてください。そして、ジェンダー課題が何らかの形で、プロジェクトの活動に負の影響を与えるのであれば、その影響を緩和するための方策の一つとして、対象農家のジェンダー意識を啓発するために、このような研修を行うことは意義のあることです。

その地域がどのような課題を抱え、それをどのように緩和するのか、そのためには研修にどのようなセッションを盛り込んでいく必要があるのか、HPIPジェンダー啓発研修を参考に、検討してみてください。

参考資料

- ❑ Implementation Guideline: Gender Sensitization Subject Matter Training, Technical Cooperation in Supporting Service Delivery Systems of Irrigated Agriculture (2009)
- ❑ Farmer Training Manual (Gender Sensitization Training), Project on Enhancing Gender Responsive Extension Services in Kenya (2016)



217

参考資料として、2つのJICA技術協力プロジェクトで作成したジェンダー啓発研修マニュアルを添付しますので、参考にしてみてください。このマニュアルは、農家研修を行う普及員が、研修を実施の際に参照するためのものです。

**IMPLEMENTATION GUIDELINE
SUBJECT MATTER TRAINING
GENDER SENSITIZATION**

December 2009

TANRICE

Objectives

- To raise awareness on gender and rice farming

Target group

- Male and female farmers engaged in paddy production

Time Schedule (1 Day)

Time	Activities
9:00 - 10:00	Opening
10:00 - 10:30	Understanding Gender and Sex
10:30 - 13:00	Practical Exercises <ul style="list-style-type: none">- Division of Labor- Access and Control- Daily Activity Calendar- Presentation / Discussion
13:00 - 14:00	Lunch
14:00 - 15:15	Gender Action Plan Making
15:15 - 15:30	Wrap - up
15:30 -	Closing

Understanding Gender and Sex (30 minutes)

- Objectives

This topic will help the participants to understand the differences between sex and gender.

- Exercise

Step 1	Ask the participants to complete the following: “(In my culture) because I am a woman, I must” “(In my culture) because I am a man, I must....” Write down the answers on the flipchart.
Step 2	Explain what sex means and what gender means. ☆ Sex: biologically determined, not change over the time. ☆ Gender: socially and culturally determined, differ from one culture to another and change over the time.
Step 3	Discuss if the answers given by the participants to above question are either sex or gender.
Step 4	Ask the group if there is any job in the community which used to be done exclusively by men, but now done by both men and women or which used to be done exclusively by women, but now done by both men and women.



Participants now understand
Gender changes over the time even in the community of the participants.

Further exercises

To facilitate the further understanding of participants, read the following statements one by one and ask the participants if they are sex or gender.

- (1) Women give a birth. Men don't. (S)
- (2) Boys are tough. Girls are soft. (G)
- (3) Women can breastfeed. Men feed babies with milking bottles. (S)
- (4) Women are responsible for household chores. (G)
- (5) Men are breadwinners. (G)
- (6) Women should not speak in public. (G)

Information: Tanzania

- ✧ *Women constitute 86% of agriculture labor force.*
- ✧ *Women in agriculture work an average of 10 -14 hours a day while men work 7 - 8 hours a day.*
- ✧ *Mean monthly income from agriculture activities for women is about half of that for men.*

(Source: Country Gender Profile, African Development Bank, 2005)

Practical Exercise (2.5 hours)

- **Division of Labor in Rice Farming (Productive / Reproductive)**
- **Access and Control**
- **Daily Activity Calendar**

● Objective

The three exercises aim to understand the followings:

- Roles and responsibilities of women and men in the farming household.
- Heavy workload of women
- Access to and control of household resources by men and women
- Women's little control over resources

● Exercise

Step 1	Divide the participants into two groups; one for men and the other for women.
Step 2	<p>Explain how to do each exercise as follows</p> <p>(Division of labor)</p> <p>Show the participants the flipchart A (Productive activity) and the flipchart B (Reproductive activity). Explain them that the exercise is to identify which activities are done by men or women. If more than one person is involved in the activity, tick two in the column of a main contributor and tick one for those involved in the activity.</p> <p>(Access and control)</p> <p>Clarify the participants what is resource, access and control.</p> <ul style="list-style-type: none"> ✧ Resource: anything can be owned and used by farmers, such as land, tools, crops, animals, etc. ✧ Access: the opportunity to make a use of resources ✧ Control: the power to decide how a resource is used, who has access to it, when it can be sold, etc. <p>Show the participants the flipchart C (Access) and the flipchart D (Control). Ask if there is any important resource for the income-earning purpose of household, which are not listed in the flipcharts, and, then, write them down in the blank columns. Explain them that the exercise is to identify who, either men or women, has an access to and control of each resource listed. If both of them have an access/control, tick two in the column of the one with more access/control and tick one in the column of the one with less access/control. In case both have an equal access/control, tick one in both columns.</p> <p>(Daily Activity Calendar)</p> <p>Explain the participants that the exercise is to illustrate a typical day for a man and a woman in the community; a typical day as the examples in the page 8.</p>

Step 3	Ask both groups to do the exercises as explained, and assist them if necessary.
Step 4	Go back to the plenary session. Ask each group to present the results and discuss.



Discussion Points:

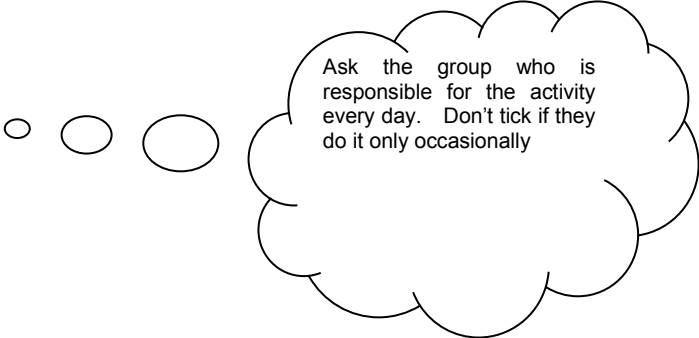
- ☆ Unlike sex, gender changes over the time and differs from one place to another.
- ☆ The workload of women is much heavier than that of men.
 - Women work throughout a day unlike men.
 - Women are responsible for almost all reproductive activities.
- ☆ Women have access to some resources but little control over them. On the other hand, men control almost all the resources.
 - Women have little control over the income accrued from rice farming, which discourages them to be actively engaged in the farming.
 - Nobody can make any decision on the issues related to the resources of which he/she does not have control.

Flipchart A (Productive Activity)

Activities	Men	Women
Canal cleaning	✓	✓
Land clearing	✓	
Ploughing	✓✓	✓
Leveling	✓	✓
Preparing bunds		
Paddling		
Seeds preparation		
Sowing seeds		
Uprooting seedlings		
Transplanting		
Weeding		
Fertilizer		
Insecticide		
Bird scaring		
Harvesting		
Packing and sewing bags		
Drying		
Storing		
Milling		
Selling		
Keeping money		

Flipchart B (Reproductive Activity)

Activity	Men	Women
Cooking		✓
Washing	✓	✓
Fetching water	✓	✓✓
Fetching firewood		
Caring for children		
Caring for sick		
Grinding		
House Construction / Repair		
Security		



Ask the group who is responsible for the activity every day. Don't tick if they do it only occasionally

Flipchart C (Access)

Resources	Men	Women
Farm Land		
House		
Farming tools		
Cattles		
Poultry		
Radio		
Bicycle		
Training opportunities		

Flipchart D (Control)

Resources	Men	Women
Farm Land		
House		
Farming tools		
Cattles		
Poultry		
Radio		
Bicycle		

Ask the participants for two most important assets, which are not listed.

Men's day

Time	Activities
6:00 am	Wake -up / Home survey
7:30 am	Breakfast
8:00 am	Allocating duties
9:00 am	Working at farm
1:00 pm	Lunch Resting
4:00 pm	Meeting friends
7:00 pm	Supper Resting
10:00pm	Retire to bed

Women's day

Time	Activities
5:00 am	Wake up / Milking
7:00 am	Prepare breakfast
8:00 am	Washing
9:00 am	Work at Farm
12:00	Prepare lunch
1:00 pm 	Washing utensils / Feeding livestock / Fetching water / firewood / Milking / Merry go round
5:00 pm	Prepare supper
6:00 pm	Assembling livestock / Washing children
8:00 pm	Supper
9:00 pm	Washing utensils
10:00pm	Bathing
11:00pm	Retire to bed

Gender Action Plan Making (75 minutes)

- Objective

This exercise aims to devise an action plan to reduce gender gap in the community and at the household.

- Exercise

Step 1	Through the exercises of the day, the participants should be clearly aware of the problems caused by the unequal sharing of roles and responsibilities between men and women before this exercise. Ask the participants to list the problems learnt through the today's exercises.														
Step 2	Prioritize the problems and assist the participants to select one problem, which <u>should be solved by using mainly own disposal resources</u> , not entirely from outsiders such as governments or donors.														
Step 3	Fill out the exercise material "Action Plan", referring to below.														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>Problems</th> <th>Causes</th> <th>Activity</th> <th>Until when</th> <th>Resource</th> <th>Imple- menter</th> <th>Monitor</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	Problems	Causes	Activity	Until when	Resource	Imple- menter	Monitor							
Problems	Causes	Activity	Until when	Resource	Imple- menter	Monitor									



After an action-plan making, confirm

- ☆ They can device the plan which will actually reduce the women's workload.
- ☆ It requires only a small input to bring about a big change.
- ☆ Those who were appointed as "Monitors" should encourage and facilitate the people to implement the plan.

"You may like to urge the participants to fix the date for a next meeting to facilitate the process for implementation"

Wrap-up (15 minutes)

- Objective

This exercise aims to confirm if the participants understand the today's session and to reiterate the importance of the implementation of the action plan.

- Exercise

Step 1	Ask the participants what they learned in the training. Confirm the following points of the training. <ul style="list-style-type: none">☆ Unlike sex, gender changes over the time and differs from one place to another.☆ The workload of women is much heavier than that of men.☆ Women are substantially involved in the farming but they have little control over the assets including the farming income. Since it discourages women to be actively engaged in the farming, it will negatively affect the agricultural production of household.
Step 2	To reduce the women's workload and to increase the productivity, reiterate an importance to implement the action plan.

To facilitate the understanding of participants, you may like to introduce the small story of Alice.

(1)

One day Alice was at home while her husband went to the town. One buyer came to the house and asked Alice if he could buy the tomatoes in the shamba. Alice knew that her husband had been looking for a buyer. But Alice told the buyer, "My husband is not at home. You need to come back tomorrow." At night the hailstone destroyed all tomatoes in shamba.

Problems

- Alice did not have a control over produce, thus she was not supposed to sell tomatoes to the buyer.

Ask participants what should be done to avoid the same situation to happen.

(2)

Traditionally the insecticide application was a responsibility of men in the community where Alice lived. In May Alice knew it was a time for tomatoes to be sprayed. But she never suggested her husband to do so. Tomatoes did not grow well in that year because it was too late when her husband started spraying.

Problems

- Alice did not have a control over produce and could not make any decision on how the shamba was managed, thus she did not suggest anything to her husband.

Next year Alice participated in both the agricultural training and the gender sensitization training. She learned how to apply insecticide to tomatoes and the importance to work together with her husband. After coming back from the training, she told her husband about what she had learned. Alice started applying insecticide herself. At the end of the season Alice and husband enjoyed a good harvest.

Gender Awareness for Farm Enterprise

Farmer Training manual Ver. 1.1

January, 2016

Table of Contents

1.0 Preparation of Training	232
2.0 Gender Awareness Training (Day 1).....	238
Module 1: Climate setting.....	238
Module 2: Understanding the Meaning of Sex and Gender	239
Module 3: Explaining Gender Analysis tools	241
Module 4: Group Exercises	247
Module 5: Presentations and Discussions on Group Exercises (Day 2)	248
Module 6: Gender Action Plan Making	250
Module 7: Wrap-up.....	252

1.0 Preparation of Training

It is important for facilitators to come together and discuss thoroughly about the implementation of training. The proposed time schedule is indicated in Table 1. The training design needs to be developed carefully taking into account the programme.

Facilitators need to understand situations of expected participants so as to guide in designing venue, schedule and duration of training; and make necessary arrangements to create a conducive environment for learning. In making a decision on schedule, it is recommended that facilitators take note of some farming seasons and activities, which are time specific. Some participants may find it difficult to fully participate in the training if training schedule conflicts with these activities.

It is also important to start as soon as possible preparation of training materials and flip charts to be used during the training as indicated in the following pages. The training should be as practical, participatory, active **and drawing from participants'** experiences and case studies to capture and maintain the interest of the participants.

Once necessary arrangements are made, adequate time should be given between the invitations and date of training for the participants to organise their schedules so that participants will be able to make necessary arrangements on who will perform their tasks while they are away.

When inviting the participants, a deliberate effort should be made to invite representatives of all gender groups in the community, and, if possible, to invite spouses or two household members who work together in a particular farm enterprise. Facilitators are strongly recommended to invite opinion leaders because they will assist in community mobilization and can champion integration of gender aspects in rural development.

A checklist is provided below to assist facilitators in preparation of the Gender Awareness Training.

Table 1: Proposed Time Schedule for Gender Awareness Training

Day 1

Time	Topic	Duration
9:00 – 9:30 am	Introduction: Climate Setting	30 mins
9:30 – 10:15 am	Understanding Gender and Sex	45 mins
10:15 – 11:00 am	Procedure of Exercises using Gender Analysis Tools	45mins
11:00 – 01:00 pm	Group Exercises	2 hours
01:00 – 01:15pm	Wrap up	15 mins

Day 2

Time	Topic	Duration
8:45-9:00 am	Recap	15 mins
9:00-9:30 am	Presentation of results of group exercises	30 mins
9:30 – 10:30am	Identification of issues arising from the results of the exercises and the Negative effects of those issues on productivity and family relationship (gender groups/plenary)	1 hour
10:30-10:50 am	Case study/Discussion	20 mins
10:50-11:50 am	Gender Action Plan Making	1 hour
11:50 – 12:10 pm	Discussion / Wrap-up	20 mins

Checklist for Preparation

	Points to be considered	Achievement
1 Designing of Training		
Trainees	<ul style="list-style-type: none"> - Farmer Group to be invited - All gender groups to be represented - Spouses of group members to be invited 	
Training venue	<ul style="list-style-type: none"> - Convenience (Location) - Affordability - Venue to accommodate all expected participants - Furniture (chairs, desks, etc.) 	
Training duration	<ul style="list-style-type: none"> - 3 days; is it going to be conducted for three consecutive days or in intervals? 	
Training dates	<ul style="list-style-type: none"> - Availability/schedule of group members (consider participation of all gender groups) - Availability of venue - Availability of facilitators 	
Opinion Leaders	<ul style="list-style-type: none"> - Seek support for facilitation of training organization 	
Farmer group	Prior consultation to ensure their participation <ul style="list-style-type: none"> - Date / Duration - Venue 	
2. Invitations		
Farmer group	<ul style="list-style-type: none"> - Send invitation in advance (at least 14 days) 	
Spouses of Farmer Group members	<ul style="list-style-type: none"> - Through farmer group members 	
Opinion Leaders	<ul style="list-style-type: none"> - Send invitation in advance 	
3. Preparation of Training		
Co-facilitator	<ul style="list-style-type: none"> - Select someone who can do preparation together 	
Training Contents	<ul style="list-style-type: none"> - Read this manual thoroughly - Discuss with co-facilitator on training procedures 	
Training Materials:	<ul style="list-style-type: none"> - Source materials necessary for training - Prepare Gender Analysis Tools ✓ Daily Activity Calendar (4 copies) ✓ Reproductive Activity Profile (4 copies) ✓ Dairy Activity Profile (4 copies) ✓ Access to and Control over Resources (4 copies) ✓ Access to and Control over Benefits (4 copies) ✓ Action Plan (1 copy) 	

Flip Charts to be Prepared before Training

Daily Activity Calendar: 24 hours Schedule (Four Copies)

Gender Group.....

Time	Activities

Reproductive Activity Profile (Four Copies)

Gender Group.....

Activities	Men	Women	Male Youth	Female Youth

Productive Activity Profile (Four Copies)

Gender Group.....

Activities	Men	Women	Male Youth	Female Youth

Access to and Control over Resources Profile (Four Copies)

Gender Group.....

Resources	Access to Resources				Control over Resources			
	Men	Women	Male Youth	Female Youth	Men	Women	Male Youth	Female Youth

Access to and Control over Benefits Profile (Four Copies)

Gender Group.....

Benefits	Access to Benefits				Control over Benefit			
	Men	Women	Male Youth	Female Youth	Men	Women	Male Youth	Female Youth

Gender Action Plan (One Copy)

Issue:								
Objective	Activities	Resources Required	When to start	When to be completed	By Who	Monitoring Indicator	Who to Monitor	Remarks
								-

2.0 Gender Awareness Training (Day 1)

Module 1: Climate setting

Objective: The purpose of this module is to enable the participants to know each other, share their knowledge and experiences, bring out personal perceptions, create a conducive learning environment, create sense of belonging and build a team spirit.

Methodology: Mosaic of discussions, questions and answers.

Duration: 30 mins

Training Materials:

- ❖ Flip chart
- ❖ Marker pens

Procedure

- Step 1: Welcomes the group and appreciates their turning up for the training.
Give them in brief the objectives of training, which is "To create gender awareness and come up with measures to mitigate negative effects of gender issues in household farm enterprise".
- Step 2: Ask the participants to introduce themselves by name, what they do for a living and something other participants do not know about him or her.
- Step 3: Ask the participants one thing they know about being a man / woman in their community. Then, list down on the flip chart what the participants say about being a man or woman; and ask if they all agree.

This will form the basis of their understanding of sex and gender in Module 2 below.
- Step 4: Ask the participants to elect/select their team leader and time keeper to provide leadership during the training.

Module 2: Understanding the Meaning of Sex and Gender

Objective: To help the participants understand the differences between Sex and Gender.

Methodology: Exercises and Discussions

Duration: 45 mins

Training Materials:

- ❖ Flip chart
- ❖ Marker pens

Procedure

Step 1: Ask the participants what they understand by term "Sex and Gender" (they can explain in their local language and the facilitator translates to English / Kiswahili) and co-facilitator to list down as they mention.

Step 2: Explain the differences quickly and simply

Explain to participants that *Sex is being male or female*. It is biological, natural / inborn, God-given, universal and cannot be changed.

Gender is characteristics and behaviours of being man, woman, male youth, female youth or elderly in a given society and change over time.

Give the following examples to illustrate the differences between Sex and Gender for easy understanding of farmers: -

Three boys born in Kwale hospital to an Asian couple, Luo couple and Kikuyu couple. The Asian boy is taken and raised by Luo couple in Siaya County, Luo boy taken and raised by Rendille couple in Marsabit County; and Kikuyu boy is taken and raised by Pokot couple in West Pokot County. After 20 years bring the three boys (men) together and compare. Will any one of them have changed to a girl; and/or will their roles and responsibilities be the same or different?

Answer - will be boys /men but their roles and responsibilities, needs, aspirations and values will be different because they reflect the couple raising them and not biological parents. Same sex but different Gender roles.

Points: Sex is unchangeable while Gender is changeable

Step 3: Go through the list developed in module 1 about being a man / woman in their community and check if they refer to Sex or Gender. Tabulate the responses.

Step 4: **Confirm the participants' understanding** of the differences between Sex and Gender. Ask the participants to give you two or three roles / responsibilities / activities that were culturally assigned to men in their community but currently done by both men and women; and two or three roles / responsibilities / activities that were culturally assigned to women in their community but currently done by both men and women. This will facilitate **the participants' understanding that** gender in their community changes over time.

Important!!

By the end of module 2, participants will understand differences between Sex and Gender ~ Sex cannot be changed but gender changes from time to time and from place to place.

Module 3: Explaining Gender Analysis tools

During **this Module**, five gender analysis tools; “Daily Activity Calendar”, “Reproductive Activity Profile” “Productive Activity Profile”, “Access to and Control over Resources Profile” and “Access to and Control over Benefits Profile” *will be explained to make participants understand how to carry out the group exercises using the five tools during the Module 4.*

Duration: 45 mins

Training Materials

- ❖ Flip chart “Daily Activity Calendar”
- ❖ Marker Pens for Flip chart

(i) Daily Activity Calendar

Objective of Tool:

To enable participants/farmers to identify the activities/roles of men, women, male youth and female youth in a 24-hour day and at what time they are done.

To make participants understand and discuss effects of different workloads for the members of a typical household in their community.

Procedure

Step 1: Display the flip chart “Daily Activity Calendar” on the wall or on a visible position.

Step 2: Explain to participants that they are to list down how they spend 24 hours in a typical day (explain time period from waking up in the morning today to waking up in the morning the following day). The time can be divided into 1 hour blocks, but can vary depending on the activity. Participants can use words or symbols to represent the activities.

Daily Activity Calendar: Example

Time	Activity
	Wake up
	Breakfast

Start with the time when they wake up.

(ii) Reproductive Activities profile

Objective of the Tool

To enable participants to identify those activities towards care and maintenance of household / family; and who does them.

To make participants understand and discuss effects of different workloads for the members of a typical household in their community.

Procedure

- Step 1: Display the flip chart "Reproductive Activities Profile" **on the wall or on a visible position.**
- Step 2: Ask participants to mention 7 – 8 major activities for care and maintenance of household and write them on the flip chart.
- Step 3: Explain to participants how to indicate against each activity who performs these roles at household level; inserting three tick for one who solely does the activity and if activity is carried out more than one, two ticks for main player and one tick for the one helping against each activity.
- Step 4: Confirm with participants if they understand how they carry out "Reproductive Activity Profile" exercise. If it's necessary to assist the participants on how to fill in, show them how with one or two activities.

Reproductive Activities Profile: Example

Reproductive Activities	Men	Women	Male Youth	Female Youth
Cooking	√√			√
Cleaning		√√√		
⋮				
⋮	For main player		For one helping	
		For sole player		

(iii) Productive Activities profile:

Objective of the Tool:

To enable participants to identify those activities carried out in household farm enterprise in their locality; and who in the household does them.

To make participants understand and discuss effects of different workloads for the members of a typical household in their community.

Procedure

- Step 1: Display the flip chart "Productive Activity Profile" **on the wall or on a visible position.**
- Step 2: Ask participants to mention 7 – 8 major activities carried out in household farm enterprise in their locality and write them on the flip chart.
- Step 3: Explain to participants how to indicate against each activity who performs these roles at household level; inserting three tick for one who solely does the activity and if activity is carried out more than one, two ticks for main player and one tick for the one helping against each activity.
- Step 4: Confirm with participants if they understand how they carry out "Productive Activity Profile" exercise. If it is necessary to assist the participants on how to fill in, show them how with one or two activities.

Productive Activity Profile: Example

Productive Activity	Men	Women	Male Youth	Female Youth
Land preparation			√	√√
Transplanting	√√√		↗	
⋮	↖	For one helping		↗
⋮				
⋮	For sole player		For main player	

(iv) Access to and Control over Resources Profile

Objective of Tool:

To enable participants understand meaning of Resource and identify “What resources are required for them to engage in household farm enterprise in their locality” and how they relate to one another as each member of the household participates in the **enterprise. Participants will understand “What Resources, Who has Access to, and who has Control over these Resources”** in household farm enterprise in their locality.

Procedure

- Step 1: Display the flip chart “**Access to and Control over Resources Profile**” on the wall or on a visible position.
- Step 2: Ask **participants what they understand by the words “Resource, Access and Control”**.
- Step 3: Co-facilitator or volunteer participant can write down on flip chart three answers for each term given by participants.
- Step 4: Explain to the participants meaning of a Resource, having Access to and Control over Resources in reference to the Box below

Resource: Anything owned, borrowed or hired by the farmer for use on the farm to get some benefits out of it.

Access to: refers to the ability / opportunity to make use of a resource.
Use of resource may mean the following;

- (a) Having knowledge and skills pertaining to use of resource
- (b) Has permission to use
- (c) Ability to do the tasks with the resource

Control Over: refers to ability to make decisions about how to use or dispose resources; and in most cases the use of resources(s) is given by owner or person responsible who may give conditions for use.

Controller of resource(s) often owns the resource, can use the resource and/or allow or stop others from using, decides what to do with resource; and is regarded as the one with powers over the resource.

Access to a resource can be denied by the controller and may be limited to specific tasks e.g Controller of land can give dependent youth land to plant short season crops but not permanent investments.

To facilitate the understanding of the participants, give them the following examples:

☆ Carrying out operations on the land such as grazing, cultivation etc. is the access

but the decision on how it is used is the control.

☆ One can milk and utilize the milk in the household if he/she has an access to the animal. But one cannot sell the animal if he/she has no control of the animal.

Step 5: Ask participants to brainstorm on 5 critical resources they require to practice household farm enterprise in their locality. List the inputs mentioned on a flip chart. Rank these inputs on flip chart on the basis of importance.

Facilitator needs to ensure training opportunities and acquired skills from training are included in the list of resources.

Step 6: Explain to participants how to indicate against each resources who has access to and control over; three ticks for one who has exclusive access to / control over the resource and if more than one have access to / control over the resource, two ticks to one who has more access to /more control over each resource; and one tick to who has less access to and less control over the resource.

Step 7: Confirm with participants if they understand how they carry out "Access to and Control over Resources Profile" exercise. If it is necessary to assist the participants on how to fill in, show the how with one or two resources.

Access to and Control over Resources Profile: Example

Resources	Access to Resources				Control over Resources			
	M	W	FY	MY	M	W	FY	MY
Land	√	√√				√	√√	
Training					√√√			
	For one with less access	For one with more access				For one with less control	For one with more control	
				One with exclusive control				

(v) Access to and Control over Benefits Profile

Objective of Tool:

To enable participants understand meaning of **benefits and identify “What benefits they get by engaging in household farm enterprise in their locality” and to what extent each member of the household benefits from the activity.** Participants will understand **“What Benefits, Who has Access to, and who has Control over these Benefits”** in household farm enterprise in their locality.

Procedures

- Step 1: Display the flip chart **“Access to and Control over Benefits Profile”** on the wall or on a visible position.
- Step 2: Ask participants what they **understand by the words “Benefits”**.
- Step 3: Co-facilitator or volunteer participant can write down on flip chart three answers given by participants.
- Step 4: Explain to the participants ***“Benefits are gains they get from household farm enterprise; and may include what the benefits are used for (food, income, prestige).”***
- Step 5: Ask participants to brainstorm on 5 important benefits from household farm enterprise in their locality. List the benefits mentioned on a flip chart. Rank these benefits on flip chart on the basis of importance.
- Step 6: Explain to participants how to indicate against each benefit who has access to and control over; three ticks for one who has exclusive access to / control over the benefit and if more than one have access to / control over the benefit, two ticks to one who has more access to /more control over the benefit; and one tick to who has less access to and less control over the benefit.
- Step 7: Confirm with participants if they understand how they carry out **“Access to and Control over Benefits Profile”** exercise. If it is necessary to assist the participants on how to fill in, show the how with one or two resources.

Access to and Control over Benefits Profile: Example

Benefits	Access to Benefits				Control over Benefits			
	M	W	FY	MY	M	W	FY	MY
Income	√	√√				√	√√	
Cassava								
	For one with less access	For one with more access				For one with less control	For one with more control	

Module 4: Group Exercises

Objective: By using the five Gender Analysis tools, to enable participants to identify how household members spend their time, on what activities and activities that can be done concurrently; and establish how household members relate to each other in activities and, use and control over resources and benefits of household farm enterprise.

Methodology: group discussions

Duration: 2 hours

Training Materials

- ❖ Flip charts generated through Module 3.
- ❖ Marker Pens

Procedure

- Step 1: Confirm if participants are clear on how to carry out the exercises and divide the participants into four gender groups namely: - Men, Women, Male youth and Female Youth (explain that the youth refer to those who are between 18 and 35 years).
- Step 2: Facilitator and Co-facilitator ensure each gender group copies Activities, Resources and Benefits identified in the participatory discussions during plenary session.
- Step 3: Ask the gender groups to move to a specific area *far from each other*, elect their team leader and secretary to record and present their discussions during plenary.
- Step 4: Facilitator and co-facilitator keep checking on the gender groups to ensure they are on track and assist as and when required by any of the groups. Once the exercises are completed, recall the groups to plenary.

Module 5: Presentations and Discussions on Group Exercises (Day 2)

Objective: To enable participants understand the gender differences in workload, access to and control over resources and benefits; and effects of identified gender issues on household economy.

Methodology: Presentations and Discussions

Duration: 1 hour 30 mins

Procedure

- Step 1: Welcome participants to the gender awareness training. Briefly remind them of what was discussed and done in the previous day training.
- Step 2: Let the gender analysis exercise results be displayed and have a representative from each group present their exercise results within 10 minutes each.
- Step 3: Allow 10 minutes for questions and clarifications
- Step 4: *Ask the participants gender issues they can identify from each tool one by one* and request a volunteer from participants or co-facilitator to record in table below.

Gender Group.....

Type of Profile	Identified Gender Issues*	Effects of these Gender Issues on Farm Productivity/Production
Daily Activity Calendar		
Reproductive Activity Profile		
Productive Activity Profile		
Access to and Control over Resources Profile		
Access to and Control over Benefits Profile		

Important!!

Confirm the following points are identified in the discussions, if not, raise attention of participants and direct discussions.

Gender Issues

☆ Is any gender group busier than the others?

- ☆ Does any gender group have less access or less control over resources and benefits?

Effects of Gender Issues

- ☆ If any gender group has heavier workload than the others,
 - What would be the implications on household farm enterprise?
 - Can household farm enterprise be effectively implemented?
 - How would such conditions in the household affect family relationship?
- ☆ If any gender group have less control over resources,
 - What would be the implications on household farm enterprise?
 - Can household farm enterprise be effectively implemented?
 - How would such conditions in the household affect family relationship?
- ☆ If any gender group have less control over benefits,
 - What would be the implications on household farm enterprise?
 - Can household farm enterprise be effectively implemented?
 - How would such conditions in the household affect family relationship?

Guide the discussions to ensure

- Unequal sharing of workload, unfair use of resources and unequal sharing of benefits are identified by participants and how these affects household farm enterprise negatively
- All household members should cooperate to address identified issues.

Module 6: Gender Action Plan Making

Objective: To design a Gender Action Plan to address gender issues identified by participants in Module 5.

Methodology: Participatory Discussions

Duration: 40 mins

Training Materials

- ❖ Flip chart
- ❖ Marker Pens

Procedures

- Step 1: Go through the identified gender issues from Activity Profiles (24 hour Activity Profile, Reproductive Activity Profile, Productive Activity Profile) with the participants. Ask them what could be done to share the workload more equitably.
- Step 2: Discuss with participants what they propose could be done to address the identified gender issues
- Step 3: List down on the flip chart activities proposed by participants and ask them to pick up a few, which can be done with locally available resources. .
- Step 4: Display the flip chart "Gender Action Plan" **on the wall or on a visible position**. Explain to participants what each column means.

Issue:								
Objective	Activities	Resources Required	When to start	When to be completed	By Who	Monitoring Indicator	Who to Monitor	Remarks
								-

Points to be considered in preparing the Gender Action Plan

- ❖ "Activities" should be implemented by group members with available resources in their locality
- ❖ For "**Monitoring Indicators**", decide on how many members should have **completed the activity to be determined as "Group has successfully completed the activity"**

Step 5: Fill in the Gender Action Plan Sheet while reminding participants of points below.

- ❖ Activities can be implemented by individual household or by all members of farmer group together.
- ❖ Activities should be those to increase collaboration among gender groups.
- ❖ Required resources should be affordable to farmers and available in their locality.

Step 6: On completion of the sheet, tell participants;

- ❖ As a group, they should monitor regularly the level of implementation of the planned activities by members.
- ❖ If a situation arises where the planned activities are not implemented, establish the reasons behind the failure and take action. If for **whatever reason they can't implement the plan**, identify new strategies to achieve the objective.

Examples of Gender Action Plan

Issue: Unequitable Distribution of Workload among Household Members							
Objective	Activities	Resources Required	When to be done	By Who	Monitoring Indicator	Monitor	Remarks
Time to firewood fetching reduced	Planting trees	Seedlings	By June, 2016	Group members	More than 70% of group members implemented	Family members	Time of short rain
	Assist in splitting firewood	nil	continuous	Men	More than 70% of group members implemented	Family members	
Time for cooking reduced	Installation of improved jikos	Improved jikos, soil, cement, skilled labor	By May 2016	Group facilitator or Group members	More than 70% of group members implemented	SCAO Executive committee	Holiday season People are more available for training

Module 7: Wrap-up

The purpose of this step is to stress to the participants the impact points of the training. Ask the participants what they have learnt in the gender awareness training.

Establish by asking them the gender issues identified and the negative effects they have on participation by household members, agricultural productivity, family welfare and cooperation.

Provoke the thinking of the participants by asking whether they appreciate the training and possibility of them sharing the gained knowledge and skills on gender with the rest of community members.

Appreciate them for turning up for the training despite their busy schedule; and their participation and contribution in the training sessions which made the training enjoyable and fulfilling.

Case Studies

To facilitate the understanding of participants, you may like to introduce the small story of Alice.

(1)

One day Alice was at home while her husband went to the town. One buyer came to the house and asked Alice if he could buy the tomatoes in the shamba. Alice knew that her husband had been looking for a buyer. But Alice told the buyer, **"My husband is not at home. You need to come back tomorrow."** At night the hailstone destroyed all tomatoes in shamba.

Problems

- Alice did not have a control over produce, thus she was not supposed to sell tomatoes to the buyer.

Ask participants what should be done to avoid the same situation to happen.

(2)

Traditionally the insecticide application was a responsibility of men in the community where Alice lived. In May Alice knew it was a time for tomatoes to be sprayed. But she never suggested her husband to do so. Tomatoes did not grow well in that year because it was too late when her husband started spraying.

Problems

- Alice did not have a control over produce and could not make any decision on how the shamba was managed, thus she did not suggest anything to her husband.

Next year Alice participated in both the agricultural training and the gender sensitization training. She learned how to apply insecticide to tomatoes and the importance to work together with her husband. After coming back from the training, she told her husband about what she had learned. Alice started applying insecticide herself. At the end of the season Alice and husband enjoyed a good harvest.

Family Budgeting Training

254

HPIPのジェンダー分析調査では、女性が農業収益に係る意思決定にかかわることが出来ないことで、女性の農作業に対するモチベーションが高まらないことが、ジェンダー課題の一つとして指摘されたと思います。

「家計管理研修」は、このような課題を踏まえ、対象農家に自分たちの収入がどの程度あり、どのように家計管理していく必要があるのかを学んでもらうためのものです。世帯には、男女がいて、また両親、夫婦、子供、あるいは親戚等が共同で生活を営んでいます。そこには様々なニーズが発生し、個人個人が異なる関心を持っています。限られた収入の中で、誰のニーズや関心がいつ満たされるべきなのか、誰のどのようなニーズに優先的に支出されるべきなのか、このようなことを考えながら、世帯の家計は管理される必要があります。世帯の皆が、これは重要だと思うことに優先的に支出されれば、例え、自分のニーズがすぐに満たされなくても、構成員の不満は減るはずで

す。やりくりの仕方、また皆で話し合う重要性を、農家に学んでもらうことが本研修の狙いです。研修中には参加農家に実際に演習をしてもらうこととなりますが、これは男女混合のグループで行います。農家の収入や支出について、グループで話し合うこととなりますが、収入額や支出額が実態と即してないのではと思われることもあるかと思いますが、心配される必要は特にありません。この演習は、あくまでも、やりくりの仕方や話し合いの重要性を学んでもらうものです。データや情報を取ることが主目的ではないので、その点にご留意ください。

この研修は、農家研修の講師を務めることとなる普及員に「家計管理研修」のやり方を教える内容となっています。それでは、次のスライドに移ります。

Objective

- To learn about family budgeting training
- To understand how to facilitate family budgeting training

255

前のスライドでご紹介したように、本研修の目的は、「家計管理研修」について学ぶと共に、そのファシリテーションの方法について学ぶことです。

Gender Issues in Household Financial Management in HPIP

- Women's Little control over family income
- Little communication btw men and women



Women's low motivation on farming activities

To make participants aware of an importance to share household resources / income to improve household livelihood

256

HPIPのジェンダー分析調査を通じて、女性が農業収益の使途に関与できないことが、女性の農作業に対するモチベーションを低め、その結果として、世帯の農業生産性に悪影響を及ぼしていることが明らかにされました。このことをもう一度、研修参加者に確認します。

Family Budgeting Training for Extension Workers / Farmers

Objectives

- To raise awareness on an importance to balance annual income and expenditures
- To raise awareness on an importance to decide expenditures to accommodate needs of family members
- To raise awareness on an importance to make both men and women participate in decision-making process to get them actively engaged in farming activities

257

全スライドの課題を踏まえて、「家計管理研修」を実施する目的はこれらとなることを、参加者と共に確認します。

**GROUP WORK:
FAMILY BUDGETING TRAINING**

258

それでは、参加者によるグループ演習のやり方の説明に移ります。

Group Work

- Let's practice Family Budgeting Training

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	Total
Balance from previous month													
Income													
Paddy													
Maize													
Wage Labor													
Small business													
Total													
Expenditure													
Food													
Education													
Medication													
Agricultural inputs													
clothing													
Total													
Balance													

259

家計管理研修を実施する前に、このスライドにある表を、縦100cm、横160cmくらいの大きさで作成しておいてください。

そして、本スライドと共に、作成した表を参加者皆が見える場所に貼り出して、表の内容を以下のように説明します。

横軸は、月を表します。このスライドでは7月から始まっていますが、参加農家の収穫期、言い換えれば、最も収入のある月から、始めるようにします。そして、縦に収入源、及び支出項目を記載します。

まず、どのように演習を行うかを説明し、その後、グループに分かれて作業してもらうこととなります。1グループの人数の目安は7～8人程度が適当です。

Exercise Procedure

- In your group, decide on
 - the number of household members (husband, wife, children (level of schools they are attending))
 - Size of farm land



260

まず、参加者には、対象地域の一般的な世帯を思い浮かべてもらいます。

そして、その世帯には何人が住んでいて、どのような世帯構成であるかを言ってもらってください。子供は何人くらいで、それぞれの子供、小学生なのか、中学生なのか、あるいは大学生なのかを特定してもらいます。

そして、地域の一般的な世帯が保有している農地の大きさを確認します。

例えば、6人家族で夫婦と子供4人、1人が中学生、2人が小学生、1人が学齢前で、2エーカーの農地を持っている、と言う感じになります。

Exercise Procedure

Income

Which months family income comes and how much it is.

Crops

- ◆ How many bags to be harvested?
- ◆ How many bags to be sold with how much and in which months?

Livestock

- ◆ How many livestock to be sold with how much and in which months?

Wage Labor

- ◆ How many days to work with how much and in which months?

261

家族構成と、保有農地の大きさが決まったら、次に、その仮想世帯の収入源を考えます。これも、地域の一般的な世帯を思い浮かべながら、決定していきます。

HPIPの場合は、園芸作物プロジェクトですので、収入源の一つとして、園芸作物を一つ、入れることを忘れないようにして下さい。参加農家は、どこからどのように収入を得ているのか、十分にわかっているはずですので、参加者にこれらを特定してもらいます。なお、いくつも収入源があるかもしれませんが、これはあくまでも演習なので、4つ程度に限定するようにして下さい。

Exercise Procedure

Expenditure

What are necessities to be purchased & what has priorities.

- Food
- Education
- Medication
- Agricultural inputs
- Others...



262

収入源が確定したら、次は支出項目です。どのような農家世帯であっても、絶対に支出しなければならない項目として、食費、医療費、農業資材、教育費、衣料費は、支出項目に加えてください。その他に、参加者がどうしてもこの項目は外せないと思う項目を1つ、乃至2つ付け加えてください。

Exercise Procedure

Expenditure

How much to be spent on each item in each month

- Food
- Education
- Medication
- Agricultural inputs
- Others...

263

そして、それぞれの支出項目に毎月、いくら支出するのかを考えてもらってください。

Rule of Exercise

- 1 candy (bean) A is considered XXX
- 1 candy (bean) B & C is considered one bag of crop.
- Start with the month just after the harvest.
- To purchase items, need to exchange candy (bean) B & C with candy (bean) A in accordance with the price of crop per bag.
- Candies in the income columns cannot be moved to the expenditure columns of previous months.
- Balance should be brought forward to the next month and be added to the expected income of the next month.

264

この演習は、3種類の飴玉を使って行います。例えば、飴玉Aをお金と考え、仮に1個千円とします。一方、飴玉Bと飴玉Cは収穫物1袋に相当します。例えば、飴玉Bはメイズ1袋、飴玉Cは園芸作物のジャガイモ1袋とします。メイズとジャガイモが収穫される月に収穫量分だけの飴玉Bと飴玉Cを、表の該当コラムに置いていきます。

何かを購入する時は、飴玉Bや飴玉Cを飴玉Aに換金し、購入することになります。このように3つの飴玉を使い分けながら、収入と支出がきちんとバランスするように工夫してください。当然のことですが、8月に収穫されたジャガイモの収益を使って、前月7月の食費を賄うことはできません。

	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	Total
Balance from previous month		160,000	85,000	15,000	185,000	155,000	255,000	150,000	115,000	135,000	110,000	100,000	
Income													
Paddy	240,000					240,000							480,000
Maize				200,000									200,000
Wage Labor					30,000		15,000		40,000		15,000		100,000
Small business	10,000	5,000		20,000	10,000		20,000		10,000	10,000	10,000	5,000	100,000
Total	250,000	165,000	85,000	235,000	225,000	395,000	290,000	150,000	165,000	145,000	135,000	105,000	880,000
													Total
Expenditure													
Food	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	40,000	40,000	30,000	30,000	30,000	30,000	30,000	380,000
Education	50,000	50,000					100,000						200,000
Medication								5,000		5,000	5,000		15,000
Agricultural inputs			40,000	20,000	40,000							45,000	145,000
clothing	10,000					100,000							110,000
Total	90,000	80,000	70,000	50,000	70,000	140,000	140,000	35,000	30,000	35,000	35,000	75,000	850,000
Balance	160,000	85,000	15,000	185,000	155,000	255,000	150,000	115,000	135,000	110,000	100,000	30,000	Bank 30,000

265

最後に、すべての収穫物が換金され、換金された飴玉Aが全て、各支出項目に分配され、収入と支出のバランスが取れたら、飴玉A1個を千円として、数値化してください。

上記スライドのような表が出来上がるはずです。

多くの農家にとって、このように年間を通じて、収入と支出を考えるという作業は新しい試みです。しかし、このような考え方を習慣とすることで、収穫月前に高利でお金を借りなければならなくなったりすることが減るはず。また、生活に必要なお金がどの程度なのか、それらがいつ必要なのかが視覚されることで、前もって予算を立てておくことの意義が明らかになります。さらに、この作業を通じて、世帯構成員皆がどのように世帯収入が使われているのかを理解することが出来ます。

参考資料

- ❑ Implementation Guideline: Family Budgeting Subject Matter Training, Technical Cooperation in Supporting Service Delivery Systems of Irrigated Agriculture (2009)
- ❑ Family Budgeting (Training Module), Project for Rice Productivity Increase in Central Highland (2012)

266

参考資料として、2つのJICA技術協力プロジェクトで作成した家計管理研修マニュアルを添付しますので、参考にしてみてください。このマニュアルは、農家研修を行う普及員が、研修を実施の際に参照するためのものです。

IMPLEMENTATION GUIDELINE
SUBJECT MATTER TRAINING
FAMILY BUDGETING

December 2009

TANRICE

Objectives

To help the participants to understand the importance

- to balance the income and the expenditure of the household; and
- to make a joint decision on spending within the household.

Target group

- Male and female farmers engaged in paddy production

Time Schedule (1 Day)

Time	Activities
9:00 - 9:30	Opening / Introduction
9:30 - 10:30	Exercise
10:30 - 13:30	Family Budgeting (Theory / Exercise)
13:30 - 14:30	Lunch
14:30 - 15:30	Family Budgeting (Presentation / Discussion)
15:30 -	Closing

Exercise (60 minutes)

- Objectives

This exercise aims to make the participants aware of the problems caused by lack of communication among the household members on the household accounting.

- Exercise

Step 1	Divide the participants into a men and a women group.
Step 2	Give each group the flipchart A. Ask each group to write down the five major items on which they spend money every month and how much they expend on each item every month. Ask each group to write down the five major items on which they think their spouses spend money every month and how much they think their spouses expend on each item every month.
Step 3	Go back to the plenary and ask each group to present the outcomes.
Step 5	Discuss on the followings: <ul style="list-style-type: none"> - Men and women are not aware of what their counterparts spend money on. - Because they don't know how the other spends money, they may expend money on the same items or may not expend money on the basic necessities with the anticipation that the other would take care of it.

Flipchart A

Your Expenditure		Spouse's Expenditure	
Items	Expenses	Items	Expenses
1		1	
2		2	
3		3	
4		4	
5		5	

Family Budgeting (4 hours)

- Objectives

This exercise aims to help the participants to understand the importance

- to balance the income and the expenditure of the household; and
- to make a joint decision on spending within the household.

- Exercise

Step 1	Explain what the family budgeting is and how it is done.
Step 2	Divide the participants into the groups of eight - ten. Each group should be mixed with men and women.
Step 3	Provide the flipchart B and candies for each group.
Step 4	Tell the participants that one candy is considered equivalent to Tsh 10,000.
Step 5	Ask each group to imagine one typical farming household in the community.
Step 6	Ask each group to imagine the income of that household from paddy and one more other source each month and, accordingly to place the candies on the flipchart.
Step 7	Ask each group to prepare the expenditure for each month using candies by considering the priority items listed in the flipchart.
Step 8	Continue the exercise until the income and the expenditure balance.
Step 9	Go back to the plenary and ask each group to present.

Points to be raised in Wrap-up

- ☆ Importance of budgeting because without budgeting the expenditure tends to exceed the income and spending is likely to be made on some unessential items, which, consequently, squeeze the expenditure for the basic necessity.
- ☆ Importance to identify how the financial situation of family fluctuates throughout a year, which means that a family must set some income aside to prepare themselves for the coming months with high financial obligations.
- ☆ Importance to discuss among the family members (husband, wife and, if possible, elder children who are involved in production in the family) on how to spend the income so that the needs of each household member are properly accommodated and their well-beings are assured.
- ☆ Importance of the benefit sharing among members which would encourage each member to be actively engaged in the farming activities.

FAMILY BUDGETING
(Training Module)
Ver. 1

January 2012

Project for Rice Productivity Increase in Central Highland

Objectives

To help the participants to understand the importance

- To be aware of the total household income and expenditure throughout a year
- To balance the income and the expenditure of the household; and
- To make a joint decision on planning and spending within the household.

Target group

- Male and female farmers engaged in paddy production

Time Schedule (1 Day)

Time	Activities
9:00 – 9:30	Opening / Introduction
9:30 – 12:30	Family Budgeting (Theory / Exercise)
12:30 – 13:30	Lunch
13:30 – 14:30	Family Budgeting (Presentation / Discussion)
14:30 -	Closing

Family Budgeting (4 hours)

- Materials

- Flipchart A
- Photocopy paper
- Four different types of beans (Bean A, Bean B, C and Bean D)
- Markers
- Pencils
- Erasers
- Rulers
- Calculators

- Exercise

Step 1	Ask the participants how they do household financial management?
Step 2	<p>Referring below, explain what the family budgeting is and the family budgeting is to solve the problems which were raised in the Step 1.</p> <p>Budgeting</p> <ul style="list-style-type: none"> - The budgeting is a proper financial and management plan based on the expected income and expenditure to meet the needs. <p>Family Budgeting</p> <ul style="list-style-type: none"> - Family budgeting is to plan income and expenditure of a family for a set period of time. It requires the participation of all family members. <p>Reiterate that the family income <u>should be utilized to accommodate the needs and the priorities of all family members.</u></p>
Step 3	<p>Tell the participants, to effectively practice family budgeting, the followings must be discussed with their spouses and adult family members, taking into consideration the needs of all family members;</p> <ul style="list-style-type: none"> - Which months family income comes and how much it is. - What are necessities to be purchased to accommodate family members' needs. - Which items have more priority to be purchased. - How much to spend each month for what items. - How to set aside money for saving for emergency and purchase of expensive items

	<div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>Remind the participants <i>Need to think about a whole year plan and income and expenditure fluctuate throughout a year</i></p> </div> <p>Tell the participants the family budgeting intends to</p> <ul style="list-style-type: none"> - Solve the financial problems of the household caused by the improper management of income. - Decide the expenditure within the available income - Bring about peace into the household - Make the participants aware of the importance to increase income (diversification of income sources, intensification of existing productive activities, etc.)
Step 4	Divide the participants into the groups of eight – ten. Each group should be mixed with men and women.
Step 5	Provide the flipchart A, markers, pencils, a sheet of photocopy paper and four types of beans for each group.
Step 6	Ask each group to imagine one typical farming household in their community.
Step 7	<p>Ask each group to discuss the three major income sources of the community. One of them should be paddy. The others can be either crop, livestock, wage labor, etc:</p> <p>(Paddy and Crop)</p> <ul style="list-style-type: none"> - How many bags are harvested in that household in one year. - Generally, how many bags are sold with how much and in which month. <p>(Livestock)</p> <ul style="list-style-type: none"> - How many livestock is sold with how much and in which month. <p>(Wage Labor)</p> <ul style="list-style-type: none"> - How many days to work with how much salary and in which month.
Step 8	<p>After each group decided on above, ask each group to discuss the followings in the group while doing the exercise:</p> <ul style="list-style-type: none"> - What are necessities of the household to be purchased. - How much to be spent on each item in each month
Step 9	<p>Tell the participants of the grand rules of the exercise.</p> <ul style="list-style-type: none"> - One grain of Bean A is considered as 5,000 Ariary. - One grain of Bean B is considered as one bag of paddy. - One grain of Bean C & D is considered as one bag of crop. - Start with the month just after the harvesting month of paddy. - To purchase items, need to exchange Bean B & C with Bean A in accordance with the price of crop per bag.

	<ul style="list-style-type: none"> - Beans in the income columns cannot be moved to the expenditure columns of previous months. - The balance should be brought forward to the next month and be added to the expected income of the next month.
Step 10	<p>Ask each group to first prepare the income, then expenditure for each month by considering the priority items with moving Bean A placed at the income columns. If necessary, the group may add items for expenditure in the flipchart.</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>Remind the participants <i>Always think of the saving for emergency and purchase of expensive items</i></p> </div>
Step 11	Continue the exercise until the income and the expenditure balance.
Step 12	Go back to the plenary and ask each group to present.

Points to be raised in the plenary session.

- ☆ This is the tool to make a better mid & long-term decision on household financial management and productive activities management.
- ☆ This is the tool to make the participants aware of the importance to increase income (diversification of income sources, intensification of existing productive activities, etc.)
- ☆ Importance of budgeting because without budgeting the expenditure tends to exceed the income and spending is likely to be made on some unessential items, which, consequently, would squeeze the expenditure for the basic necessity.
- ☆ Importance to identify how the financial situation of household fluctuates throughout a year, which means that household must set some income aside to prepare themselves for the coming months with high financial obligations.
- ☆ Importance to discuss among the household members (husband, wife and, if possible, elder children and others who are involved in production in the family) on how to spend the income so that the needs of each household member are properly accommodated and their well-beings are assured.
- ☆ Importance of the benefit sharing among members which would encourage each member to be actively engaged in the farming activities.

添付資料
2015 年度能力強化研修
グループワーク結果

モジュール2

基本的なジェンダー分析ツールとその分析手法

グループA

1. 表から何が読み取れますか？

Activity Profile

家事労働は女性が中心。農作業も家事も男性が思うほど女性は男性がやっていると考えていない。お金の管理は男性。農薬散布は男性。収穫は男女。

Daily Activity Calendar

作業量：女性の方が作業項目が多い。家事はすべて女性。女性は農作業と家事で1日中忙しい。

作業の種類：男性は農作業のみ。

お食事時間・お休み時間：男性は食事と休憩時間が確保されている。

睡眠時間：女性は早く起きて、遅く寝ている。

Access and Control

男女ともに概して男性がアクセス・コントロール権を有していると考えている。女性は自転車に乗れない。大型の家畜や作物は男性。農家の収入は男性。

グループB

1. 表から何が読み取れますか？

Activity Profile

男女で労働分担/負担の認識が異なる。危険を伴う作業（農薬散布）は男性が担当。研修参加は男性が中心。収益の管理は男性が中心。作付計画はどちらがやっているのかわからない。

Daily Activity Calendar

女性の睡眠時間が短い。男性は農作業と余暇のみだが、女性は農作業、家事、育児で休息の時間が無い。男性が家事労働をしていない。家事は女性が主体。

Access and Control

アクセスは男性の方がより多いが、女性にも多くのアクセス権がある。しかし、コントロールはほとんど男性のみに認められている。男性の方が決定できる事項の割合が多い。

2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？

研修：栽培面の改善が女性の担当である場合、改善しない。栽培技術の向上において、研修参加者の選定が問題になる。

移動手段：女性には移動手段がない→行動範囲が限られる。

経営・家計管理：販売面の課題に女性が参画すべきか？収入管理に女性がかかわれていない←収益を上げる際に女性にインセンティブがない。作物を売っているのは女性で、販売収入を管理しているのが男性という現状。女性の意見が反映されない可能性がある。

家事分担：女性の労働負担が過大（特に再生産活動）

作付/営農計画：経営資源の管理。男女間の営農かかる認識の違い。

3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

- 女性が参加しやすい研修にする（託児所など）。
- 女性が自転車を使える時間帯を作る→情報入手。
- 女性も家計管理にかかわれるようジェンダー研修をする。
- 男性に家事・育児トレーニングをする。
- 女性が行っている家事労働のうち、男性が分担できるものを分担してもらうよう促す。ジェンダー研修の実施
- 農家向け研修の参加男女率を同等にする。
- 研修内容によって男女比を決める。
- 集団で移動できる手段の提供？移動できる範囲内での研修実施。
- 女性と男性の認識の違いの確認。共同で営農計画の作成。

グループC

1. 表から何が読み取れますか？

全体として、男女の見解に相違がある。女性は過重労働で睡眠時間も短い。

Activity Profile

女性は農作業にほぼ平等に従事していると思っているが、男性はそう思っていない。手間のかかる農作業（watering, weeding, harvesting）は女性主体となって行っている。男性は収入に対する医師決定権が女性にも多少あると思っているが、女性はないと考えている。女性は家事負担が多いと思っている。女性は忙しい。

Daily Activity Calendar

女性は家事＋農作業に対し、男性は農作業のみ。男性はすべての家事にかかわっていると思っているが、女性は男性がかかわっていないことが多いと考えている。

Access and Control

女性は自転車が使えない。女性は研修へのアクセスが低い。男性が収入をコントロールしている。女性は鶏の管理以外はコントロールがないと考えている。アクセスに関する男女の認識に差異はないが、コントロールに関しての認識にズレがある。

2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？

- 女性の研修へのアクセスが限られている。
- 女性の移動手段がない。
- 女性が過重労働になっているため時間の制約がある。
- 女性は収入管理が全くできていない。
- 女性の活動について男性があまり理解していない。

3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

- 女性も理解できる教材開発。紙芝居のような研修教材を用い、いつでも盛られるようにする。
- 男女への営農トレーニング。
- 研修の会場を村の中心にし、アクセスしやすくする。新たに移動手段を提供する。
- 女性への研修が必要であることを男性にも理解してもらう。
- 水道を整備する。
- 保育施設を作り、女性が研修できる時間を作る。
- 会計研修に女性も参加を促す（男女比が同じ）。
- 組合幹部へ女性を選出。女性の視点を取り入れた組合運営。

グループD

1. 表から何が読み取れますか？

Activity Profile

傾向として大きな認識のずれはない。意識のギャップ。男性は自分たちが家事をやっていると思っている。家事・育児は女性がやっていると女性は思っている。生産活動も女性がやっていると女性は思っている。女性がやっていない仕事はないと男性はわかっている。

Daily Activity Calendar

男性の自由時間が多い。男性の家事ゼロ。女性は農業・家事・育児を行っている。

Access and Control

自転車に女性は乗らない。コントロールは女性が少ない。女性のコントロールは多少あると男性は思っている。コントロールの認識は男女で違う？

2. プロジェクトの円滑な実施、プロジェクト目標の達成にとって、課題となりそうな事項は何だと思えますか？

- 女性は参加機会が少ない。
- 女性は自転車に乗れない→移動手段がない。
- 女性は忙しい。
- 組合員は男性だけ？組合員農家に女性も入る。女性の位置があいまい？
- 収入、土地、道具のコントロールは男性→女性のやる気が下がる。
- 女性の技術向上への動機づけが薄い。

3. プロジェクトにその課題にどのように対処するよう提案されますか？

意識変える系: 男性の認識を変える。1日だけ男女の役割を変える。すべての作業を共同でやってみる。家計管理研修。

女性来やすくなる系: 1日の研修時間は短くする。研修に参加しやすくする（移動研修）子供の面倒を見るサービス。研修は2人で参加。

女性のやる気上がる系: 女性の使いやすい道具。組合に女性部を作る。

モジュール3 ジェンダー分析手法

グループA

1. 調査の目的

以下の点の把握：農作業におけるジェンダー（役割）の違い①。農民組織におけるジェンダー課題②。園芸作物生産の実態③。ジェンダー格差④。プロジェクトの実施手法⑤。技術普及体制⑥。

2. 調査対象者

農業省普及局、家政担当官、農業省カウンターパート、農業普及員、農民組織幹部、村幹部、農民組織の構成員世帯、土地あり農民、土地なし農民、ノンパートナー農家（家族構成別）。

3. 調査手法

インタビュー、ジェンダー分析ワークショップ、現地視察、文献調査。

4. 質問項目

調査対象者	調査手法	調査項目
農業普及員	聞き取り	③、⑤、⑥、⑦
家政官	聞き取り	④
村幹部・組合幹部	聞き取り	④、⑤
農家	WS（ツール1~3、コミュニティの資源マップ、月毎の作業、家計調査）	①、②、③、④、⑥、⑦

グループB

前提状況：ベースライン調査は終了している（栽培作物、生産量、収益等）、農民組織はすでにある。

1. 調査の目的

ジェンダー分析、研修対象者の課題を洗い出す。組織運営の在り方がわかる。

2. 調査対象者

農業事務所職員（家政担当官も）、普及員、直接グループ農民組織男女。小規模園芸農民組織（男女）、家政担当官、農業普及員（男女）、小売人/仲買人（男女）、世帯（男女）

3. 調査手法

農業事務所が持つデータ、ジェンダー分析ツール、担当官・普及員に対する聞き取り、個別インタビュー、フォーカスグループ（男女）、ワークショップ。

4. 質問項目

質問項目	調査対象者	調査手法
栽培作物と時期（男女別）	直接グループ農民男女 プロジェクト	農業カレンダーを作る ベースライン調査結果
農繁期、農閑期の1日の作業（男女別）	直接グループ農民男女	農繁期・農閑期別デイリー・アクティビティ
作物ごとの作業（生産～販売）	直接グループ農民男女	農作物ごとの Activity Profile
出荷体制	直接グループ農民男女	インタビュー

農民組織体制、活動内容の確認	普及員 農民組織代表	インタビュー
組織内、世帯内の発言権	直接グループ農民男女	アクセス/コントロール表

グループC

1. 調査の目的

① A国の農業セクターにおけるジェンダーの取り組み（政策、法、戦略、人員）がプロジェクトの方針と整合性があるかを見極めることで、プロジェクトより具体的なアドバイスができる。

② 農民男女の生活の実態を明らかにする。

③ ジェンダー配慮がなされた活動（研修、教材、方法、対象選定）がなされるようアドバイスできる。

2. 調査対象者

① 農業省普及局、ジェンダー担当官、②プロジェクト対象県の男女農民、農業普及員、③ プロジェクト対象県の男女農民、農業普及員

3. 調査手法

① 文献収集、インタビュー、② 文献収集、インタビュー、ワークショップ、③ 文献収集、インタビュー

4. 質問項目

調査項目	調査対象者	調査手法
①		
ジェンダー主流化の段階	農業省普及局・ジェンダー担当官	ジェンダー政策・戦略・統計などのレビュー、
ジェンダーに関する意識	農業普及員	作成済みのマニュアルや現場活動計画、半構造インタビュー
プロジェクトの活動の中でのジェンダー関連取り組み	プロジェクト専門家	ベースライン調査を基にプロジェクトが設定した指標の男女別設定半構造インタビュー
②		
男女の活動の違い 男女の生活時間の現状 資源に対する使用权、意思決定権	農民男女（グループ）	ワークショップ (Activity Profile, Daily Activity Calendar, Access & Control)
収入支出管理（収入源、獲得手段、各収入の管理者、支出の意思決定者）	農民男女	男女別個別インタビュー（半構造） 家計調査
③		
研修マニュアルのジェンダー配慮の有無	農業普及員	既存マニュアルの収集及びインタビュー

モジュール4
分析結果の読み解き方：課題抽出

グループA

1. 収集情報の整理

カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	<ul style="list-style-type: none"> ・農業省ジェンダー戦略文書 ・家政担当官がジェンダー活動兼務
ジェンダー関連活動	<ul style="list-style-type: none"> （普及員に対する活動） ・NGOによるジェンダー研修 ・農業省ジェンダー研修 ・ドナー資金で他の分野担当官が県普及員向けに10～20分話す（農家に対する活動） ・県レベルに予算なし ・ドナーや区農業事務所“女性を含める”
職員の意識・実務能力	<ul style="list-style-type: none"> ・家政担当官（女性）はジェンダー知識がある ・男女比を一緒にすることがジェンダーであり、そのこと自体に抵抗はない ・女性の方が忙しく農作業に従事していることは知っている ・農業普及員はジェンダーについてあまり責任を感じていない
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	<ul style="list-style-type: none"> ・土地は男性のもの ・夫は妻が習ってきた技術を取り入れようとしめない ・家計の管理は男性（わずかな食費や小遣いを妻に渡す）
性別役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業の多くを女性が行う ・家事全般を女性が担う ・収穫物はすべて男性のもの ・自家消費作物は女性の作業、換金作物は50% ・研修・ミーティングは男性 ・女性は庭先で自家消費用の野菜を栽培している ・女性は大規模農家で賃労働
意思決定への関与	<ul style="list-style-type: none"> ・男性中心 ・女性は決定された活動を実施するだけ
プロジェクトに対する関心	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーは高い。メンバーは不明。
農家グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・男性15人、女性7人のみ（未亡人、独身、夫が出稼ぎ） ・運営委員会（5名）は女性1名（会計） ・トマト栽培を行う

2. プロジェクトが期待する農家の役割

- ・研修への参加
- ・研修技術の活用：生産・収穫物管理、販売力の向上
- ・結果として、園芸作物生産量増加、園芸作物の面積当たり売上増加、園芸による収益増加

農家の予想される行動

	男性	女性
研修参加	参加する	参加できない、ノンパートナーは参加

研修技術活用（生産・収穫物管理）	一部活用	活用されない、ノンパートナーは活用する
研修技術活用（販売力向上）	向上	向上しない、ノンパートナーは向上

グループB

1. 収集情報の整理

カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー戦略文書がある。 ・家政担当官がジェンダー活動を兼務。 ・県にはジェンダー活動予算がない。
ジェンダー関連活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ドナー支援の条件としてじえんだ（女性メンバー）を含める等あり
職員の意識・実務能力	<ul style="list-style-type: none"> ・県事務所はジェンダー研修を受けたことがない。 ・（普及員女1）女性の過重労働が問題。 ・（普及員男1）ジェンダーとは女性の社会的活動促進、権利拡張 ・業務量も多く交通手段が確保できない。 ・（県作物担当官）農家グループを組織する際必ずジェンダーバランスに配慮 ・（普及員女2）女性は忙しい。男性は午前中仕事するだけ。 ・ジェンダー主流化の手段が分からない。 ・家政担当官がジェンダーの活動を実施できない（他業務で多忙） ・の作物担当官は研修を受けておらず、ジェンダーに関する知識は浅い（ジェンダーバランスだけ）。 ・県作物担当官はジェンダー主流化の手段に見当がつかない ・家政担当官は農業省のジェンダー研修を受講していない ・家政担当官は他の仕事が多く、ジェンダーに係る活動をなかなか実施できない
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	<ul style="list-style-type: none"> ・泊りがけでも理由が分かれば家族は反対しない。 ・お金の管理だけは女性に任せた方が良い。 ・男性は家のことなどするべきではない。
性別役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・家事・育児は女性 ・女性は大規模農家で賃労働に従事 ・農作業の多くは女性。メイズ（男性）→繁忙期以外やることがない。 ・研修・ミーティング参加者は主に時間のある男性
意思決定への関与	<ul style="list-style-type: none"> ・養鶏、ケールは女性がコントロール ・農業収益は男性がコントロール ・女性の研修参加をコミュニティリーダーが納得させる ・土地管理は男性 ・農業の新しい技術導入は男性がコントロール。女性が研修に参加しても技術導入に決定権がない。
プロジェクトに対する関心	<ul style="list-style-type: none"> ・泊りがけ研修は日程を早く教えてほしい（家事・育児のアレンジ） ・女性の関心 メイズの収穫＜賃労働 ・女性・普及員は収入増に結び付くプロジェクトは歓迎 ・男性・コミュニティリーダーはメイズの繁忙期以外を園芸作物生産に振り向けた。しかし、手間暇のかかる作業を女性は嫌がる。
農家グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・男性15人、女性7人 ・一般メンバーの関心はあまり高くない。運営委員会の決定が周知されない。 ・グループのうちでトマト。普及員指導の後、家で実践。 ・研修参加は男性中心。女性も研修参加者が増えているが実践できない。 ・5名のメンバーによる運営委員会（決定機関）。うち女性は会計1名。お金の管理は女性と思っている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・メイズ栽培は忙しい時期が決まっている。その期間以外は男性は時間がある。 ・夫婦で参加は少ない。
--	---

2. 農家の予想される行動

農家が直接関与する活動	研修	研修技術の活用	農民組織活動
プロジェクトが農家に期待する役割	男女双方の研修参加	研修内容の理解と実践	組織的に販売する
農家の予想される活動	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に参加（男女両方） ・男性だけ研修に参加（女性は忙しい） ・女性が多忙で研修に参加できない（特に小さい子供のいる母親） ・プロジェクト＜賃労働（現金） 	<ul style="list-style-type: none"> ・男性側が技術導入に必要なものを提供しない ・園芸作物からの収入が女性に渡らない ・女性の農業技術が伝わらない ・夫が技術導入をOKしない。 ・実践しない（研修を受けても） 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織活動に興味を示さない ・組織活動をやめて個人で販売してしまう ・運営委員化ばかり活動する

グループC

1. 収集情報の整理

カウンターパート機関	
ジェンダー政策・制度	<ul style="list-style-type: none"> ・ジェンダー戦略文書が作成されている。 ・ドナーによるジェンダー支援策、予算がある。 ・県にはジェンダー活動予算がない。
ジェンダー関連活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ドナー向け（？）に女性農家を農家グループに入れている。 ・ジェンダー活動は家政担当官の兼務（ジェンダー研修不参加） ・他分野担当官によるドナー資金での普及員へのジェンダー啓発活動 ・農業省が20名/年でジェンダー研修を実施。 ・普及員研修の際にジェンダーについて10～20分話している。
職員の意識・実務能力	<p>（県農業事務所作物担当官） ジェンダー研修は受けていない。ジェンダーバランスを男女参加数同量ととらえている。</p> <p>（県農業事務所家政担当官） ジェンダー研修は受けていない。県家政担当官は大学でジェンダーの授業を受けている。</p> <p>（農業普及員） NGO研修には出たが「よけい混乱」（男）。男女のリソースと活動理解+問題意識（女）。女性は農作業に従事しているが収穫物や収益は男性のもの（女）。ジェンダーは農家グループ・組織の男女バランス、男女の社会的活動促進・権利拡張、コミュニティにも伝統や習慣がありそれを崩せない（男）。女性は自分の家の農地の増収よりも賃労働に出る（収穫が増えても取り分が増えないから）（女）。研修を受けるのは男性だが、実際に農作業をするのは女性で、しかも女性は理由もわからず指示されるだけなので技術が根付かないと気付いている（男）。ジェンダーは女性のこと、自分の対応すべきことではない（男）</p>
ターゲット・コミュニティ	
文化・規範	<ul style="list-style-type: none"> ・男性は昼間やることがなくてぶらぶら。家のことはしない。 ・男性の多くは本当に働かない。繁忙期以外はぶらぶらしている。
性別役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・女性は家事・子供の世話をするもの。男性は家のことはするものではない（グループリーダー）。

	<ul style="list-style-type: none"> ・農作業はほとんど女性。 ・マーケティング、収入管理は男性。 ・村のことは男性のみで決める。
意思決定への関与	<ul style="list-style-type: none"> ・鶏は唯一女性にアクセス・コントロール権あり。 ・女性はCapitalへのアクセス・コントロール権がない。 ・意思決定は少数の男性で行う（グループ活動） ・意思決定は男性（世帯）
プロジェクトに対する関心	<ul style="list-style-type: none"> ・収入増に結びつくプロジェクトは皆大歓迎（女性グループリーダー） ・是非参加したい。泊りがけ研修も家族に子供の世話を頼み参加できると思う（女）。 ・一般メンバーの関心は残念ながらあまり高くない。運営委員会の決定が周知徹底されず活動がなかなか進展しないことが問題。
農家グループ	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ設立目的は頼母子講→トマト栽培（農家グループ代表男性） ・意思決定は男性。女性は実施するだけでメリットを感じられず来なくなってしまう場合も多い。 ・運営委員会に参加女性は会計1名のみ。メンバー全員で共同出荷に取り組みたい。 ・農業投入財の共同購入にも取り組みたい。 ・運営委員会の決定が周知徹底されない。

2. 農家の予想される行動

	農家に期待している役割		農家の予想される行動	
	男性	女性	男性	女性
ベースライン調査	男女ともに参加し、協力する		知らないのに一家の主人だからと知ったかぶりですをつく	実際には当事者なのに話を聞いてもらえない
栽培研修参加	女性中心に男性も参加		（時間があるので）参加。しかし内容は女性に伝えない。	忙しすぎて出られない。毎回参加するのは難しい。泊りがけでもOK。でも子守りのアレンジ要。日程を早く知りたい。
栽培研修技術活用	男性自らが実行するか女性に伝えて実施してもらう	女性も参加・活用する	詳しく理由などの説明はせず、ただ新技術を実施するよう女性に指示	簡単な技術で手間のかからない、お金のかからないものならやる。意思決定は男性が行うので女性だけで研修で学んだことを実践することは女性の判断だけではできない。
マーケティングベースライン調査	男女ともに参加し協力する		回答できる。でも、女性の前では少なめに収穫・収入を言う。	女性の情報は限定的（値段など）
マーケティング研修への参加・活用	男女双方が参加し、協力して活用してくれる		男性のみで販売計画を立てて実施してしまう	意思決定プロセスに参加できないまま（研修に出席したとしても）
家計管理研修へ	研修に基づき男女間で話し合っ家計		収穫物・収入をす	女性は食費や少

の参加・活用	計画を行う	べて男性がとる。妻には 1~2 袋渡すだけ。	額消費財の購入のみ。 お金が足りなくて、貯蔵してあるメイズを持ち出しイチバで売る。
モニタリング	モニタリングに対応・対応する	男性は活動を知らないのに、モニタリングされてうそをつく可能性がある	モニタリングの対象にならない可能性がある

モジュール5 ジェンダー視点に立ったプロジェクトの計画・立案

グループA

PDMのジェンダー視点に立った修正

- ・ボトムライン

男女がお互いの役割や大変さを理解する。農産物の収穫による収入を男女共同で管理するようになる。関係者がみなジェンダー意識を持つ。

- ・ジェンダー課題

農作業や家事の多くを女性が行っている。男性だけが行っている活動がある。男性のみが家計管理をしている。

- ・活動

男女がお互いの農作業や家事をやってみる。成果3において家計研修を実施する。2-2と3-2の活動にジェンダー視点を入れる。

- ・上記を踏まえてのプラン

プランA: 女性が収入管理に参加する

プランB: 女性が収入管理に参加しない。

	課題	活動	指標
プランA	男性だけが活動に参加する 女性が研修に参加して技術を習得しても実際に農地で実践できない	2-3、2-4、3-3、3-4を女性が参加しやすい内容に 1-4 (3-2、3-3) Group Formationで男女2名でメンバーシップ登録する	1-1、1-2にジェンダー視点を取り込まれる (アプローチ、教材) 1-3「農民組織に登録する女性の数が増える」 1-4 研修への女性参加率が増える
プランB	男性がぶらぶら	カフェで研修を実施する。ハンコ方式(パスポート)を導入する。女性グループを作り、儲かることを男性に見せる。	

グループB

PDMのジェンダー視点に立った修正

活動	アウトプット	指標
1-3 ジェンダー視点からの普及システムの強み、制約を検討する 1-4 TOT用のジェンダー配慮に関する研修マテリアル(研修におけるジェンダー配慮: 時期、時間等、農民男女とのコミュニケーション) 1-4 教材作成(農民用)(農業農家経営におけるジェンダー平等、理解しやすい教材の作成)		1-1 農民男女による園芸作物生産・販売を推進するための研修アプローチを県事務所職員が理解している 1-2 C/P機関が自分たちでジェンダー教材を作る
2-2 普及員(男女)研修 農業生産性向上研修の中でジェンダーに関する内容も入れる 2-3 農民グループに対しジェンダー研修を行う	2. 農家世帯男女協働により生産量・質改	2-3 女性の労働負担(時間・強度等) 2-4 技術採用世帯

2-3 技術研修で学んだ内容をグループの畑で試行する（→成功事例） 2-3 出稼ぎで不在の夫に技術理解の機会を設ける（→成功事例を見せる） 2-4 農家世帯男女に対してモニタリング訪問 2-5 労働負担（手間暇）を軽減できないか教材内容を見直す	善	
3-2 普及員（男女）研修 マーケティング研修の中でジェンダー配慮の内容を入れる 3-3（農家世帯男女に対し）家計管理研修を行う 3-3 組織体制・運営を見直す（妻も夫も参加できるようにする） 3-3 研修中に子守りをするボランティアグループを組織内に作る（相互扶助システムを作る） 3-4 農家世帯男女に対してモニタリング訪問		3-0 直接グループと間接グループの園芸作物販売による売り上げ

グループC

PDMのジェンダー視点に立った修正

成果	指標	指標の入手手段
アウトプット1	1-1 ジェンダー・フレンドリーなアプローチの開発 1-2 ジェンダー・フレンドリーな教材	各種マニュアル・プロジェクト活動計画
アウトプット2	2-1 +男女とも研修に参加している世帯、片方しか参加していない世帯、non-partner 世帯別で	研修参加者リスト
アウトプット3	3-1 男女ともに研修参加 3-2 +男女とも研修に参加している世帯、片方しか参加していない世帯、non-partner 世帯別で	研修参加者リスト 農民がつける家計簿（収入の増減）

活動

- 1-1 +ジェンダー配慮
- 1-2 +ジェンダー配慮
- 1-3 +ジェンダー配慮
- 1-4 ジェンダーフレンドリーなマニュアルを開発する（ジェンダー調査結果の活用）、+ジェンダーツールを使った分析を反映したジェンダー・マニュアル
- 1-5 ジェンダー啓発研修（作物局・普及局・アグリビジネス、作物担当官、家政担当官、アグリビジネス担当官）
- 2-1 小規模農家（男女）
- 2-2 +ジェンダー啓発&組織強化、モニタリング
- 2-3 +ジェンダー啓発、+夫婦単位で
- 2-4 農家グループ（男女）
- 2-5（+ジェンダー配慮）

- 3-1 小規模農家（男女）
- 3-2 +家計管理
- 3-3 +家計管理
- 3-4 農家グループ（男女）
- 3-5 （+ジェンダー配慮）

モジュール6
ジェンダー視点に立ったプロジェクトのモニタリング・評価

グループA

モニタリング用調査項目

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法
役割交換体験の実施状況	実施回数、参加者数（男女） 体験してどうだったか？何か変わったか	実施報告書 参加者（男女）	聞き取り調査
家計管理研修の実施状況	研修の実施回数・参加者数（男女） 家計管理の導入乳研修の感想など	プロジェクト報告書 参加者（男女農家）	報告書レビュー 聞き取り調査
研修アプローチにおけるジェンダー理解促進度	研修アプローチ・教材の内容 どこで躓いたか（技術・意思決定）、賛成またはメリットを感じている男性農家の存在	研修実施報告書、研修教材 参加者（ノンパートナーと比較）	聞き取り調査 現場視察
研修参加状況	参加者数（男女） なぜ参加できなかったのか（しなかったのか）	出席簿 参加者	出席簿 聞き取り調査
農民組織の登録状況	登録者数（男女）	登録簿	登録簿レビュー
普及員研修におけるジェンダー理解促進度	普及員のジェンダー理解度	普及員（男女別）	聞き取り調査

グループB

モニタリング用調査項目

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法
農民グループのメンバー構成	農民グループメンバー男女比 グループ活動参加への男女比	モニタリングレポート 出席簿	文献調査
組織的な意思決定の仕組み	グループでの意思決定方法 委員会メンバーの男女比とその役職 委員の選出方法 運営委員会の活動内容	グループの規約 選出記録 グループ規約 議事録・出席簿	
グループの会計状況	販売金額と内訳 支出額と内容	出納簿 会計係	ヒアリング
共同販売・購入の状況	農産物の販売の有無、男女別量 農業資材の購入の有無、量、内容、分配先 利益分配の方法 利益分配の満足度（男女別）	記録簿 農民組織メンバー、男女 ノンパートナー	ヒアリング

研修参加のための支援の仕組み	仕組みの有無と内容	農民メンバー男女	ヒアリング
----------------	-----------	----------	-------

グループC

モニタリング用調査項目

調査項目	収集すべきデータ	情報源	収集方法
教材等が見てわかりやすい	① 絵・写真の数 ② 利用者のコメント	① マニュアル ② 普及員＋農民	文献調査 インタビュー
ジェンダー啓発研修をしているか	ジェンダー研修実施回数	研修報告書	文献調査
夫婦単位で参加しているか	夫婦そろっての参加者数、カップル数	研修参加者リスト	文献調査
モニタリングを実施しているか、研修で得た知識・技術を活用しているか	モニタリング回数 利用度	モニタリング・シート 報告書	文献調査